「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書(素案)」 に対する関係住民の意見聴取結果 【議事録】、【電子メール等で頂いたご意見】

平成 24 年 11 月

国土交通省北海道開発局

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書(素案) に関する関係住民の意見を聴く場

日時 : 平成24年10月3日(水)18:30~19:30

場所 : ふれあいセンターびらとり

1. 開 会

【司会】 それでは、ただいまから沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書 (素案)に関する関係住民の意見を聴く場を開催します。

私は、本日、司会進行を務めさせていただきます北海道開発局河川計画課河川調整推進官をしております小林と申します。どうぞよろしくお願いします。

なお、本日、公述を希望された方につきましては、8名の方が希望されております。8番目の方につきましては、公述に当たって、連絡先等が一切書いておりませんで、公述時間までにご本人が来られまして、ご本人だと確認されれば、公述していただこうと思っておりますけれども、もし、来られない場合については、公述は中止ということで司会進行させていただきたいと思います。その点につきましては、ご容赦願いたいと思います。

それでは、まず初めにお手元の資料の確認をさせていただきます。お手元に当たっては、「関係住民の意見を聴く場の議事次第」、それと「関係住民の意見を聴く場の傍聴にあたってのお願い」をお配りしております。

さらに、公述する方には、「公述にあたって」と題しました要領を配付させていただいておりますので、本日の資料については、以上でございます。もし、足りない方がございましたら、お知らせ願います。よろしいでしょうか。

2. 開会挨拶

【司会】 それでは、開会に当たりまして、主催者であります北海道開発局建設部河川計画課長原より挨拶申し上げます。

【北海道開発局河川計画課長】 北海道開発局建設部河川計画課長の原でございます。本日は、お忙しい中、沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書(素案)に関する関係住民の意見を聴く場ということで、ご参加いただきましてありがとうございます。

北海道開発局では、これまで平取ダムの検証としまして、平成22年9月の国土交通大臣からの指示に基づきまして、同年12月に関係地方公共団体からなる検討の場を設置いたしまして、先月9月までに計5回の検討の場を開催いたしまして、検証を行って参りました。具体の検証につきましては、治水、利水等について目的ごとにダムを含む現計画とダム以外の対策案について幅広く検討を行いまして、概略評価による対策案の抽出、抽出した対策案の評価軸ごとの評価、総合的な評価ということにつきまして行って参ってきたところでございます。その結果を今回、検討報告書(素案)として取りまとめましたので、関係する住民の皆様からご意見を聴く場というものを設けさせていただきました。

本日、述べていただいたご意見につきましては、後日、検討主体であります開発局としての考え方をお示ししたいというふうに考えておりますし、検討報告書にも反映させていきたいというふうに考えてございます。

本日は、忌憚のないご意見を頂戴したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 公述方法説明

【司会】 これより、円滑な運営を図るため、フラッシュ、照明灯を用いた撮影はここまでとさせていただきます。ご協力お願いします。

続きまして、本日の公述の意見を聴かせていただきます北海道開発局の出席者を紹介させていただきます。

室蘭開発建設部長の戀塚でございます。

先ほど挨拶しました北海道開発局建設部河川計画課長の原です。

次に、公述の方法についてご説明させていただきます。

公述をなさる方は、あらかじめ提出していただいている意見書の範囲内で公述していただきます。意見書の内容を追加説明することは構いませんので、どうぞ公述していただきたいと思います。

公述時間は、一人当たり10分以内とさせていただきます。司会進行上、公述開始後8分を経過した時点で、私から8分超過しましたというふうに合図させていただきます。いわゆる残り2分のお知らせでございます。また、10分経過した時点で、また私のほうから10分超過しましたというふうにお知らせしますので、なるべく速やかに公述の内容をまとめていただくよう、お願い申し上げます。

公述は、名簿順に続けてお話ししていただきますので、公述人1番の方、2番の方という形で進めさせていただきます。

なお、公述に当たっては、立ってお話されても、座ったままでも、どちらでも結構でございますので、お話ししやすい状態で公述していただければと思います。

また、傍聴される皆様にお願いがございます。

本日の関係住民の意見を聴く場では、傍聴される方は意見などを述べることができません。発言等を控えていただくよう、ご協力お願い申し上げます。

4. 意見の公述

【司会】 それでは、早速でございますけれども、公述人1番の方から公述、よろしくお願いします。

【公述人1番】 私は、日高富川在住の●●といいます。

私は、平取ダム建設に絶対反対の立場より、意見を述べます。

そもそも沙流川開発事業などと、もっともらしい銘を打っているが、これは1969年、今から43年前に持ち上がった苫小牧東部工業開発計画の落とし子、鬼っ子として持ち上がってきたものであります。二風谷ダムを初めとして、平取ダムも苫東開発の破綻とともに終わっているものでなければならないのであって、開発などと言われる代物ではありません。そのことを、まず最初に言っておきます。

その上に立って、さきにつくられた二風谷ダムの堆砂の現状を見ても、それは明らかで

あると。ダムは、最も自然を破壊し、環境を破壊し、生物の生態系を破壊するものとして 世界的にも取り壊しが行われてきている。アメリカなどは、1,000以上のダムが取り 壊されております。特に、沙流川水系は地質的、土質的にもダムをつくってはならない河 川である。今や、二風谷ダムが世界最悪のダムと言われる所以がここにあります。そのこ とを、まず肝に銘じておいてほしいというふうに思います。したがって、平取ダムの建設 など絶対に許されるものではありません。

2003年に起きた、日高町富川の水害訴訟における一審、二審の判決に示されているように、治水の面からもダムは、その役割を全く果たさず、むしろ被害を拡大し、住民の生命と財産を危険にさらすものであることは火を見るよりも明らかであります。利水と言っているようですけれども、水道水について関しても、ダムをつくることによって河床、地下水の低下、移動により、地域住民を水不足などの不安に陥れるものであり、ダムは百害あって一利ないものであることは明らかです。特に、平取は、トマトの産地として有名ですけれども、トマトは上から読んでもトマト、下から読んでもトマト、しかしダムは、こんなものは下から読むまでもなく、全く無駄なものです。私が、ここに持ってきたことわざ辞典に、「水は三尺流れると清くなる」と書かれています。しかし、あの二風谷ダムができてから、沙流川の水は三里流れても、あの泥水の状態で、そして川は全く泥にまみれて黄色くなっている。まさに今、死んだ川になろうとしている。これを許すわけにはいかない。

平取ダムをつくるというなら、二風谷ダムの堆砂を1日も早く除去して、そしてかつて の清流に戻してもらいたい。そのことを要求して、私の発言といたします。

【司会】 どうもありがとうございました。

続きまして、公述人2番の方、よろしくお願いします。

【公述人2番】 日高町富川から参りました●●と申します。よろしくお願いいたします。

2003年の沙流川洪水は、私たちに多くの教訓を与えました。この洪水のキーワードは「想定外」、この一言に尽きます。24時間で300ミリ以上という豪雨により二風谷ダムは、洪水調節を行いましたが、やがて限界を迎えて満水となりました。ダムが危険な状態になるため、ただし書き操作を行い、ダム放流量を本来の計画値から大幅にふやしました。その結果、沙流川下流の水位は急激に上昇し、堤防が危険な状態になりました。このとき、たまたま上流の雨がやんだため、二風谷ダムがあふれることはなく、堤防もぎりぎりでしたが決壊せず、最悪の事態は免れることができました。

最善の治水は、基本的に実際に生じる洪水被害の現実的最善の対応であり、さらには治水施設、ハードの限界を上回る大洪水が起きたときの対処をよく考えておくことが必要と考えます。ダムは、条件がそろえば、ある程度、効果も期待できるけれども、まだまだ未知の問題もあります。

まず、今回の検討で、検討されている平取ダムなど、沙流川のダム計画の問題を述べま

す。

一つ目、ダムによる洪水対策は、効果が不定かつ限界があり、急激な変化が生じ得ること。ダムの効果は、流入何トン、放流何トンと書かれていますが、実際には不定です。大きな洪水でも短時間で終われば、計画より大きな効果が出ることがあります。しかし、計画よりも長引けば、想定よりも長引けば、水位が上がって放流量がふえ、効果が小さくなることがあります。

ダムは、貯水によって洪水調節を行うため、時間の概念が必要です。平取ダムの計画では、平取ダムのハイドログラフ、洪水調節図が示されていませんので、この時間の概念がどのようになっているのかがわかりません。平取ダムの場合、構造上、満水になりましたら、ダム上部のクレスト洪水吐きから入ってきた洪水をそのまま流すだけになります。このときにダム下流では、安全な水位を超えかつ急激に水位が上がります。平取ダムは、ゲートは固定で、人が操作できません。ダム下流では、2003年洪水よりも、さらに急激な変化が起きる可能性があります。

二つ目、沙流川は流砂が膨大であり、ダムは短期間で埋まってしまう可能性が大きいこと。二風谷ダムは、当初100年分とされていた堆砂容量550万 m^3 が、わずか6年で埋まってしまいました。その後、堆砂計画を変更していますが、現在までにそのときの3倍の土砂で、既に埋まっています。水位が低い夏の間には、貯水池の大部分が干潟のようになってしまっていることは、皆さんご存じのとおりです。

平取ダムでは、いろいろ計算をして、土砂堆積はほとんど起きないとしているのですが、実は、その計算の前提に大きな問題があります。国は、二風谷ダムが短期間で埋まったのは、最近になって大雨が続いたためと説明しています。ところが、堆砂予測計算では、71年から31年間のデータを3回繰り返し、100年に一度の洪水が100年後に起きると、そういう前提です。これでは、2003年以後に大雨が増えて土砂堆積が進んだという条件が入っていないわけです。最近の条件が入っていません。実際の堆砂よりも小さな予測値が出る可能性があります。しかも、100年に一度の洪水は、100年おきに発生するわけでもない。来年来るかもしれないし、明日来るかもしれないわけです。

このような計算前提の誤りから、今のところは、まだ誤差は小さいかもしれないけれど も、今後は計算と現実の差が次第に拡大し、計算以上の堆砂が生じる可能性が大きくなっ ていると思われます。

次に、流木の問題です。2003年洪水では、二風谷ダムに多量の流木が入りました。 当時のビデオ映像を見ると、ダムに入った流木の大半は、流木止めのネットを通過して、 クレストゲートから下流に放流されました。やがて、このネット自体が流木に切断され、 ネットは膨大な流木と絡んだまま、ゲートを通過し、下流に放流されました。ダムにとっ て、流木はゲートなどダム施設を壊すおそれがあるため、危険な存在です。その流木を止 める仕組みが二風谷ダムではほとんど働きませんでした。翌年にネットは強化されました が、今度は流木が来ると、その場でくるくる回るだけになって、流木はそのままくぐり抜 けています。2006年の洪水でも、2011年9月の出水でも同じです。現在、二風谷 ダムの流木止めネットは、洪水時に流木を止める働きを持っていません。

平取ダムでは、より密度の高い流木が、二風谷ダムよりはるかに小さな放流ゲートに押し寄せることになります。流木対策がうまくいかないと、放流ゲートが流木で詰まってしまい、ダムを越えて洪水が溢れ出すおそれが出てきます。ダムを越えて洪水が溢れた場合、最悪ではダムが決壊するおそれがあります。流木対策がしっかり示されない平取ダムの計画は、その安全性を確認できないということです。

次に、平取ダムの資料の問題ですけれども、資料によって、堤体長、ダムの長さが300mと示されているものと、600mと示されているものがあり、混乱しています。さきの説明会で質問したけれども、確認してみるというだけで、答えていただけませんでした。ダムの計画で最も基本的な数字、ダムの大きさ、長さですね、これがよくわからない状態ということです。実は、5年前に一度説明していただいていまして、コストダウンのために、堤体のコンクリート部分半分をカットした、そういう説明がありました。そのままでは、想定を超えた洪水のときにダムが溢れるため、対策を検討中、想定を超えた洪水のときに、ダムが溢れるのを防ぐ重要な部分がカットされたまま、この対策がいまだ示されていないわけです。これでは、とても安全が確認されたとは言えません。コストダウンのためにカットされたダムの安全性が確認されないまま、今回の検討が終わったということです。

次に、アイヌ民族対応の問題です。私は和人ですので、和人の立場から述べさせていた だきます。

1997年、二風谷ダム裁判、アイヌ民族は先住民族であり、そのアイヌ民族の文化共有権等を不当に無視、軽視したとして、ダムは違法であるとされました。その後、2007年には、国連で先住民族の権利に関する宣言が採択。先住民族の権利が国際的に認められました。さらに、2008年6月には、日本の国会で、アイヌ民族を先住民族とする決議が全会一致で採択。これにより、日本という国家は、アイヌ民族に対して、先住民族の権利を実現していく国際的な義務が生じたと考えられます。しかし、先住民族の権利をどうやって実現していくのか、日本の国としては、まだ何も決まっていません。この状態で、地域社会への影響は、ダム案有利を覆すものではないとして、アイヌ民族の先住権よりも、ダム建設のほうを優先することを、今回の報告書案では言ってしまっていることが問題です。

例えば、先住民族の土地の権利を回復するには、一帯として国有地であり、アイヌ文化 調査が行われている平取ダムの予定地は、最も都合のよい場所と考えられます。ここに先 住民族への対応が分からないまま、ダムが有利としてダムをつくってしまい、後から、 やっぱりダムは間違いでしたということになっても、もう取り返しはつかないのです。

二風谷ダム裁判の国の違法判決では、ダムによって得られる利益と、ダムによって失われるアイヌ文化を比較するための調査さえも怠ったと述べられています。平取ダムでは、

調査しているけれども、ちゃんと比較をしていません。それどころか、判断基準さえわからない状態です。このままダム建設を進めれば、二風谷ダムの違法判決と同じ過ちを再び繰り返すことになります。

先住民族の権利には、伝統的な資源の権利もあります。例えば、川のサクラマスなどの 生物資源、キムンカムイやシチカップカムイをダム建設の中で、どのように保全していく のか、今回の検討で具体的なことは何も触れられていません。

まとめです。平取ダムの計画には、今回の検討で考慮されていない重大な課題が数多く 残されていることが分かります。これらを積み残したまま、おざなりな検討でダム建設を 行うべきではありません。これらの課題の検討、対応に、まだ時間がかかると思います。 2003年、2006年の洪水で、沙流川の治水の現実の問題が明らかになりました。こ こは堤防が特に低く、決壊しやすい。こちらは、堤防に余裕があり、問題が小さい。こちら、内水氾濫がおきやすい。また、ダムを放流するとき、下流の対応をどうするか等々、 このような状況から見て、平取ダムは当分は凍結し、2003年洪水から明らかになった 現実的な水害への対応、例えば問題箇所の河道や堤防の強化改修。避難計画や施設の想定 を超えたときのマニュアルづくり等による被害低減を早急に行うべきと考えます。これら は、2004年12月に門別町議会が国土交通省に提出した「沙流川の安全を求める意見 書」に記されていることでもあります。

2003年洪水から、もう9年経ちましたが、沙流川の治水は全く進んでいません。この間に二風谷ダムが埋まっただけです。国は、流域住民の声をしっかり聞いて、ダムによらない沙流川の安全な治水を早急に進めていくよう、流域に暮らす住民の一人として意見を述べさせていただきます。

以上です。どうもありがとうございます。

【司会】 ありがとうございました。

それでは、続きまして公述人3番の方、よろしくお願いします。

【公述人3番】 私は貫気別に住んでおります●●といいます。

平取ダムの建設について、反対の立場からお話をさせていただきたいと思います。 私はお釈迦様の"物事には訳がある"という言葉が大好きです。

今日、3時から平取町役場で、このダムに関する学識経験を有する方からの意見を聴く場がありました。12名の方の意見陳述が行われ、内二人の方はご欠席で事務局が読み上げましたけれども、12人全員がこのダムには賛成でした。適切な調査が行われ、根拠に基づいているので賛成ということでした。けれども"物事には訳がある"と冒頭で私が言いましたのは、学識経験を有する方の中には、選挙で選ばれる町長が二人選ばれていましたし、それぞれ訳があって、どちらかを見なければ、意見が述べられないという立場もあるのかなと思います。けれども、そういう中で、正しいことを言っているかどうかについてはわからないです。専門の方だからといって、正しさは歴史が検証するのだから、正しさがどうかということはわからないのです。

今回のダムの検討報告書では、平取ダム建設が動かし難い前提となっていて、ダム下流域で行う洪水防止のための河道掘削など、今すぐにでもできて、住民の安全を守ることを最優先とするようなことにはなっていません。ダムを作らなければ、何もできないという報告書になっています。私は国民の安心安全、生命を守る、財産を守るという意味では、どこか公共事業は、国、開発局のやっていることが片手落ちなのではないかと感じます。そして、前のお二方も言っていましたけれども、二風谷ダムが半分以上土砂に埋まっているにもかかわらず、公聴会等で開発が言うのは、ダムの機能は果たされているということです。半分以上埋まっていても機能が果たされているというのは、これは物事には訳がある立場で言っておられるのであって、私はありていに言えば、嘘であると思います。そういうことを平気で公務員が言い続けているというのが、この二風谷ダム、平取ダムの現状ではないでしょうか。

それと二風谷ダムの半分以上埋まっている堆砂をダンプ1台分も取り除いていないのです。堆砂で埋まって約10年にもなるのにです。看々沢、二風谷ダム管理橋の堆砂ダムの上流部分については取り除いて、多分、看々沢については、毎年のように砂が出て埋まるから取り除いています。それほど砂で埋まる沙流川であったということの照査だと思いますけれども、ダム本体については環境汚染のことも心配だからか、一つも取り除いていないというのが実態ではないかと思います。けれども、こういうことの中に、今、またダムが必要だということで、お金をかけて調査して住民の意見も聴いていますけれども、国のこれらの施策は信用できないということを述べざるを得ないと思います。

話は変わりまして、私は22年前に貫気別に移住してきました。酪農などをしながら暮 らしておりますが、一方で写真が好きで、地域の写真を撮り続けています。私の今の名刺 の肩書きは写真家となっています。肩書きが写真家になろうとは思ってもいませんでした けれども、それほど沙流川流域の風景、景観、それは皆さんご存じのように、アイヌの ユーカラに歌われるように、語り継がれている物語と同時にすばらしい景観があります。 写し続けているうちに全く魅せられて、2007年から地元で、今年まで6年間続けて、 毎年、この沙流川の風景の写真を写して皆さんに見ていただくことができました。私はこ こで生まれ育った人間ではありませんけれども、この沙流川流域の景観というのは、素晴 らしいと思います。知床が世界自然遺産に指定されて、少し年月がたちましたけれども、 いろいろな意味で、その評価は正しかったと思えると思います。世界からお客様が見に来 ていただいています。この日高山脈そして沙流川水系についても、日高山脈は日高側と十 勝側と両方に挟まれた北海道の背骨のように襟裳岬まで続いていきますけれども、この景 観は知床にも勝るとも劣らない、世界自然遺産に指定されてもよいような素晴らしい景観 ではないでしょうか。その上に一つ一つの幌尻岳を含めた山地、アイヌ民族が歴史の中で 名付けた地名がついています。1本の川、1本の沢についても、みんなアイヌ民族がつけ た名前がついているという、そういう景観、そしてアイヌ民族が培ってきた名前をつける ような文化的歴史も持っている。そういう意味では、私は知床にも劣らず、この日高山 脈、そしてそれぞれの河川、特にこの沙流川については、大きな価値のある場所ではないだろうかと思います。ですから、私も写しても写しても、その魅力にとりつかれていますが、地元で生まれ育った方については、当たり前の風景で、ですから立ちどまって写真に写すということは、多分ごく少ないと思います。でも、私が立ちどまって写した風景に感激していただけるという中で私自身の写すという喜びを味わっています。そういう私が思う、世界遺産にもすべき、素晴らしい地域に、二風谷ダムで見てわかるように、堆砂で半分以上埋まっても、ダムの機能には影響がないという、公務員の嘘が通る、そういうところでもう一つ上流にダムをつくるというのは、私にはとても許し難いことではないかと思います。

自然景観、文化を破壊し、堆砂などの害を引き起こすおそれのある平取ダムは、建設すべきではないと思います。

以上、終わります。ありがとうございました。

【司会】 ありがとうございました。

続きまして、公述人4番の方、よろしくお願いします。

【公述人4番】 計画されている平取ダムの上流に住んでいます●●といいます。

検証要領細目に示されている総合的な評価の考え方に基づき、目的別評価を行った結果、治水、利水、流量調整の全ての項目で、現計画案が妥当という結果が出ています。時間的な観点、事業コストも最も有効であり、長い時間を費やしても、完成を見ていない事業の方向性が改めて明確になったと考えています。国の事業に対する方向性が揺らぐ中、地元地域はいつもそれらに翻弄されてきました。これだけ上流の山が、針葉樹を植樹され、山の保水力がなくなった今、ダムと広葉樹の山の手入れと二本立てでいかなければ、治水対策はうまく機能しないと思います。検討委員会で妥当と結果がでた今、一刻も早く平取ダム建設に着手し、周辺の生活再建事業も含め、早期の完成を望みます。

ありがとうございました。

【司会】 ありがとうございました。

続きまして、公述人5番の方、よろしくお願いします。

【公述人5番】 私は、平取町の去場に住む●●という者でございます。

私は、大正13年生まれですから、約80年ぐらい前の水害、これはよく分かっているわけでございますが、この沙流川の水害は、いろいろと問題がある水害、水害ごとに問題があるものでございますが、そういう中で、ぜひダムが必要だというようなことで、そのダムの促進という考えで、いろいろと皆さんにお願いをしているところでございます。

沙流川流域の住民は、沙流川の総合開発につきましては、いろいろと意見がございますが、私は大方の方々が賛成をし、促進を願っているのではないかと思います。そういうことで、ダムにつきましては、二風谷ダムが完成をし、そしてその地域の関係の整備が進んでいるわけでございますが、それらについてよく考えてみると、いろいろお話を伺ったところでは、もう7割も事業が進んでいると、しかし残っている平取ダム関係につきまして

は、いまだダムに手をつけていないというようなことでございますが、地域住民は本当に ダムを早くつくって安心安全な、そして農作業も、農畜産物の生産を安心して拡大してい きたい、そう望んでいるところでございます。

計画がスタートしてから、先ほど申し上げましたけれども、30年も経っているわけで ございますが、先ほど申し上げましたように、その計画で7割は完了していると、あと3 割でございます。それが平取ダムの本体ではないかと思うわけでございます。今回、検討 委員会で提出がありました平取ダムの検証に係る検討報告書の中の洪水調整ということに 関する、目的別な総合的な評価では、コストの面だとか、あるいは実現性、柔軟性、そし て地域社会に対する影響など、いろいろの項目に対して、やはりダムを建設をして、洪水 の調整をするということがいいというような結果が出ていると伺っているところでござい ますが、私はやはり二風谷ダムが土砂に埋まっているとか、平取ダムが、これから必要が ないとかいうようなお話もありますが、私は二風谷ダムと平取ダムが二つ合わせて、その 機能を発揮するものだと考えております。それはなぜかというと、この水害を見てもわか るとおり、とにかく本流のほうは、これは小さいけれども、発電ダムでございます。やは り雨が降って水が増水してくると濁るのは、貫気別の額平川でございます。そして、本流 の方は澄んでいるというようなことを考えますと、やはり山の奥のほうが崩れて、そして 土砂が流出をするというようなことが原因ではないかと思いますし、それも一つは、うっ そうたる森林でありまして、300年、500年というような大木があった時代と現在と の水害出方が違うということは、私は80年も生きておりますから、はっきり覚えている のは、昭和10年の水害、それから昭和30年の水害、それから皆さんも最近のやつはご 承知のことと思いますが、それらについては、水害は雨の降っている最中に出ないので す、昔は。それは、やはり奥に大木があって、その大木に雨が当たり、それが滴になって 落ちて、地面にしみ込んで流れてくると。それには、やはり二日も三日もかかるというよ うなことでございまして、特に30年の水害等については、私たちは田んぼの草取りをし ていた。ところが、沙流川が増水をしてきて、そして用水路を超して、滝のように水が流 れてきたと、津波ではございませんが。そのようなことで、非常に奥地が開発をされて、 そしてそのために水が早く出ると、鉄砲水といいますか、そういうような関係で平成15 年の水害については、これはここで、あの14日の晩にトライアスロンの総会というか、 打ち合わせをやっていた最中に雨が降っていました。ところが、それが明日の大会に、あ のダムで、水泳の関係もございますから、そこを泳いで競技をするという時に、それがそ んなに早く水が出ると思わないし、皆さんもそうやって会議をしていて、明日は雨が上が ればいいなという程度であったはずなのです。ところが、それが終わって帰らないうちに 水が出てきたというようなことで、やはり奥地の開発が進んで、そのために鉄砲水が出 る。ですから、急いであのダムを建設して、第1段階で平取ダムで止め、さらに第2段 階、二風谷ダムで止めるというようなことで調整をしていく必要があると思うわけでござ いまして、ぜひ、ダムの建設を早く行って、そういう節度のある水の使い方といいます か、下流へ流すことを調整していけるダムを建設していただきたいということを申し上げて、終わらせていただきます。ありがとうございました。

【司会】 ありがとうございました。

続きまして、公述人6番の方、お願いします。

【公述人6番】 二風谷ダムから来た●●と申します。アイヌの一人として、今日来ました。

実は、このごろ通ったのですけれども、額平川の幌尻岳のチノミシリのところが水の下になるのがとても残念だなと思うことと、このごろ豊糠のあそこの橋を通ったときに、景色がすばらしかったので、あそこが水の下になったらもったいないなと思って見たので、できることなら、水の下にならないで済めばいいなと思って見て歩いたこと、今、この歳をとってから、ここへ来てこんなことを言うのも何か悪いなと思ったのですけれども、この二風谷にできているダムのときは、夫がとても反対もし、それでもできたダムだったものですから、ダムのことに関しては余り言いたくはないのですけれども、できれば私も、できないほうがいいなという考えが多いのです。

幌尻岳のチノミシリですね、あそこにあるのと、二風谷にできているダムのそばには、 ホロモイだとか、いろいろのチノミシリがあって、それも水の下になってしまいましたけ れども、これも仕方ないのかなと思っています。できれば、そういうことで、余り長い話 はできませんので、これで失礼させていただきます。

【司会】 ありがとうございました。

続きまして、公述人7番の方、よろしくお願いします。

【公述人7番】 ●●といいます。よろしくお願いします。

私は、賛成の立場で話させていただきたいと思います。

開発事業における平取ダムの建設に関しては、今までの経緯からして、今回の現計画案が最も有利といった総合評価で当然の結果だと思いますし、評価に費やした時間を取り戻すためにもスピード感を持って、事業を推進してほしいです。

以上です。

【司会】 ありがとうございました。

公述人8番の方につきましては、お時間になってもいらっしゃらないということで、本日は公述を中止ということの扱いにさせていただきます。以上、7名の方につきまして、本日、公述をいただきまして、ただいま終了させていただきました。

公述していただいた皆様につきましては、どうも本当にありがとうございました。

本日、公述をいただきました内容につきましては、今後、個人情報に配慮した上で、取りまとめさせていただきまして、報告書や開発局のホームページ等で公表させていただきます。その際、正確を期すため改めてご意見をご確認する場合がございますので、ご協力お願いします。

多分、テープで録音しておりますので、また聞き取ることはないかと思いますが、不備

があった場合は、ご確認の依頼をする場合がございます。

5. 閉会

【司会】 それでは、閉会に当たりまして、室蘭開発建設部長戀塚より挨拶申し上げます。

【室蘭開発建設部長】 今日、お話いただきました7名の方には、今日は大変お忙しい中、お集まりいただきましてどうもありがとうございました。また、今日は時間の関係から、一人10分ということで時間を限らせていただきました。そういう限られた時間の中で、まとめてお話をいただきまして、改めて感謝を申し上げる次第でございます。

今、司会の方からお話ありましたけれども、この場は意見を聴く場ということで、我々の方からお答えはしませんけれども、今日、お昼にも学識経験者の方を含めたご意見をいただきました。また、この後、地方自治体、それから利水者の皆様にもご意見をいただきまして、それらのご意見につきましては、全てまとめて報告書の中に載せさせていただきまして、またそれを資料といたしまして、今後、丁寧な検証を進めていくという予定になってございます。また、その中で、いろいろとご回答なりをさせていただきたいというふうに思っております。

最後になりましたけれども、今日、また改めてお忙しい中、お集まりいただきまして、 また貴重なご意見をいただきましてどうもありがとうございます。

非常に簡単でございますけれども、最後のお礼の言葉とさせていただきます。どうもあ りがとうございました。

【司会】 以上をもちまして、本日の沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書(素案)に関する関係住民の意見を聴く場を終了いたします。

本日はどうもありがとうございました。

【電子メール等で頂いたご意見】

(資料提出儀式)

国土交通省北海道開発局室閩開発建設部治水課內

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告責(素素)に対する音見忌集について

| ①氏名(フリカ | 11) |
|---------|---|
| ②住所 | |
| ③電話番号文 | |
| メールアド | • |
| ④職業 | COT III |
| 意見該当箇所 | 7 |
| 頁 行 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してくごさい。) |
| | 自然は一度こわすと、復元、再生は死人で不可能です。よの夕公建設によって失われる自然、周辺の生態系、はあまりにも大きて、恐るします。 「こと水」等の目的も夕公によって解決できるとは思われません。二周谷夕公は大きでする。 住民、専門家、研究者の意見をよく聞き、一時は凍結、中止の話があったのに、ここにきて強行姿勢が目立ちます。 |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| | | | | | | <u> </u> | | | | | |
|-------------|---------------|-----------------|-------------|------------|-------------|-------------|---------------|---------|--------|----------|------|
| ①氏名(| フリガ | }-) | | | | | | | | | |
| ②住所 | | ٠. | | | | · | |) | | | |
| ③電話で メー/ | 番号又は レア ドレ | | | 4 , | , _1 | | | | | <u>.</u> | |
| ④ 職業 | | | 司法 | | | ⑤年齢 | - | 78 | ⑥性別 | -\$_ | |
| 意見該: | 当箇所 | のご : | 意見は項目 | | , | 込内で記 | 載してく | ださい。 | | | |
| 頁 | 行 | (ご落 | ほ見が 200 字 | を超える場 | 合は、伊 | 性でその | 内容の要旨 | (200 李以 | 内)も記載し | てください。 | > |
| | | 乔 | ald I | | | | | elt | 10 3 | 內包护 | EG |
| | : | 49 | 407 | 變 | AAA | Ans | F>4 | しまれ | 上野鱼 | 计师 | 领色 |
| | | 1 | | , Let | C 204 | eng. | Ren | RIG | A CO | 关下?" | 1272 |
| | | 8 0 | 4J 33(=5 | | 放 | K-4 | لردء | 211 | 付って | ケーヤ | 79~ |
| | | 2 | 等中界 | TOP | ¥ | a of to | 、年史 | 7 E | 本合价 | 351 L | |
| | | | المحال | (200 | 更重 | 9 | | | | | |
| | | j | 烟槽 | | 1750 | MIN | la.M | | | | |
| | E | 1 # | 七、全个 | -vear μ | - 4 | | | | | | , |
| | | 4 | 州仁 | No. A | 35 1 | 中山大 | L A 2; | | | -46-7 | [% |
| | | 20 | | R95 | XX | 全再为 | | | ant le | Tall 1 | TEL |
| | | F. Comments | Mas = | ale. | · 4. | 种等 | | 們Li | TRA | P. | - |
| | | | | | | | | | | | |

| (, 1,, | 11000 | | | | | | |
|----------------|-----------|--|---|---|--|---|--|
| ①氏名 (フリ | ガナ) | | | | | | |
| ②住所 | | | | | | , | |
| ③電話番号2 メールア | | | | | | | |
| ④職業 | | 農業 | | ⑤年齢: | 8 8 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該当箇月 | 近 ⑦ご | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | とに 200 文写 | 以内で記 | 載してくださ | ž /\.7° | |
| 頁 行 | (C. | 意見が 200 字を起 | 超える場合は、 | 併せてその | 内容の要旨 (20 | 0 字以内) も記載し | してください。) |
| | 会べさ機計わっもと | が平取ダムの たいただに向上 が大幅にトト がスターだにのず、未びムの ででながる。 でではいいでは、 ででででいる。 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるとでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいると でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 とでは、 でいるでは、 とでは、 でいるでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 と | 早期完成に向いる。 対る平取ダム では、「ない」 では、「特別 では、「特別 は、「特別 は、「特別 は、「特別 は、「特別 は、「特別 | 団体からには、いては、いては、いては、いては、いたないでは、いたないのでは、いたないのでは、いて、いては、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、 | ていることと 沙流川総合 二風谷ダム気 一その事常に死 とを非常調整 次性」、「結果か 切との結果か | わば5,60 たなります。その 開発の主たる に成以来、一環 で割以上が完 えるに思ってい に関する目的 は社会への影響 | は平取町の全国の全国の全国のでは平取町町の主要でででででででする。ののでは、大田のでは、田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、田のでは、田のでは、田のでは、田のでは、田ののではのではのは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、 |
| | - | | | | | | |
| | | | · | | | | |

| | | | | | | | | |
|-------------|--------------|------------------------|---|--------------------------------------|---|--|-------------------------------|--|
| ①氏名(| (フリガ: |)) | | | | - | | |
| ②住所 | | | | | | | ., | |
| ③電話社 メーノ | 番号又は レアドレ | | | . | | | | |
| ④職業 | | | 建設業 | • | ⑤年齢 | 6 5 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご: | 意見は項目ごと | に 200 文字 | 以内で記 | 載してください | V). | |
| 頁 | 行 | (ごえ | ほ見が 200 字を超 | える場合は、 | 併せてその | 内容の要旨 (200 | 字以内) も記載し | いてください。) |
| | | | | · | | | | |
| | | | | | | • , | , | • |
| | | た結 時 事 国 き | 果、治水、利水 間的な観点、事 業の方向性がで の事業に対する 。一刻も早く平 | 、流量調整の 「業コストも 女めて明確に る方向性が揺 | の全ての項 最も有効 [*] なったと らぐなか、 | [目で「現計画 であり、長い時 考えている。 地元、地域に | 「案」が妥当と 寺間を費やして ないつもそれ。 | 目的別評価を行っ の結果が出ている。 ても完成を見ていな らに翻弄され続けて も早期の完成を望ん |
| | | でい | వ . | | | | | |

| | | | | | | | | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
|------------------------------------|--------------|--|------------|------------|-------|---------------------------------------|-------------|---------------------------------------|
| ①氏名(| フリガ | ታ) | | | | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | · . | |
| ②住所 | | | | | | | | |
| ③電話をメーノ | 番号又は レアドレ | | | | | | | |
| ④職業 | | | 自営業 | | ⑤年齢 | 40 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該計 | 当箇所 | のご | 意見は項目で | ごとに 200 文字 | 以内で記 | · 載してくださ | えか, | |
| 頁 | 行 | , (Z) | 意見が 200 字を | ·超える場合は、 | 併せてその | 内容の要旨(20 | 0 字以内) も記載! | ンてください。) |
| | | 総 | 合評価は当然 | | 、評価のた | | | 有利であるといった 冥すためにもスピー |
| | | A LANGE OF THE PARTY OF THE PAR | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ |) | · |
|-------------|--------------|--|----|
| ②住所 | | | |
| ③電話を メー/ | を号又は レアドレ | | |
| ④職業 | | 固体磁页 ⑤年齡 23 ⑥性別 男 | |
| 意見該当 | 当箇所 | Dご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 | , |
| 頁 | 行. | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要質(200 字以内)も記載してください | .) |
| | | 途中までできているのに 完成までもっていかない事程 無駄なこてはないでしょう。 | |
| | | 単純に得か損かで考えてみてはどうか。やってつら | |
| | | こなる事があるならわればいい。投げやりで他人事の様は 関に入るかもしれないがそうではない。3.11の大津ル | 足_ |
| | | 台風による法水の災害は準備をしておけば級害ったってかなくできていたかもしれない。自然との共有 | |
| | | 大事なテーマではあるが無熱悲にも襲ってくるの全性には | かっ |
| | | かれない。 | |



| · | יביייייייייייייייייייייייייייייייייייי | |
|------|--|--|
| ①氏名(| フリガ |)) |
| ②住所 | , | |
| ③電話 | 6号又に | |
| メーバ | レアドレ | |
| ④職業 | | (野/季斯2 ⑤年齡 4) ⑥性别 为 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 頁, | 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| | | (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。) ないれ、下をよい、水浴場かりを乗べなり、えいります。ないからないする。 それなる。 |
| | | West a let 11/2 a l |
| | | 電動の生まり |
| | , | |
| | | |
| , | | |
| | | |
| , | - | |
| | | |
| | | |
| . • | | |
| | | |
| | ÷ | |
| | | |
| | | |
| | • | |
| | | |
| ÷ | | |
| | · | |
| | | |
| | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| | AND A TREE | 合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告著(素素)に対する意見募集について |
|-------------|--------------|---|
| ①氏名(| フリガ | ナ) |
| ②住所 | | |
| ③電話を メール | 番号又に レアドレ | |
| ④職業 | i | 里体取员 ⑤年齡 59 ⑥性则 男 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| | | 我は年の台殿への学や平成、8年8月の乗降家園により、 砂路川では、投水にからかであり、年取夕心の建設に望んでいる。 砂なり、現域の住民は、平取夕心の建設に望んでいる。 みばり、流域の住民は、平取夕心の建設に望んでいる。 みばいかかった地にいる。平期完成に向りて再用すべき。 政権を代による国土交通大臣の突然の、京針報域は、 建解しかでい。 |
| | | |
| | . : | |
| | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| r | DIAD 11410 | | | | 1-X1 7 2 X2X 70 | | |
|------|--------------|---|------------------------------|---|------------------------|-------------|-------------|
| ①氏名(| フリガ |)) | | | | | |
| ②住所 | | | | | | | |
| ③電話 | - | | | | : | | |
| メーノ | レアドレ | 2 | | | <u>`</u> | | |
| ④職業 | | 团体職 | 5 | 年齡 49歲 | ⑥性别 | 女 | |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ごと | こ 200 文字以内 | 内で記載してくだ | さい。 | | |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超え | る場合は、併せ | てその内容の要旨(2 | 00 李以内) も記載 | えしてください | '°) |
| | | 平成は年間がは、地域など、地域など、地域など、地域など、地域など、地域など、地域など、地域など | 平度なけるが現事がの位と、かなびは、数では、数では状事を | 親水公園」がはかいないないないないないとかないというというというないないないないないないないないないないないないないないな | 湯かしかいろしていらる 残食代 | 音と もかりと は関係 | g"." |
| | | | | | | | |
| | • | · | ÷ | | ٠٠ ﴿ إِنْهُ | | |
| | | | | | | | : |
| | | | | | | | ; |

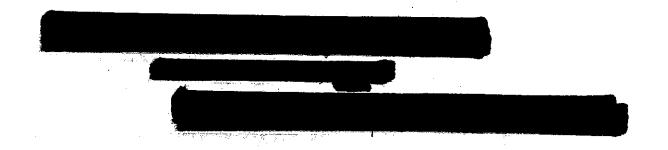
「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ① 名(| フリガラ | h) | | | | | | |
|-------------|--------------|----------------------|-----------------|---------------------------|----------------------|------------------|-------------|---------------------|
| ② 所 | | | | | | | | |
| ③電話和 メーノ | 番号又に レアドレ | 30 | | | | | | |
| ③ 職業 | É | 会社 | 上員 | | ⑤年齢 | 63歳 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該旨 | 当箇所 | ⑦ご意見 | は項目ごとに | 200 文字 | 以内で記 | · 載してくださ | V4. | |
| 頁 | 行 | (ご意見か | ₹200 字を超え | る場合は、 | 併せてその | 内容の要旨 (200 |) 字以内) も記載し | してください。) |
| 1 | 1 | 平成15 住民とし 1日も早 | て、家族、 く平取ダム着 | . 0 号時避 材産、そし 計工と完成 | 難、平成 で地域を を望んで | 18年8月の 守るため二風 | 、谷ダムだけでい | 基備を経験した流域 は不安です。 |
| | | | | - | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | , | . , | | · | | | | |
| | | | | | | - | | |

- ⑦期限までに到着しなかったもの、上記意見の提出方法に沿わない形で提出されたもの 及び下記に該当する内容については無効といたします。
 - 個人や特定の企業・団体を誹謗中傷するような内容
 - 。個人や特定の企業・団体の財産及びプライバシーを侵害する内容
 - 。個人や特定の企業・団体の著作権を侵害する内容
 - ・法律に反する意見、公序良俗に反する行為及び犯罪的な行為に結びつく内容
 - ・営業活動等営利を目的とした内容

ブム解建設を布望します

サラ下の人ので記上工程本来に早く工事をして 谷心して CS でも様ににして/ましいです 自然も人事にと思います、けどの下や人名を人事でと思う



「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ① 名(フリガ | /-) |
|-------------------|---|
| ② 所 | |
| ③電話番号又に メールアド! | |
| ③ 職業 | 会社員 ④ 年齢 65 ⑤ 性別 男 |
| 意見該当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 頁 行 | (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要冒(200字以内)も記載してください。) |
| | 現在の気象状況は何時、何処で集中豪雨が起きても不思議はありません。 平取町民として安心して暮らせるため1日も早く平取ダムの完成を望むものであります。15年台風10号のときも非難しました、18年も大雨がありました。 今の異常気象は本当に心配です、平取ダムが完成して初めて二風谷ダムとあわせて 機能するものと期待しております。 重ねて1日も早く完成させてください、お願いします。 |
| | |
| | |
| | |

013

| ① 氏名(フリ | グナ) | | | | | | | | | |
|-------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ② 住所 | | | | | | | | | | |
| ③電話番号又に メールアドロ | | | | | | | | | | |
| ③ 職業 | 会社員 ④ 年齢 57 ⑤ 性別 女 | | | | | | | | | |
| 意見該当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 | | | | | | | | | |
| 頁 行 | (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。) | | | | | | | | | |
| | 洪木の危険と隣合わせの生活は地元に住んでいる人にしかわからないと思います 被害が出てからではどうしょうもありません。 政権交代による遅れを早くとり戻し、そして1日も早く平取ダムを完成させて 下さい。 安心して暮らせる故郷を子供たちに残してやりたいです。 どうか願いをかなえて下さい。 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(フ | リガナ) | 学来下収えるの複雑に保る検討教育者(系来)に対する意見を楽について |
|------------|-------|---|
| | ~ | |
| ③電話番号 | | |
| ④職業 | | 自宫本 ⑤年齢 59十 ⑥性別 岩 |
| 意見該当篋 | 頭所 ⑦ご | 見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 頁 : | 行(ご覧 | 見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| | は英言な | 新量の増加は、年々増して来ですす。 年、18年を経験しているものは、 が降るもび不安です。 然保護・景観がそこなかりると言われるが が田火田が水につか、下着は、又あの時の フにと不安になる。早く着エレスほい、 |
| | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| D氏名(| フリガ | ナ), | | | - | | | | | |
|------------|--------------|-----|-----------------------|----------------------|----------------|----------------|-----------------|------------------|---------------------------------------|------------|
| 2)住所 | | | | | | | | | | |
| | 番号又に レアドロ | | | Agency Francy (Files | | | | | | <u>-</u> |
| ④職業 | | | 会社員 | ₹ . | ⑥年 | 齢 3 | 1 | ⑥性別 | 男 | **** |
| 意見該当 | 当箇所 | ⑦ご: | 意見は項 | 月ごとに 20 | 10 文字以内 | ──── で記載して | てください。 | 1 | | |
| 頁 | 行 | 7 | | | | | | | てください。) | |
| 4-2 | | 状況、 | です、も す。平取 <i>;</i> | しあれを上 ダムを建設! | 回る規模の レニつのダ | 豪雨が来た 4による洪 | に場合二風 :水調節が最 | ☆ダムだける でも有効的な | 来てもおかし。 では洪水対策 手段だと思い O建設を進め | こ不- 'ます |
| | | たい。 | | : | , | | | | | |
| | | | | | | | ÷ | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | ٠ | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | · | - | • | | | | | · | |
| · | | • | | · | | | | | · | |
| | | | | | · | | | | | , |
| | | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | (フリガ | 'ナ) | | | | | |
|------|--------------|-------------------|--|----------------------------|------------------------------|------------------------|-----------------------|
| ②住所 | | | | | | | |
| ③電話: | 番号又! ルアド! | | | | -to | | |
| ④職業 | | | 会社員 | ⑤年 | 冷 54 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該 | 当箇所 | ②ご | |) 文字以内で | 記載してくた | | |
| 頁 | 行 | 1 | 気見が 200 宇を超える場 合 | | | | てください。) |
| 4-2 | | おり: 成さ・ 」等の | 川総合開発事業の平置 ません。総事業の内7 せる事が「河道掘削」 のどれよりも安価に達 けない様、早期の着工 | 割程度が完 「堤防のか 成出来る洪 | 了しており、 ・さ上げ」、「遠 水対策だと思 | 残事業費で見た場 k水地」、「宅地かる | 合、平取ダムを完 さ上げ」「雨水貯留 |
| | | | | | | | |
| | | | , | | | · | |
| · | | | | | | | |
| | | - | | | | | |
| · | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | フリガ | ナ) | | | | | | | | | | |
|-----------------|----------|----------------|---|----------------------------------|-------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|--|--|--|--|--|
| ②住所 | | | | | , | | | | | | | |
| ③電話番号又は メールアドレス | | | | | | | | | | | | |
| ④職業 | <i>"</i> | | 会社員 | ⑤年齢 | 50 | ⑥性别 | 男 | | | | | |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご | - 意見は項目ごとに 20 | 0 文字以内で記 | · 織してくた | ごさい。 | | | | | | |
| 頁 | 行 | (ごだ | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) | | | | | | | | | |
| 4.2 | | 法びなたが上 | データから見ると、と と思います。異常気 周辺住民を洪水災害が 、地域経済が低迷して がり地域の活性化がり | 後により集中衰i から守るために、 ている中、ダム& | 前の発生率 早急にダム 奎設を進め | が高くなって\ を完成させるへ る事で雇用が確 | ヽる現在、沙流川流域 ヾきだと思います。 詮保され地元の購買力 | | | | | |
| | | 希望 | します。 | v | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | · | | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ナ) , | | | | | | | | | |
|-------------------|---------------|-----------|-----------------------|--|------------|------------------|-------------|------------------|-----|---------------------------------------|------|
| ②住所 | | | | | | | | | | | 4// |
| ③電話 ③電話 メール | 番号又に レアド I | - | - Company (Principle) | The second secon | | | | | - | | |
| ④職業 | | | 会社役員 | | | ⑤年龄 | 69歳 | ⑥性 | .BU | 男 | |
| 意見談 | 当箇所 | のご | ・ 意見は項目 | ごとに 20 0 | 0 文字 | - - - 以内で記 | 載してくた | ごさい。 | | | |
| 頁 | 行 | (ごま | 意見が 200 字 | でを超える場で | 合は、 | 併せてその | 内容の要旨 | (200 字以内) も | 記載し | てください | ·/°) |
| | | して 改め | は到底容認 て検証が進 | ₹できるも <i>の</i> | つでは こころ | 有りません ではあり | ん。 ますが、ダ | るかのようた るが最も有効 | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| , | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | · | <u>.</u> | | | | |
| | | | | | | | | • | | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | |
| | | ' | | | | | | · | | · . | |
| | | | | | | | | | | | |

「沙流川総合関発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局酸

| 少流川総合開発等 | 事業平取ダムの検証に | 係る検討報告書(| (素薬)に対する意 | 見募集について |
|------------------|---|---|---|--------------------------------------|
| ①氏名 (フリカナ) | | | | ` |
| ②住所 | | | | |
| より、自然を発送し、 | | | | |
| メールアドレス | | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | |
| ④職業 | 法人役員 | ⑤年齢 | 73 歳 ⑥性別 | 男 |
| 意見該当箇所 ⑦ | うご意見は項目ごとに | . 200 文字以内で記 | 載してください。 | |
| が が 通 検 | ご意見が200字を超える 去る、平成24年9 合開発薬業平取ダム 致たしました、参加 して公開してほしい 討した結果検討報告 特に、最近の急速な ことが多く発生てお | 場合は、併せてその内 月 19 日(水)日高町 の検証に係る検討 者が少なく関催情 、説明会では担当 (繁築)に対し平 は地球環境の変化に り、社会的問題と | 1容の要旨(200 字以内 「富川公会堂で開催 報告書(素案)に関 報等をもつと多く 者の適確な説明と なり、各地で1時 なつておりますの | 2妥当と思われます。 間に多くの雨量を降 で、当流域住民生活 |
| を: | 水害から守るためにも | も、1日も早い平取 | ダム建設と完成を | 期待しております。 |

| ①氏名(| フリガナ | -) | | ,ç. | | ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, | | | | | | | | | | ., |
|------|---|-----|--------|----------|------|---|-----------------------------|--------|-------------|-------|------------|--------------|------|-----|------|-----|
| ②住所 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| * | 子 ラ ラ フ ド レ ア ド レ | 1 | | | | | | | | b | | a a | | | | - |
| ④職業 | | , | | 三角 | a | ٠. | ⑤年 | 龄 | 7 | 3 / | 40 | 6)性別 | | 家 | • | |
| 意見該 | 当箇所 | | 意見は | 項目こ | ごとに3 | 200 文字 | 2以内 | で記載 | して | ください | / \ | | | ~~ | | |
| 頁 | 行 | (5% | (見が 24 | 00 宇を | 超える: | 場合は、 | 併せて | その内 | 容の要 | 旨(200 | 字以内 |) 623 | 改して | くださ | い。) | |
| | | | | | | ي لي ط | | | | | | | | | | |
| | | 84) |) 先 (| | 一厘 | 行 | 72 | 91 | 生る | 7 (7 | 2413 | | 到 | (大) | | Î\" |
| | | | 22 | . | Co | 模 | ,= <i>,</i> =, , | \$ 2.7 | ` `) | 391 | 8 . T | 下し | 7 l; | £(, | E\ 1 | |
| | | | | | | | | | , | | • | | | | | |
| | | | • | | : | | | | • | | | | | | | . 1 |
| | | | | | | | | | | | | • | | , | | - |
| | • | • | | ." | | | | | | | | • | ٠. | | | į |
| , | | | | | 4 | | | | | | • | | | | • | |
| | , | ٠ | • | | , | | , | | | | | | | | ٠. | - |
| | | | · | | | | | , | | | | | | · . | | |
| | | ٠ | | • | | | | • | | • | | | • | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ナ) | |
|-------------|--------------|------|---|
| ②住所 | | | |
| ③電話者 メー/ | 番号又に レアドレ | | |
| ④職業 | | | 事業 主文帚 ⑤年齢 29 ⑥性別 文 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご, | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| 頁 | 行 | (ご意 | 意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| 63 | 12 | | 海電アタにとって大かなナンミシリを |
| 69 | 13 | 2) C | c没することは詳されません。 平取かり建設ではない方式で、ミピタに |
| 20 | 14 | | チリルモイテッマ下さい。 |
| | | 7 | ナノミシリはお重り代替でできることでは なくアイマ民族の精神をいみにじる |
| | | - = | ものです。 平取を心東後から 上地域社会への号が響の評価は半個と |
| | | 7 | 覆すけでの要素はないと考えることは |
| | | | 二風をかり教制の判決で達芸であるとせれています。 |
| | | | , |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | (フリガ | ナ) | | | | | | | | |
|--|--------------|-----|-----------|---------|-------|-------|---------|--------|--------|---------|
| ②住所 | | | | | | | | | | |
| - | 番号又に レアドレ | | | | | | 7.12 | | | |
| ④職業⑤年齢56⑥性別 | | | | | | | | | | |
| 意見該当箇所 ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 | | | | | | | | | | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 賃見が 200 字 | を超える場 | 合は、併一 | せてその丼 | 羽容の要旨(2 | 00 字以内 | 1)も記載し | てください。) |
| \$\$ \$ X | (8) | 团 | 的意意なる | 377 オイス | かから | いかない | いってするする | 10 E | 時間を | 産に |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | (フリガ | ナ) | į. | | | | |
|-----|------|-----|---|------------------|------------|-----------|--------------|
| ②住所 | | | | | | | |
| | 番号又に | | | | | | |
| ④職業 | | | | ⑤年齢 | 73 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項目ごとに 20 | 0 文字以内で記載 | 載してくださv | ١, | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 意見が 200 宇を超える場 | 合は、併せてその内 | 内容の要旨(200年 | 字以内) も記載し | 、てください。) |
| | | * | かないないないないないないないないないないないないないないないないないないない | 平町みのはなっているというという | 一旦、東京なる | 建設年了水 | である。 |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(フリガ | ·ナ) (() () () () () () () () () |
|-------------------|---|
| ②住所 | |
| ③電話番号又に メールアドロ | |
| ④職業 | ⑤年齢 63 ⑥性別 女 |
| 意見該当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 頁 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| | ア仅百於といる壁地では、チバシリでは没する平取かれて、基本や電地が、1く日を豊かいて、 ちないのるときを考れてするかった 本格的を発化して下さい。 |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(フリ: | ガナ) | | | | | | |
|--|-------|-------------|--------------------------|-------------|------------|--------------|--|
| ②住所 | | | | | | | |
| ③電話番号又メールアト | | | 3 | | | | |
| ④職業 | | | | ⑤年齢 | 63 | ⑥性別 | * |
| 意見該当箇所 | f ⑦ご; | 意見は項目ごと | に 200 文字 | 字以内で記載 | えしてください | ٠١, | |
| 頁 行 | (ご意 | 気見が 200 字を超 | える場合は、 | 併せてその内 | 容の要旨(200 5 | 字以内) も記載し | 、てください。) · |
| 3-7 | 3 | いまでおりなます。 | 3。 悪かれ は は 半 | 理中 野學 中 起 下 | はなかりなかり | 七年旬2月12月2月2日 | く さい こここ ここここ ここここここここここここここここここここここここここ |
| | | ナバシ教制の社会 | 半1 三月 | 、かぶも | 主中6 | かて大き | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ナ) | 1 | | | | | - | | | |
|--------------------|-----|-----|---------|------|----------|--------|---------|------------|--------|-------|---|
| ②住所 | | | | | | | 100/1 | | , | | |
| ③電話番号又は メールアドレス | | | | | | | | | | | |
| ④職業 | | | | | | ⑤年齢 | 95 | ⑥性5 | jij | 4 | |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項 | 目ごとり | こ 200 文気 | 字以内で記: | 載してくだ | さい。 | | | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 意見が 200 | 宇を超え | こる場合は、 | 併せてそのP | 内容の要旨(2 | 00 字以内) も罰 | 起載して | ください。 |) |
| | | | · 一方主法 | 攻壊 | 可大 | (, 斜 | 14で | いはない | ر، ل ٔ | 7 | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | - | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | · |
| | | | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ナ) | | | a a language de la companya de la co | | | | | |
|-------------|-------------|---------|------------|-------------------|--|---------------------|---------|---|---------------|--|
| ②住所 | | | | | | | | | | |
| ③電話番 メール | 号又に ⁄アドレ | - 1 | | | 3 | | | , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u> | | |
| ④職業 | | | | | ⑤年齢 | 99 | | ⑥性別 | 9 | |
| 意見該当 | 箇所 | (7) Z j | 意見は項目こ | ごとに 200 | 文字以内で記 | 載してくだ | さい。 | | ; | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 意見が 200 字を | 超える場合 | は、併せてその | 内容の要旨(2 | 200 字以卢 | 内)も記載し | てください。) | |
| | | # / | をかけって出り来 | はないなったないなったされていると | 中心里大事程 | 生に な 量 見数かけなけか かりとう | 砂適生せい見 | 、せるいとかを | ラン そ カ~ | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(フリカ | · (すけ) | | | | | | | |
|---------------------------|-----------|------------|--|---------|------------|---|--------------|---|
| ②住所 | | | Market Language and Conference of the Conference | | | | | |
| ③電話番号又 メールアド | | | | | 3 | ~ · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | |
| ④職業 | | 主 | 中 | ⑤年齢 | 62 | ⑥性別 | - | |
| 意見該当箇所 | ⑦ご | 意見は項目に | ー! ごとに 200 文 | で学以内で記載 | | ٠, | | |
| 頁 行 | (ご道 | 意見が 200 字を | を超える場合は | 、併せてその内 | 容の要旨(200 字 | 三以内)も記載し | てください。 |) |
| | | 下さ森林 | 、。 : o | と高め | シリをリ | 1= \$37 | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(フリガ | ナ) |
|---------|--|
| ②住所 | |
| ③電話番号又に | |
| ④職業 | 点 ネナイグ g ⑤年齢 62 ⑥性別 |
| 意見該当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 頁行 | (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。) |
| | 堆砂の粉、川に切っては建設すかせでは でく、しかも自然ですっています。 チャロトアない方式での三のれ、竹ルはすかせです。 |
| | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | (フリガ | () |
|-----|--------------|--|
| ②住所 | | |
| | 番号又に ルアドレ | |
| ④職業 | | 高校粉師 ⑤年齡 6≥ ⑥性別 ── |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| | | 平取り一へ建設ではない。当りに、年川し を再校計すべきです。 |
| | | 野代はオでトークのおはきの時代です。 |
| | | 末末に小海のことかようにあれまです。 |
| | | |
| | | |
| | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | (フリガ | ナ) | |
|-----------------------|------|-----------|--|
| ②住所 | | | |
| ③電話 メー | 番号又に | | • |
| ④職業 | | | 主体 ⑤年齢 90 末 ⑥性別 七 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 頁 | 行 | (ご着 | 意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| | | | 平取からの建設を17、川をはいた なりにして下さい。 今のかりをけるして下さい、 今人建设の信候とは本とすい。 再校計が必要は考え到。 平取からり建設すかせるでありません。 |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | |
|------------------------|--------------|--|
| ②住所 | | |
| ③電話者 メーノ | 番号又に レアドレ | |
| ④職業 | | ⑤年齢 7/ ⑥性別 文 |
| 意見該旨 | 当箇所 | ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 頁 | 行 | ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| | | 平即かり、建設という結構には、 本文記かるためなる。 理技のかいにはいる。 でくの起るいと評価の説り です。 アイスの事はナルシンの収込 すり平野かりの株設ないきでありません。 |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | <i>t</i>) |
|-------------|--------------|---|
| ②住所 | | |
| ③電話を メーノ | 番号又に レアドレ | · |
| ④職業 | | 写真 高c ⑤年齢 49 ⑥性別 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| 3 -2 | -7 | 平取りの建設は、すかきではない。 |
| | | 核計では、社会的にも理地に |
| | | かってもケム東波は引撃が少く |
| | | 内題はないと評価にいるか、 |
| | | 問題は大きく再校計をかきて |
| | | ある。核計は見は生かなく計算 |
| | | すでは、実際に起いる 現象はあか |
| | | うず自然は複雑祭であることを |
| | | 一つ一つ見は附れ再校計サかき |
| | | であり、台凡いろの事をかり |
| | | 平即于《日大变危险》不多。 |
| | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガナ | |
|-----------------------------------|---------------|---|
| ②住所 | | |
| ③電話ボーバ | 4号又は レアドレフ | |
| ④職業 | | 自营業 ⑤年齢 67 ⑥性別 男 |
| 意見該当 | |)ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| 3-10 | | 社会的理论的事何事中有等年的 |
| | | かで、影響の少く同題はないと |
| | | 言を付せれているか、元信的には |
| | | アイ又民族の転離文化12か4からうない |
| | | 4/133009716设中自然及城了 |
| | | 大きさから、中キト大三方間強か |
| | | 平取り八建設によって生じべつ |
| | | 万女挂住 就会的 军地的儿 |
| | | 計りをルター大きかありて |
| | | 平野ないは其後なかきではない。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | (フリガ | ナ) | | | | | | | | | | |
|-----------------------|------|-----|--------|------|---------|------|----------|--------|------------|----------|-------|-------------------|
| ②住所 | | | | | | | | | | | | |
| | 番号又に | | | | | | | | | | | |
| ④職業 | | | | 生 耳 | ët | ⑤年 | 龄 | 82 | 6 h | 生別 | 平 | |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項 | 目ごとり | に 200 文 | 字以内7 | で記載し | てくださ | žſ,° | | | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 見が 200 | 字を超え | とる場合は | 、併せて | その内容の | の要旨(20 | 0 字以内) 🕏 | 。記載し | てください | (N ₀) |
| | | | | 1. | SF. | されつ | 7 4 6 | 考え | オとき | er er | | = 71 |
| | | | | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ナ) | | | | | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--|------------|--------|---------|--|--|--|--|
| ②住所 | | | | | | | | | | |
| ③電話者 メー/ | 番号又に レアドレ | | | | | | | | | |
| ④職業 | | | 主 せず ⑤年齢 | 79 | ⑥性別 | * | | | | |
| 意見該当箇所 ⑦ご | | ⑦ご ; | 意見は項目ごとに 200 文字以内で記載し | てください。 | | | | | | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容 | の要旨(200 字以 | 内)も記載し | てください。) | | | | |
| | | 11 | タマペッ大切な星 ウミとなって、 方主なで作って下さ 社会日記別利 | 7-42 | 1272 | 1 1 | | | | |
| | | | | | | • | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | · . | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(フリガナ | | | | | | |
|-----------------|---|--|--|--|--|--|
| ②住所 | | | | | | |
| ③電話番号又は メールアドレン | | | | | | |
| ④職業 | ⑤年齡 6/ ⑥性別 🗸 | | | | | |
| 意見該当箇所 (| ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 | | | | | |
| 頁 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) | | | | | |
| 3-10 | 平取り、4市定士やにあるチノミシグ | | | | | |
| | はアクスマネケリの場。壁せやという | | | | | |
| | ことなるで、ここはから歌さ | | | | | |
| | せることは発力をかまきをすれるこ | | | | | |
| | とではないと考えます。 | | | | | |
| | かなかかってもいの方きをて | | | | | |
| | できるのでアから、他の方きなも | | | | | |
| | 行うべきと考えます。 | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガフ | ナ) | | | | |
|-------------------|--------------|--|--|--|--|--|
| ②住所 | | | | | | |
| | 番号又は レアドレ | | | | | |
| ④職業 | | 每月钱 ⑤年齡 70 ⑥性别 另 | | | | |
| 意見該計 | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 | | | | |
| 頁 | 行 | (ご意見が200字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200字以内)も記載してください。) | | | | |
| 3-10 平取94对段予定地下17 | | | | | | |
| | | アクマの事はサイミシリかるる | | | | |
| | | ということなって、から気させるへき | | | | |
| - | | てはないと考えます。 | | | | |
| | | ろの好じ、この童みはなのより | | | | |
| | | 大きいと芳えまち。 | | | | |
| | - | 三世七、手/11/12 St の方主在色 | | | | |
| | | あるからです。 | | | | |
| | | | | | | |
| | į | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(フリガナ) | | | | | | | | |
|----------------|---------|--|---|-----------------------|---|---|--|--|
| ②住所 | | | | | | | | |
| ③電話番号又は メールアドレ | | | | | | | | |
| ④職業 | | 学装员 | ⑤年齢 | 64 | ⑥性別 | X | | |
| 意見該当箇所 | ⑦ご: | 意見は項目ごとに 200 | 文字以内で記載 | 載してくださ | ٧١° | | | |
| 頁行 | (ご意 | 意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) | | | | | | |
| 1-4 | . o | 川碧椿計画。 | 想定の村 | しき正もす | マす でかり | ٠ ٤ | | |
| | | است المنظمة ال | - | | | * * | | |
| | 1 | ローラリックコメント・ | で、3月1 | 0岁,理タ | こ籍直し | えがいて | | |
| | 1 | つ 生をされてしょう 行 | 13 × XX | ・していみり | 0 44 | 1 | | |
| | 1 1 | - 2 1/ 14 "La / 1 7" | - // AV 11 5 | S 15 10 11 10 | | • | | |
| - | Į. | くっか リケッ すねし | しつけりのと | () () () | じと ひょ ガンターター | U / | | |
| | لإسب. | サイン 人なりずいら | 上舟 巻氷 ろご | 5 2 1 A | グレスリー | ~ · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | |
| | 1 | 再校言でか父 | チンクの | とりひか | 17. 本 | からはまま | | |
| | 2 | とれがたいり、サ | -MILW, | , b (.) | · • • • • • • • • • • • • • • • • • • • | , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | | |
| 3 - 4 | =/N/1 5 | となりで、平野ダイ | 41513 6 | ってからす | · > > +1 +1 | 又のみの当から | | |
| | 1 | となりと 平取ダム | 10 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 | こりょ いつつ おも | れるにかり | 2-30 | | |
| - | 1 | | E 1 102 U 73 | · / / | , | | | |
| 3 – 3 | FE | ・華美ノスストックストックストックストックストックスマックスマンススト | 1 11 5 () 4 book in = b | 5 12 a 12 | 平的少日 | 3,14-1 | | |
| | =[| いなかりでする。サロヤトアクロモ | 4/// - v | X (' ' ' ' ' ' ' ' ' | (47, 7 | , =, , , , | | |
| | ı | | | ~ ~ | | | | |
| | -B 0 | りを説にかりす | 76/20 |) | 5-13 VII. | o Tour | | |
| 3-10 | 流 | 会的智力をかって | 了仅符3. | えにと,て | フィミンリロ | くをおかれり | | |
| | \$8 | たのもつかなるので | 1、 ないと | ン校門 | スパ マネク | | | |
| | PI | タタルへの配 | 髪かない | 92 1 | レンスしへる | <i>5</i> | | |
| 4-76 | 11-7 | "ソフリコメントート | 母证、作: | 校内二 | とませずして | 7- | | |
| | 校 | 大のもっかってるのでイスタイトへの配りフリュメントにした | 事 | 根ミでか | YY李了 | 7. | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ナ) | , | | | | | |
|--------------|------------------|------------------------------|---|--|---|--|--|---|
| ②住所 | - | - 1 | | | | | and the same of th | |
| ③電話 都 | 6号又に レアドレ | | | | | | | |
| ④職業 | , , , , | | | | ⑤年齢 | | ⑥性別 | |
| 意見該≝ | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項目ごと | に 200 文字 | 以内で記す | 載してください。 | | |
| 頁 | 行 | (ごえ | 意見が 200 字を超 | える場合は、化 | 併せてそのβ | 容の要旨 (200 字以 | 内) も記載し | てください。) |
| はじめに | | 水案沙を 1 る続視とき 意にが流述 『旭回をしにを室に | ついては、2000 、アでは、2000 、アででは、文化の 、アでででは、文化の 、一点ででででできる。 、一点でででできる。 、一点ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、 | 子存た 対、え回、、こ、室供続め しつ 一次 | 実覚要 たすくそはよらう 生態面で だる夕にと パに民部的考る きも一答くづな意の | 発し、平利し、平利を はなった。利水では、 見でない。 見でない。 見でない。 りかいない。 りかいない。 は対しのののののののののののののののののののののののののののののののののののの | 建る費 市同多見も 行び効 が日あ結っ かり かり がり がり がり がり がり でが がり です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 | 是案をず、 な果 ないでででででででででででででででででででででででででででででででででででで |
| 検討 | | 2. | 検討経緯 1.2 | 1 関係地力 | 方公共団体 | からなる検討の |)場 | |
| 経緯 | | | | | | _ | | の3名で、いずれ |
| 1. 2. 1 | | | | | | | | ける検証とは、開 |
| 関係 | | | | | | | | どうかを検討する |
| 地方 | | | | | | | | いう立場をとって |
| 公共 | | いる | ので、様々な事 | 実と照合し | ノて妥当か | どうかという検 | 証はまった | たくなされなかっ |

団体 から なる 検討 の場

流域 の概 . 1.3 地

要

質

た。例えば、以下に述べる治水などのあり方についての私たちの意見は検討の場で はまったく出されなかった。よりより治水・利水などの提案は、このような批判的 意見を検討する中で生じるはずである。したがって、本来の意味での検証を行うに は、ダムに批判的な意見を持つものが参加しなければならないのに、そのように行 われなかった。したがって、平取ダムを検証するために、委員(構成員)に立場を 毘なるものを入れて、再検証する必要がある。このような検討の場を決めた国交省 に責任があり、国交省の見解を問う。

3. 流域の概要 2.1.3 地質

額平川流域について、「火山性岩石(輝緑岩質岩石)、半固結~固結堆積物(粘板 岩、砂岩・泥岩互層、泥岩等)、未固結堆積物(礫・砂・粘土)等より形成されて いる。」と述べている」。この地質の部分の記述内容は、最近 20 年ほどの研究・調査 の成果あるいは考え方の変化が考慮されていないので、以下のように改める。

- 1)とくに本地域(平取ダム予定地を含む中上流域)では、現在も崩れやすい岩石、元々 は圧砕された付加体岩石(メランジを含む)が広く分布している。下流域における堆砂 を考える場合、このことを考慮しなければならない。
- 2) 科学技術振興機構の「地すべり地形分布データベース (http://lsweb1.ess.bosai.go.jp/index.html) によると、沙流川・額平川の上流域は道内 でも地すべり地形の多い地域である。それはこの地域には上述の付加体(メランジ)岩 石やそれに伴う蛇紋岩が多いことの結果である。このことは二風谷ダムの異常な堆砂状 況にも示されている。
- 3) 国土交通省が8月11日に発表した「深層崩壊に関する全国マップについて」 (http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03 hh 000552.html) において、平 取ダム予定地周辺は道内ではもっとも深層崩壊の痕跡の多い地域となっている (http://www.mlit.go.jp/common/000223656.pdf)。4 段階評価で評価 3 の地点は平取ダ ム周辺の2カ所のみである。

11) 平成 15 年8 月10 日洪水 (2-24)

台風被害は、河川整備計画において最も重要であるので、十分な記述が必要であるが、 実際の記述はきわめて不十分である。土木学会報告の第4章の、4.2.3 台風15号による 被害概要では以下のように記述されている。「二風谷ダム上流に位置する額平川、貫気 別川、近傍の流域である厚別川では、破堤・溢水により甚大な被害が生じているが、二 風谷ダム下流部では、ダムによる洪水調節、堤防の整備等により、幸運にも壊滅的な被 害を回避することができた。」

土木学会報告書では、二風谷ダム上流の氾濫地域として「貫気別川コタン橋付近」 の写真を掲載している。この報告を読む限り、二風谷ダム上流、とくに額平川と貫 気別川の治水が重要な問題である。したがって、台風15号の時の額平川および貫気 別川の水害についてより詳しく記述する必要がある。

11) 平成 15 年 8 月1 B 洪水 (2 -24)

2.2.4 過去 の主

な渇 水

3.3
 河境境備と

する現 状と課 題 1)

水質

自 然環 境

(2 **–** 39)

河川整備計画の目標

流量(図

2-4-2, 2 -44)

2.5.1 水道用

水計画

の概要

2.5.2 流 水

流水の正

5. 2.2.4 過去の主な渇水

2007年7月の門別町の渇水で節水の呼びかけの記事が載っている。この時は二風谷ダムが存在する。したがって、二風谷ダムは渇水対策に役立っていない。門別町の水源は伏流水であり、伏流水の水位が下がったためにポンプでくみ上げが困難になったため、節水が呼びかけられたと考えられる。取水する深度を大きくすれば渇水でも節水しなくてすむ。門別町の渇水問題とダムは関係ないのではないか。このことについて、明解な説明が必要である。

6. 2.3.3 河川環境の整備と保全に関する現状と課題 1) 水質

BODだけが図として示されている。BODの変化は小さいが、2003年の台風156号以降、二風谷ダムのCOD、pHおよびリンが大幅に増加しているので、二風谷ダム下流においてもそれらが影響している。このことについても記述すべきである。

7. 自然環境(2-39)

重要魚種として、サケ、サクラマスおよびシシャモが述べられているが、沙流川におけるこれらの魚類の実態(二風谷ダム建設以前から現在までの状況)が述べられていない。これでは流域の概況にならない。資料はあるはずなので、簡潔でよいが記述すべきである。

また、「二風谷ダムの建設では、魚道の設置によって魚類の移動経路を確保する」 という記述があるが、この記述では魚類が魚道をよく利用しているともとれる。具 体的に、どのような魚類がどのていど利用していて、魚類の移動経路がどの程度確 保されているのか、簡潔に記述する必要がある。

8. 河川整備計画の目標流量(図2-4-2、2-44)

標記の図はわかりにくい。沙流川本流と額平川の合流附近に6,100m3/秒として、二風谷ダムに洪水調節1,600m3/秒を入れて、平取地点の6,100m3/秒を削除するとわかりやすくなる。

9. 2.5.1 水道用水計画の概要

日高町と平取町の現在の水道の問題点は、水利権の問題なのかどうかはっきりしない。両町の水道はともに、具体的に二風谷ダムや建設予定の平取ダムの水を取水するわけではなく、伏流水や湧水や表流水を利用しているので、二風谷ダムや平取ダムがあってもなくても実質的に変わりがない。また、必要水利権についても、渇水流量の1%未満しか使用しないので、河川環境に影響を与える問題でもない。この点を明らかにすべきである。

10. 2.5.2 流水の正常な機能の維持の目標の概要

「流水の正常な機能の維持に必要な流量については、流況、動植物の保護、漁業(シ

常機の持目の要

検ム要洪節取が概(1)調平ム

の洪水

調節量

につい

て

検ダの要(洪調平ダの水節効証ム概 1) 水節取ム洪調の果

シャモ)、景観、水質等必要な流量を勘案し、平取地点において、概ね11m³/s を確保する。」と記載されている。漁業ではシシャモだけのことを考えているのか、また、11m³/sの具体的な根拠が示されていないので、なぜ目標が11m³/sなのか理解できない。根拠を明示すべきである。

正常流量として11m3/秒必要とする主な根拠は、別の資料を見ると、それ以下の流量ではサケ、サクラマスおよびシシャモの産卵などに悪影響を与えるということになっている。しかし、渇水年にこれらの魚類資源が減少したという科学的根拠は示されていない。進化の中でこれらの魚類は渇水に対応する能力をもってきたはずである。そうでなければ現在まで生き延びていない。開発局が、どうしても11m3/秒の正常流量が必要と述べるのであれば、沙流川の流量とこれらの魚類資源の關係を明らかにすべきである。明らかにできなければ、正常流量確保をダム建設の口実にしていると言われても仕方がない。きちんとした説明を求める。

11. 検証ダムの概要 (1) 洪水調節 平取ダムの洪水調節量について

「平取ダムの建設される地点における計画高水流量2,050m3/sのうち、1,750 m3/sの洪水調節を行う。」と記述されている。計画高水流量は、基本高水流量から洪水調節流量をさしひいたものであるが、平取ダム上流には洪水調節施設はないので、2,050m³/秒の流量は、平取ダムに流入する予想最大流量を意味しているのか。

平取ダムの集水域面積は234 k m²であり、額平川集水域面積は384 k m²であるので、平取ダム流入量が2,050m³/秒であれば、比例按分で額平川から沙流川本流への流入量は3,364m³/秒となる。河川整備計画では、二風谷ダムへの目標流量は6,100 m³/秒なので、目標流量の沙流川本流分は、6,100-3,364=2,736m³/秒となる。しかし、2003年8月台風時の沙流川本流流量(幌毛志流量)は約4,000m³/秒であり、実態と合わない。説明を求める。

| 12. 検証ダムの概要 (1) 洪水調節 平取ダムの洪水調節の効果

2003年8月洪水の実態から考えてみる。土木学会報告では、幌毛志最大実測流量は、4、022m³/秒、質気別の最大流量は2、423m³/秒、二風谷ダム流入量のピーク流量は6、353m³/秒と報告されている。土木学会報告では、幌毛志と質気別の流量の和がほぼ二風谷ダム流入量と一致すると述べている。この場合、両者の和は6、445m³/秒であり、実測は6、353m³/秒なので、二風谷ダム流入量は約100m³/秒ほど小さいが、ほぼ一致と考えられる。一方、開発局報告書資料では、幌毛志最大流量は3、934m³/秒、質気別のそれは2、437m³/秒で、両者の和は6、371m³/秒で、二風谷ダム最大流入量は5、958m³/秒であり、約400m³/秒少なくなっていて、どちらが正しいのかはっきりしない。ここでは、開発局資料に基づいて考える。貫気別の最大流量は2、437m³/秒であり、これは額平川の最大流量と考えてもよい。額平川の集水域面積は384km²、二風谷ダムの集水域面積は1、215km²なので、比例するとして計算すると、2、437x(1、215/384)=7、710m³/秒となる。実際の二風谷ダムへの流入量は5、958

m³/秒で、計算値7,710m³/秒より小さいのは、額平川流域より二風谷ダム本流流域の降雨量少なかったからである。しかし、自然現象は予測不可能であり、沙流川本流流域により多くの降雨がある可能性もある。そのときは、平取ダムの治水効果はあまり発揮されない。したがって、表2.4-3のように、目標流量の6,100m³/秒であっても、1,600m³/秒の降水調節ができない場合も生じる。

表 2.4-3 河川整備計画の目標流量

| ı | | | | | |
|---|-----|------|--------------|-------------------|--------------|
| | 河川名 | 基準地点 | 整備計画 目標流量 | 洪水調節施設に よる調節流量 | 河道への 配分流量 |
| | 沙流川 | 平取 | 6,100 m³/s | 1,600 m³/s | 4,500 m³/s |

このように、自然現象は予測ができないので、できるだけ被害が少なくなるよう に治水計画を立てるべきである。

私たちの提案は以下のようである。

- 1) 平取ダムは堆砂で二風谷ダムの二の舞になる可能性が高く、環境も悪化させ、何よりもアイヌの聖地であるので、平取ダム建設をやめて、河道掘削などの河道改修を基本とする。
- 2) それだけでは不十分なので、二風谷ダムの堆砂量を減少させる方策を考える。開発局は、オリフィスゲートを洪水期に全開すれば土砂流出量が増えて、二風谷ダムの堆砂は現在より増加しないと述べているが、オリフィスゲートはかなり前から洪水時には開けているので、実質的には堆砂量は減少せず、増加していく。したがって、二風谷ダムの堆砂を減らす工学的手法を検討する。
- 3) 二風谷ダム下流については、現在も河道掘削によって流下能力を高める対応をしているので、これと堤防強化の対応を進める。2003年台風時に、二風谷ダム下流は約5,000m³/秒程度まで堤防決壊がおきなかった。そのため、今後の堤防強化を前提として、二風谷ダムは4,500~5,000m³/秒程度までは開放して下流に流し、それを越える状況から洪水調節を行なって、現在の二風谷ダムの機能を生かして、下流の水害を防ぐ対応をする。
- 4) 将来は、河道改修を基本に沙流川の治水対策を進めて、二風谷ダムを撤去することによって、昔の清流沙流川を取り戻す。

関連して 4.2.5.2 関係者等の意見 ほくでんエコエナジー株式会社 意見は以下の二つである。

1) オリフィスゲート放流期間中は、ダム水位の低水位運用となるため二風谷発電所の取

水が不可能となるものであり、容認できるものではありません。

2) 二風谷ダムの再開発(掘削)は、掘削工事期間中の二風谷発電所の運転制約により減電が生じ、これら対策案は当社の水力発電事業に大きな支障をきたすものであり、容認できるものではありません。

4.1 証 対 象 ダ 厶 事 業 等 の 点検 4. 1 2 堆 砂 計 画

4. 2 洪水 調節 の観 点か らの 検討 額平 川と 費気 別川 の最 大洪 水時 の水 害把 握

しかし、二風谷ダムの発電は、他の水利使用に完全に従属するものであるので、ほく でんが上記のような見解をもったとしても、開発局はほくでんの水利用を優先させる必 要はないはずである。開発局の見解を求める。

13 4.1 検証対象ダム事業等の点検 4.1.2 堆砂計画

図 4.1-1 堆砂容量の考え方(イメージ図)を見ると、ダム上流部にはほとんど堆砂がないことになっている。しかし、二風谷ダムでは、グーグル地図で見ると二風谷ダムの上流部からダム堤体へ向けて半分以上で堆砂が水面に達して、一部は草原になっており、その間を川が流れているようになっている。二風谷ダムだけでなく、多くのダムでは上流部に堆積して、それ以外に中流部にも下流部(下流部は粒径が小さいもの)にも堆積している。平取ダムでも同様と考えられる。平取ダムには額平川と宿主別川の二本の河川が流入しているため、ダム上流部も二つ存在する。上流部が一つに比べて二つの場合はそれぞれの上流部の流量は小さくなり、土砂を押し出す力も弱く、それぞれの上流部に堆砂が進行する可能性がより大きい。開発局が融雪期にほとんどの土砂が流出すると言うならば、上流部が二つ存在する同様なダムの例を示して、それらが雪解け水でダム下流に流される根拠を示していただきたい。なお、図4.1.1の堤体下部に作られている排砂口の口径(縦横のそれぞれの長さ)を示していただきたい。

| 14 | 4.2 洪水調節の観点からの検討 | 額平川と貫気別川の最大洪水時の水害把 | 握

開発局は、「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に沿って平取ダム計画を他の方法と比較することから始めている。4-12から4-43まで、細目に従ってあれこれの対策を示しているが、このようなことで実際に役立つ治水案ができるとは思えない。これは、室蘭開発建設部の責任というより、国交省の責任であるが、これでは平取ダムの検証はできない。平取ダムの検証は、検証という言葉通り、「平取ダム案が、様々な事実と照合して妥当かどうかを検討」することである。具体的に言えば、最大の洪水であった2003年台風15号のとき、どのような水害があったのか、またどのような危険性が明らかになったのか、の事実とその原因から出発すべきである。

したがって、沙流川水系の治水は、2003年台風15号時の実績から始めなければならない。このとき、土木学会が、「二風谷ダム上流に位置する額平川、貫気別川、近傍の流域である厚別川では、破堤・溢水により甚大な被害が生じているが、二風谷ダム下流部では、ダムによる洪水調節、堤防の整備等により、幸運にも壊滅的な被害を回避することができた。」、と述べているように、まず検討しなければならないのは、二風谷ダムの上流、とくに額平川と貫気別川の水害である。残念ながら、この章でも、流域の概要でも肝心な額平川と貫気別川の水害に触れていない。

昨年開発局が行なったパブコメにこのことに該当する意見があったので、簡単に紹介する。「額平川左岸の貫気別市街地の洪水による人家等の流出、損壊の主な原因は額平川支流貫気別川の氾濫である」。土木学会報告でも、貫気別川コタン橋付近の

氾濫の写真が掲載されている。このあたりのことに詳しい方に聞くと、額平川左岸でわずかに溢水があったが、主な氾濫原因は貫気別川右岸の溢水であった。したがって、開発局は当時、額平川の堤防決壊があったのかどうかについて実態を正確に示すとともに、買気別川からの溢水の原因を明かにして、氾濫がないような対策を示すことが求められている。

15 平取ダム案と河道掘削案

1) 河道掘削量について・・・平取ダム案(4-44、4-45、または4-95、4-96)と河道掘削案(4-46-、4-47、または4-97、4-98))を比較する。全体としては、ダム案(4-95)の河道掘削量は130万m3、河道掘削案(4-97)では420万m3であり、稼働掘削案は、ダム案より掘削量が約290万m3多いことになる。なお、表4.2-16では、河道掘削案では掘削量が670万m3として、420万m3より250万m3も大幅に増加している。なぜそれほどの食い違いが招じたかについて説明責任がある。河道掘削案の掘削量が多くなるのは、額平川の掘削量に加えて、図4-96と4-98を見ると、二風谷ダム下流でもダム案の掘削量が小さくなっているためと考えられる。しかし、2003年の台風時の実態を見ると疑問を感じる。このとき、計画高水位より高い水位でも堤防は決壊しなかった。この時は平取ダムが存在しなかった。したがって、稼働掘削案で二風谷ダム下流にそれほど多く掘削する必要があるのか疑問である。ダム案と河道掘削案について、それぞれ二風谷ダム下流と二風谷ダム上流に分けて河道掘削量を示した上で、両案を比較してもらいたい。

2) コストについて・・・ダム案のコストは340億円(うち平取ダム残事業費は271億円)、河道掘削案では430億円と述べている。一方、表4 2-9では、ダム案コストは約400億円、河道掘削案は約600億円と述べている。整合性がないので、わかりやすく述べてほしい。別に取り寄せた資料では、ダム案の400億円の内訳は、洪水調節残事業費300億円、河道掘削220万m3で40億円などを含み100億円、一方河道の掘削の場合は、河道掘削量550万m3で200億円を含み400億円、これに事業費200億円を加えて600億円と示されている。ダム案の河道掘削費用の単価は1,818円/m3、河道掘削案の単価は3,636円/m3となる。なぜ、河道掘削案の単価がダム案の単価の2倍なのか、説明を願いたい。

- 3) アイヌ文化について・・・ダム案はアイヌ文化に多大な影響を与えると危惧されている。表4.2-19では、ダム案について、「「平取ダム建設予定地周辺について、信仰の場や植物等の資源確保の場などアイヌの文化的所産に配慮し、調査を行なっている」と記載されている。これでは、平取ダム建設がアイヌ文化にどのような影響を与えるのか、それに対してどのような調査を行なって、どのような対策を行なうのかわからない。額平川はアイヌの重要な聖地であり、巨大なダムを建設することによってアイヌ文化は大きく損なわれるのは明らかである。このような不明確な文章では納得がいかなないので、きちんとした説明を求める。
- 4) 水環境への影響・・・表4.2-20 水環境への影響について、開発局は、融雪洪

4. 新利の点ら検

水時に堆積土砂など汚濁物質が大量に流出することを想定しているので、ほぼ1年間 堆積して腐食した汚濁物質がダム下流の水質悪化させるのは明らかである。表 4.2-20では、富栄養化が発生する可能性は低いと述べているが、理解しがたい。な ぜ、約1年間堆積した土砂の放流によって下流に影響を与えないのか、簡潔にわかり やすい説明を求める。

- 5) 生物多様性への影響 表4.2-21・・・「河川生態系の移動性について、魚類の遡上、降下への影響が想定されることから、環境保全措置を講ずる必要がある」と述べているが、実際に環境保全措置が示されていないので、説明を求める。
- 6) 土砂流動 表4.2-22・・・「河道の掘削を実施した区間において、再び土砂が堆積する場合は、掘削が必要となる可能性がある(河道掘削量約130万m3。」ダム案図(例えば図4.2-51)では、ダム上流では河道掘削を行わないので、この部分は二風谷ダム下流のことを述べているので、二風谷ダム上流と勘違いする可能性がある。わかりやすく記述すべきである。額平川の平取ダム下流では、融雪期に多量の土砂を一気に流出させることを想定しているので、平取ダム下流の河道に土砂が堆積し、河床が高くなる可能性が考えられるが、このことについて触れていないので、説明を求める。

16 4.3 新規利水の観点からの検討

- 1) 日高町・・・図 4.3-3 日高町の水需給状況 (実績及び計画) を見ると明らかであるが、2010年現在、実際の水道水利用は保有水源でまかなっている。日高町の人口は約175人/年の速度で減少している。予測では2014年の給水人口を11,660人と推定しているが、2030年には人口そのものが1万人を切る可能性がある。現状で大丈夫なので、今後人口が減少することを考慮すると、ダムに依存した水道水を考慮することはない。2.5.1 水道用水計画の概要で触れたが、日高町の実際の水源は、二風谷ダムではなく、また平取ダムが完成したとしても平取ダムでもなく、沙流川の伏流水であり、平取ダムができなければ水源を確保できないというものではない。したがって、現状で十分であり、現状の伏流水に懸念があれば、伏流水をより深いところから取水すればよいだけのことである。
- 2) 平取町・・・平取町の有収率が全国平均と比べて55~73%と極めて低いのは問題であるが、(図 4.3-6 平取町の水需給状況(実績及び計画)を見る限り、保有水源は不足している。しかし、日高町の水道水について指摘したと同様、平取町も現在の水道水源として、地下水、表流水および湧水を用いていて、二風谷ダムや平取ダムから取水はしない。平取ダムは、保有水源を確保する目的だけである。したがって、ダムができても水道水については現状と変わらない。より多くの水道水を確保するためには地下水の取水がもっとも手早いと考えられる。

保有水源が必要という理由は、河川水から取水する場合、渇水時に河川環境に悪影響を与えるということである。本当に取水して悪影響がでるのであろうか。近年で最大の渇水があった1994年の平取地点での渇水流量は、8月に約7m³/秒であっ

4.流の常機の持観かの討4 水正な能維の点ら検

た。一方、日高町は0.016m³/秒、平取町は0.014m³/秒で合せて0.03m³/秒である。これは最大渇水流量7m³/秒のわずか0.4%に過ぎない。したがって、もし沙流川から取水するとしても、河川環境に影響を与えるはずがない。実際には沙流川から取水しているわけではないので、いっそう影響はない。開発局は、ダム建設に賛成しなければ水道水として取水してはいけない、などと言うべきでない。表 4.3-9によれば、必要コストは、ダム案で0.7億円、地下水案で4億円と示されている。地下水には水利権が発生しないので、ダムは必要でない。ダムから水利権を得たならば、ずっと将来的にダム水利権のために費用を分担しなければならないことを考慮すれば、コストを考慮しても地下水案が有利である、

17. 4.4 流水の正常な機能の維持の観点からの検討

正常流量11m3/秒の根拠が、報告書に記載がないが、河川基本方針に述べられて いる。サケ・サクラマス・ウグイの産卵とサケ・サクラマスの遡上のために必要流 量は10.9m³/秒、シシャモの産卵に必要な流量は10.6m³/秒などと記載されていて、 正常流量[1m³/秒の主要な根拠は、サケ・サクラマスおよびシシャモの産卵および 遡上に必要だと言うことになる。しかし、正常流量の必要性を具体的に示したもの は、報告書はもとより河川整備計画にも記載がない。2. 流域及び河川の概要の図 2.1-7 沙流川の流況(52 ヵ年 平取観測所)を見ると、正常流量を満たさないのは、 渇水流量である。渇水流量は、1 年を通じて 355 日はこれを下回らない流量という ことなので、下回る日数は約10日で、これに低水流量の場合、52年間で正常流量程 度しかない年が4年間あったので、はっきりはしないが、正常流量以下の日数はせい ぜい20日程度と想定される。正常流量の必要性を述べるのであれば、それぞれの年 の正常流量以下の日数を明記すべきである。このような少ない日数で、サケ・サク ラマス・シシャモの産卵・移動が困難になって、資源量に悪影響を及ぼしたとは考 えられない。開発局が正常流量のためにダム建設が必要とするならば、サケ・サク ラマスおよびシシャモと正常流量以下の日数との間の關係を示して、説明すべきで ある。その説明ができないのであれば、それを根拠にダム建設を進めることはやめ るべきである。明らかにできなければ、正常流量確保をダム建設の口実にしている と言われても仕方がない。ダムは税金を使って行う事業なので、説明をできないこ とに予算の行使は認められない。きちんとした説明を求める。

18. 4.5.1 目的別の総合評価 (治水(洪水調節)) の問題点

コスト・・・「維持管理に要する費用が最も小さい案は「河道掘削案」、「堤防かさ上げ・河道掘削案」、「宅地かさ上げ案」、「雨水貯留等案」であるが、河道掘削を実施した区間において再び堆積する場合は掘削にかかる費用が必要となる可能性がある」の記載があるが、現実を見ない論である。ダム案では、融雪期に土砂を多量に下流にだすので、額平川下流は毎年春に河道に堆積が生じて、掘削が必要になる。したがって、コスト面でダム案が有利ということにはならない。

実現性・・・掘削残土の搬出先の了解が必要なためダム案が有利と記載しているが、

4.5.1 別総評(価治

水(洪

水 調 節)) の 問 題点 ダム案でも掘削は行うので、正確な表現ではない。ダム案を有利にするための記述 である。

地域社会への影響・・・全ての案において、河道改修を実施するに当たり、信仰の 場や植物等の資源確保の場などアイヌの文化的所産に配慮する必要がある。「現計 画案」は、平取ダム建設予定地周辺について、アイヌ文化的所産に与える影響につ いて調査を行っている。」の記載があるが、ダム案の問題点が明らかにされていな い。ダム案は、河道掘削案に比してアイヌ文化に関連する地形、動植物などに多大 な影響を与える。そのことに触れず、「平取ダム建設予定地周辺について、アイヌ 文化的所産に与える影響について調査を行っている。」と述べているが、調査を行 なっていることが、地域社会への影響とどのように関係しているのか不明である。 正確に書けば、「平取ダム建設は、チノミシリや、動植物その他のアイヌ文化に重 要な所産を失わせるので、ダム事業前にその記録を後世に残すようにする。河道掘 削案は、河道周辺に若干の影響を与えるが、悪影響は小さい」となるのではないか。 環境への影響・・・「現計画案」は平取ダム完成後のダム下流への影響について、 水質予測によると、洪水の直後や融雪期に土砂による水の濁りが予測されるため、 融雪期用放流設備を用い下流へ土砂を流す等の環境保全措置を講ずる必要がある。」 と記載されているが、融雪期用放流設備を設けても、平取ダム下流の水質と底質が 悪化することは間違いないので、そのことを明記すべきである。

生物の多様性の確保等への影響・・・「全ての案に共通して実施される河道の掘削における地内掘削等は、動植物の生息・生育環境に影響を与える可能性があるため、必要に応じて水際の樹木の保全等の環境保全措置を講ずる必要があると考えられる。「現計画案」は、平取ダム建設により、動植物の重要な種について、生息・生育環境への影響を受けると予想される種があるため、生息環境の整備や移植等の環境保全措置を講ずる必要がある。」と記載されているが、まったく不正確である。この文章を読むと、河道掘削などの影響が、ダム案より大きいのではないかと錯覚する人も出る可能性がある。河道掘削案は河道周辺に若干の影響を与えるが、それだけである。ダム案は、少なくとも湛水面積の3.1km²は水中に沈み、多くのアイヌ民族の所産が失われることを明記すべきである。また、チノミシリに対して河道掘削はほとんど影響を与えないが、ダム案ではダム湖という人口建築物の出現によって祈りの場が失われる。

土砂流動の影響・・・全ての案に共通して実施される河道の掘削については、河道掘削を実施した区間において再び堆積する場合は、掘削が必要となる可能性がある。また、「現計画案」は、平取ダム直下の区間において河床高がやや低下するが、下流区間への流出土砂量に大きな変化はないと予測される。」と記載されているが、後半は事実でなく、修正を要求する。ダム案では流出土砂量に大きな変化はないと予測としているが、平取ダムには融雪洪水期に排出口から一気に土砂を排出する計画であり、ダム下流の流出土砂量に大きな変化はないという予測は明らかに間違いである。

目別総評(案)

19. 目的別の総合評価(案)

「「コスト」について最も有利な案は「現計画案」である。「地域社会への影響」、「環境への影響」の評価軸については、この評価(コスト案が有利)を覆すほどの要素はないと考えられるため、洪水調節において最も有利な案は「現計画案」である。」と記載している。元々コスト案は、残事業費だけをカウントしていて、ダム案が有利になるようになっている。しかし、地域社会への影響、環境への影響、生物多様性の確保への影響、土砂流動の影響について上述したように、開発局はダム案の影響を小さく、河道掘削案の影響を過大に述べていて、公正ではない

そこで、私たちの考えと提案を述べる。表4.2-9に示されているように、ダム案は約400億円、河道掘削案は約600億円とされていて、ダム案のコストは小さい。元々コスト案は、残事業費だけをカウントしていて、ダム案が有利になるようになっている。そのことの前提に立っても、ダム案の否定的な面を考慮すると、ダム案が有利とはいえない。二風谷ダムを見れば明らかであるが、堆砂対策におそらくある程度の費用が必要となっている。平取ダムでは、開発局は堆砂が進まないと述べているが、今まで開発局は、二度計画変更をしている。一度目は、堆砂容量を550万m³から1430万m³へ(理由は想定外の堆砂の進行)、二度目は1430万m³の堆砂容量でしばらくは大丈夫(ダムに新たに窪地が見つかったという理由)ということであり、現在は、堆砂はほとんどこれ以上進まないので大丈夫と述べているが、過去の実績から信用はできない。平取ダムが堆砂で埋まるか、開発局の言うように堆砂が進まないかは、現在はわからないが、少なくとも開発局の述べるようになるかどうかは不明である。もしも、開発局の予測が誤れば膨大な予算のムダ遣いとなる。このようなあやふやな予測でダム建設を進めるべきでない。

2003年の台風10号水害では、開発局が述べていた通りであれば、二風谷ダム下流は計画高水位を越えた流量だったので、大災害になるはずであったが、そうはならなかった。この現実から出発すべきである。すなわち、平取ダムがなくても、二風谷ダム下流の堤防は大丈夫だったのである。そうであれば、当時水害のあった額平川と貫気別川の治水対策をまず重視すべきである。そのための方策としては、平取ダム案と河道掘削案があるが、ダムの効果は、予想した通りの雨が降る限り有効であるが、そうでなければ有効でない、確率の低い治水策であるので、ダム案を進めるべきでない。私たちは、環境とアイヌ文化に大きな影響を与えない河道掘削案を提案したい。

こうすると二風谷ダム上流の一定の水害対策ができる。残るは二風谷ダム下流の 治水問題である。現在の二風谷ダムの貯水容量では、2003年と同程度の流量が発生 すると、二風谷ダム下流の治水はあやうい。2003年の台風が来る前の二風谷ダムの 有効貯水容量は2,495万m³であり、2010年の有効貯水容量は1,621万m³なので、貯水 容量は大きく減少している。だから、平取ダムが必要と開発局は言うが、平取ダム が開発局の言うように効果を発揮しても、二風谷ダムの洪水調節機能が減少してい けば、近い将来やはり問題となる。

私たちは、沙流川の将来を考えて、1)当面、二風谷ダムの堆砂を減少させながら、二風谷ダム下流については河道掘削や堤防強化によって大水害にならないように治水対策を進める。その延長線上で、10年~20年後には二風谷ダムを撤去して、清流沙流川を復活させる。現在、熊本県球磨川の荒瀬ダムの撤去が始まった。その過程で、球磨川下流干潟の環境回復は目覚ましいものがあり、いかにダムが海洋環境を破壊するのか明らかになりつつある。清流沙流川が回復すれば、海はもとより、流域の平取町および日高町の生活は、森林回復も必要ですが、うるおいのあるものとなり、さらにアイヌ文化が花開く展望がある。私たちは、現在だけよくて将来を考えない政治を離れて、将来も豊かになる道を選ぶことが、とくに3・11以後求められている。

開発局も、そのような中長期的視点で、もてる技術を活用していただきたい。また、ダム撤去を含む新たな展開は、予算が必要となるが、きちんとした将来展望を 語る中で予算を獲得し、そのことによって平取町や日高町の地域開発に資すること を進めていただきたい。

20 4.6 検証対象ダムの総合的な評価 ダム案と河道掘削案の比較

下記「ii)検証対象ダムの総合的な評価」に記載しているように総合的評価は、ダム案がコストの面で優位でも、例えば環境面やアイヌ文化などに与える影響の有無などについて総合的に勘案して評価すると述べている。

すでに述べてきたが、河道掘削案は、ダム案に比べて200億円よけいに必要とされているが、総合的に勘案する必要がある。第一に、平取ダムの治水に果たす役割は、当たる場合もあり当たらない場合もある、絶対的なものではなく、さらに堆砂については、開発局の予測が正しいのかどうか、疑問が残る状態では、ダム案が大いなるムダ遣いに終わる可能性が残されている。第二に、ダム案は、その程度は十分予測されていないが平取ダム下流に影響を与えることは必至であり、ダム湖ができるならばアイヌ文化に多大な影響を与えることも必至である。一方河道掘削案は、その点では環境やアイヌ文化に与える影響は極めて小さい。コスト的にダム案が若干有利としても、環境とアイヌ文化の価値をコストで示せば、河道掘削案を選択すべきである。開発局がダム案がコスト的に有利という主張を続けるならば、ダム案による環境とアイヌ文化へ与える悪影響を保全するためのコストを示す必要がある。

ii)検証対象ダムの総合的な評価

i)の目的別の総合評価を行った後、各目的別の検討を踏まえて、検証の対象とする ダム事業に関する総合的な評価を行う。目的別の総合評価の結果が全ての目的で一 致しない場合は、各目的それぞれの評価結果やそれぞれの評価結果が他の目的に与 える影響の有無、程度等について、検証対象ダムや流域の実情等に応じて総合的に 勘案して評価する。検討主体は、総合的な評価を行った結果とともに、その結果に 至った理由等を明示する。 5. 用効の討

21 5. 費用対効果の検討

費用対効果は、実態を見ない、机上の空論であり、訂正すべきであり、実態から 検討すると、B/C は 1.0 以下となるであろう。

1) 治水の費用対効果

治水の費用対効果は、ダムの治水効果(便益という言葉を用いる)(B) をダム建設費 (C)で割った B/C が 1.0 を越えることを求められている。ダム建設費は、実際にかかる費用であり、信頼できる値が提出されている。一方、ダムの治水効果は、机上の空論である。その根拠を示す。

開発局の資料によれば、100年に一度の洪水時の被害想定額は2,115億円とされている。一方、2003年8月の洪水被害額は、国交省の資料で、2008年価値換算で約130億円である。2003年の洪水は100年かそれ以上の洪水であるのに、国交省の被害想定額は、現実の被害額の16倍も高額である。なぜそのようになるのかは正確にはわからないが、開発局の氾濫ブロックの設定に、「合計22 ブロックとし、破堤地点は各ブロックで最大被害が生じる箇所で設定した。」と記載されている。これは、沙流川と額平川の右岸と左岸に合わせて22ブロックを設定して、洪水の場合どのブロックも最大被害が生じる箇所で破堤するとして計算したことを意味している。2003年の洪水では、額平川と貫気別川合流点付近で破堤があったが、二風谷ダム下流では破堤はなかったのに、すべて破堤するとして、被害額が16倍になったと考えられる。治水効果は、ダムがあると、ダムが無いときに比べて減らすことができた被害額で示される。ダムなしの被害額が16倍も多ければ、当然被害軽減額も大きな値となるであろう。

私たちは、このような机上の空論で被害額を大きく水増しして、その結果治水効果額は大きいとしていることは認められない。私たちは、平取ダムの治水効果に疑問をもっているが、開発局の言うとおりだったして効果額を求めるならば、2003年の水害被害額130億円を生じさせないとして、効果額を130億円にすべきである。これであれば、市民は容易に理解し、かつ納得するであろう。

2) 流水の正常な機能の効果

開発局は、「代替法を用いて身替りダムの建設費を算出した」として、流水の正常な機能の維持の便益を 297 億円としている。流水の正常な機能の維持に必要な正常流量 (11m³/秒) の主な効果は、サケ、サクラマス、シシャモの産卵、遡上を援助しようというものだが、私たちがすでに批判したように、正常流量が維持されなければ、これらの魚類に悪影響を与えるという根拠が示されていない。流水の正常な機能の維持も、机上の空論(これだけ流量がなければサケなどが困るであろうという想定)である。したがって、流水の正常な機能の維持の効果(便益)額を示すことができない。そこで、考え出したのが、流水の正常な機能維持のために必要な貯水量と同じ貯水量のダムを建設する費用を、流水の正常な機能の維持の効果(便益)とするとした。これが代替法の中味である。私たちは、流水の正常な機能の維持の

効果を具体的に示すことができない以上、この効果額はゼロとすべきと考えている。 開発局がどうしても効果があると言い張るならば、具体的な効果額を示すべきで、 示すことができなければ、当然ゼロとなる。

3) 実態から出発した費用対効果 (B/C)

開発局によれば、建設費 (C) は建設費 642 億円などを含めて 679 億円である。便益 (B) は、洪水便益 562 億円、流水の正常な機能の維持 297 億円、その他を含めて 864 億円としているので、B/C は、864/679=1.27=1.3 としている。

私たちは、便益は 2003 年の洪水被害額 130 億円、流水の正常な機能の維持便益はゼロと考えているので、B/C=130/679=0.19=0.2 とするのが妥当を考える。

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ナ) | | | | | | | |
|------|--------------|---|-----------|----------|--------|-----------|--|--|--|
| ②住所 | | | | | | | | | |
| ③電話者 | 番号又は レアドレ | | | | | | | | |
| ④職業 | | 高族2年 | ⑤年齢 | 17 | ⑥性別 | 男 | | | |
| 意見該当 | 当箇 所 | ⑦ご意見は項目ごとに 20 | 0 文字以内で記載 | 載してください。 | | | | | |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) | | | | | | | |
| | | 基本計画では、刊 | 成28年完 | 「成の予定 | になって | いますが、 | | | |
| | | 理好到本族 | =着年しても | いない状 | 能で新 | 計見ても | | | |
| | | 不可能だと思い | ますが、身 | 足際いっ | 完成宁! | 足年0分. | | | |
| : | | 明確して頂き | たいてす。 | | | | | | |
| | | 用地質収がし | まぼ完了し | 、 八 | 路整備 | も進んでい | | | |
| | | る中、工事を中止 | するのはな | 何なものか | ナレかり | > 49.4 | | | |
| - | | せタムか少事をの | かくずんかり | 建設生存了 | こと(さん) | りどの作 | | | |
| | | をナリットかあるの | 作、時2位 | 民都明层 | を割付 | エレト () | | | |
| | | 事は表知していま | 古代中2 | 参加打 | かは国漢 | 重件通气 | | | |
| | | かりいるできまから | 売んても分 | かりやすいも | 升子(何 | ればなかり | | | |
| | ٠ | を作成し、多家 | (庭上駅有 | ग एर मरा | 大城市 | としょうかく | | | |
| | | 今回,族對報告 | 青(秦案) | ですと分り | 厚くて高 | をた気 が失 | | | |
| | | 七まず、まず対 | 如元 域域 | の質同と | 得計 | 17 - Tape | | | |
| · | | 思います。それが | 侵打しとな | り、ダム連 | 政計連 | 外州滑上 | | | |
| | | 進あここと望ん | ています。 | | · | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | | | 来平取タムの | 八天里に下る | (東 的)秋 口 古 | - (383R) N | -N) U | 总元券無 | <u> </u> |
|------|-----|--------------|---|--|--------------------|--|----------|--|------------|
| ②住所 | | ! | | | | Aggings and the state of the st | | | ···· |
| ③電話: | 番号又 | * | | | , | | | | |
| メー | ルアド | レス | | | | , | - | | • |
| ④職業 | | | 会社員 | | ⑤年齢 | 6. | ₹ | ⑥性別 | 男 |
| 意見該 | 当箇所 | のご ; | 意見は項目ご。 | とに 200 文: | 字以内で記: | 載してくだ | さい。 | ٠ | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 見が 200 字を越 | える場合は、 | 併せてその内 | 7客の要旨(20 | 0字以内 | も記載して | (ださい。) |
| | | 和下ま年兴之七七 | 我流还取住了成大和公子? "这个人不知,你是我们就是我们就是我们是我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我 | 小是なる 年間を 平のでは 一般なる 年間を 子をなる 子をなる 子をなる アールで | 窓水 心外上野の | 風谷港 成思香 | 公郊 ガラ中取の | 宇宙に 早かり 流り はなける はなける はなける はなける はなける はなける はなける はなける | 难吗 域的 数对高的 |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ታ) | | | | | | |
|---------------------|--------------|------|---|----------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------|--|
| ②住所 | - | | n e e e e e e e e e e e e e e e e e e e | 1340 | |) | | |
| ③電話 都 メール | B号又は レアドレ | -74 | | | | | | |
| ④職業 | | | 会社員 | | ⑤年齢 | 57 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項目ごと | に 200 文字 | 以内で記 | 載してくださ | , , , | |
| 頁 | 行 | (ご) | 意見が 200 字を超 | える場合は、 | 併せてその | 内容の要旨 (200 | 字以内) も記載し | 、てください。) |
| 3 | 3 3 | 治画し治 | 案と同等の機能 かし、すべての | 新規利水、 を有する案 項目を満足 流水の正常 | 流水のII があるこ する案は な機能のA | では機能の組 とは、理解で ・現計画案し 維持を満足する | i持のそれぞれ きました。 か無い事が明矾 | き。 の項目別では、現 確になっています。 可案以外に無い事を |
| | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ① 氏名(フリガナ) | | | | | | | |
|-------------|--------------|----------|--|----------------------------------|------------------------------|----------------|---------|
| ② 住所 | Ť | 1 | | | | | |
| ③電話社 メーノ | 番号又は レアドレ | | | | | | |
| ④職業 | | | 会社員 | ⑤年齢 | 35 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項目ごとに 2 | 200 文字以内で訂 | !載してください。 | | |
| 頁 | 行 | (ご) | 意見が 200 字を超える ⁵ | 場合は、併せてその | 内容の要旨 (200 字じ | 人内) も記載し | てください。) |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | · |
| | | | | | | | |
| | | ンフ ただ | に携わる人間として ラ整備は非常に重要 し、河川環境は動植 周辺環境への配慮も | 要であると考えて 植物だけでなく人 ら踏まえつつ早期 | います。 間生活にも多くの の事業の実施を望 | 恵みを与え ②みます。 | |
| | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(フリガナ) | | | | | | | | | |
|-----------|------|--------------------------|---|--|---|--|--|--|--|
| ②住所 | | | | | | | | | |
| ③電話 | 番号又は | ţ | | | | | | | |
| メー) | レアドレ | ⁄ス | | | . | · | · | | |
| ④職業 | | | 一般財団職員 | ⑤年齢 | 61歳 | ⑥性別 | 男 | | |
| 意見該当箇所 ⑦ご | | | 意見は項目ごとに | 200 文字以内で記 | 載してください |) ° | | | |
| 頁 | 行 | (ごぼ | ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨 (200 字以内) も記載してください。) | | | | | | |
| | | 4.2.1 の 4.2.2 費 | 設置でより安全にた 複数の治水対策 ここでは、様々なた やした時間と費用に 沙流川の築堤はほ | 案(平取ダムを含水時に二風谷ダムなると思われる。 案の立案(平取ダ治水方策を組み合な、非常に無駄でば全区間で完成し | のみで洪水調節 ムを含まない案 わせて、治水対 あり浪費と言わ ており、代替案 | を終えたこと (こ) について 策案を立案し ざるを得ない の引堤、堤防 | とになり、平取ダム とているが、これにい。 おかさ上げ、遊水地の無駄使いと言わざ | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ: | ナ) | | | | | | | |
|---------------------|--------------|---|-----------------|--------------|----------------|--------------|----------------|----------|---|
| ②住所 | | | | | | | | | |
| ③電話者 メー <i>)</i> | 番号又に レアドレ | | | | | | | | |
| ④職業 | | 無職 | | ⑤年齢 | 77 | | ⑥性別 | 男 | |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ごと | に 200 文字 | 以内で記 | 載してく | ださい。 | | | |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超》 | える場合は、何 | 并せてその | 内容の要旨 | (200 字以 | ,内)も記載し | してください。) | |
| 4-93 | 1 | 遊水地案は、守る 宅地嵩上げ、雨水 ります。 比較すべき案は、 河道を中心とした 的とは思えません。 | 貯留等案は、 現計画案と | 、町を作 河道改修 | り変える必 を中心とし | 必要があ した案と | り、町がた 思います。 | なくなる可能性 | |
| | | よって、治水対策 | としては、 | 現計画案 | が最適と | 思います | o . | | , |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| | 12.22 | | NO DE LE LE LA SUNCE LA | | | | |
|---------------------|------------------|--|---|--------------|-------------------|----------------|----------------------|
| ①氏名 | (フリガ: | J-) | | | | | |
| ②住所 | | | | | | | |
| ③電話者 メー <i>)</i> | 番号又は レアドレ | * | | | | | |
| ④職業 | | 会社員 | ⑤年歯 | 46 | | ⑥性別 | 男 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ごと | に 200 文字以内で | 記載し、 | てください。 | | |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超 <i>え</i> | こる場合は、併せてそ | の内容の |)要旨 (200 字以 | (内) も記載し | ノてください。) |
| 4-238 | 「 柔 軟性」 の項 | 本検討報告書では河, ています。将来的には 考えますが、その場合 す。このため、将来は | は、河川整備基本 合には「現計画案 | 方針相当 がより | 当の洪水に対) 優位かつ柔 | して安全な 軟な対応か | な治水対策が必要 い可能と推察され |
| 4-241 | 「 安 全度」 の項 | 近年、全国的に豪雨; を速やかに向上させ は不可欠と考えます ことから、「現計画第 | 、次代にわたって。「現計画案」以外 | 安心でき トの案は | きる地域づく | りを行うた | とめにも水害の防 |
| 4-241 | | 治水対策は国民の生 、かつ洪水時に確実 的な観点からみた実 ます。 | に効果を発揮でき | る対策 | とすべきと考 | きえます。 | その意味で、「時 |
| | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ナ) | | | | | | | | |
|-------|------|-----------|------------------------------|--|-------------------|--------------------------------------|--------------------------------|--|--|--|
| ②住所 | | | | | | | | | | |
| ③電話 | 番号又は | t . | | | | | | | | |
| メーノ | レアドレ | <u>/ス</u> | | | | | | I | | |
| ④職業 | | | 会社員 | (5) ⁴ | 丰齢 | 42 | ⑥性別 | 男 | | |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご | ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 | | | | | | | |
| 頁 | 行 | (ご) | 意見が 200 字を超える | る場合は、併せ、 | てその丼 | P容の要旨 (200 |) 字以内) も記載し | てください。) | | |
| 4-241 | | 高れま。に川 | 、基盤産業へのダ す。各目的別でも | 価において、 メージが大き 妥当とされて はありません け減らすこと | い、対 いまで が、個 | 果が限定的 けが、「現計で 引人的にもH 別で「現計画 | など代替のリス 画案」が最も妥 15の大水害を考 | 洪水時の危険度が 、クが大きいと思わ ・当な結果と思いま ・方えた場合、洪水時 ・受えます。 | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | フリガ [・] |)) | | | | |
|------------------------------------|----------------------|--|--|-------------------------|------------------------|------------------------|
| ②住所 | | | | | | |
| ③電話者メーノ | 番号又に レアドレ | | | | · | · |
| ④職業 | | 会社員 | ⑤年齢 | 46 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ごと | に 200 文字以内で記 | 載してくた | ごさい。 | |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超 <i>え</i> | る場合は、併せてその | 内容の要旨 | (200 字以内) も記載し | してください。) |
| 4·12~ 4·85 | | 1)治水に関する意見 今回の検討では、実践 ています。従って、で 前述の記載内容と重視 り、その結果ダム案が 一日も早い平取ダムの | 見可能な複数の対策 今回の検討している 複しますが、客観性 が最適となったのは | 対策案以外 のある評価 、納得でき | トについては必要だ 6軸を基に、十分だ | なしと考えます。 な検討を行なってお |
| 4·117 ~4·15 9 | | 2)新規利水に関する 沙流川流域で必要なるの結果である今回の 新規利水に関しては、 現時点の最適案である 事業化を望みます。 | 新規利水について、 対策案について、さ 、対策案の十分な評 | らに追加第 価や調査を | を検討する必要 を実施していると | はないと思います。 思います。従って、 |
| 4-179 ~4-22 0 | | 3)流水の正常な機 沙流川流域での流水 。従って、今回の対 流水の正常な機能を 精度的に問題無いと | の正常な機能につい 策案以外については 十分確保できる案と | 、必要なV して、ダム | っと考えます。 ム案となっており、 | 、その評価、検討は |

(意見提出様式)

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部治水課内 0/43 - 22 - 9/20 「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書(素象)に対する音見事事について

| ①氏名(フリ | ロ 州 先 3 | 乗平取ダムの | が 横証に係る | 検討報告書 | (素象)に対 | する意見募集 | について |
|------------|-----------------------|---------------|---------------------------------------|----------|-----------|---------------------------------------|---|
| | <i>/</i> 3 <i>/ }</i> | | | | | | |
| ②住所 | | | | | | | |
| ③葡語番号) | | | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | | | , |
| メールア | ドレス | | | | • | • | |
| ④職業 | | 念社 | <u>*</u> 1 | ⑤年齢 | 57 | ⑥性別 | V7 |
| 意見該当箇月 | 所 (のご) | 意見は項目ごと | とに 200 文字 | | してください | ``a | 1 12 |
| 頁 行 | | 見が 200 字を越 | | | | | こくださいし |
| 4-107 | 4. 2 | 沙沙河 | 神の観点 | からの於 | 27 | | . (,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, |
| 5 | ì | に来通行具 | としままし | 2 : 17 8 | isting in | and the second | . موسه |
| 116 | į | マは、事 | はかいナ | きいとした。 | | 医水龙子 | (当につ |
| . | <u> </u> | としたりする | ので、現 | 沙京 | 下で、447 | こ み 件 J.V. 2 1 辛 よ 3 | ኋ ይላላ ው |
| | 1 | | | | | 0 C/5 2 d | q. |
| (-174 | | 新規制 | | | ~ ~ | | • |
| 178 | ·j | 澳計區案1= | 比較し | 4.2 | と同様に | 回道外野 | 野や |
| | 1 | 地下小取小 | は事事 | 世州大 | さく、非視 | [実的な年 | 2F T |
| | i | nuata | | | | | |
| <-233 | 4.4 | 流水の正数 | 名な機能 | の語音の | 意見たからの | 冷江 | - |
| 236 | 1 5 | 可以野鸽 | ス 工期メ | · 更基:约4 | 15 El 32 | 7 1 1 2 2 3 | . ₹ ₹ . |
| _/_ | 4 | 「に ソム州ド | リアシオンしょ | きっる下台 | り待いえごう | 7 7 - T. 11 + | مل جرمان |
| | \ | 火水 日本 | 、トラゲイムを | うなど、自己 | 7 楼陵: | 51375 | <i>6</i> }3 |
| | 1 1 | タん くごみる | とちえまる | 7. L7:b∽ | 。2.元目デェ | 車に京直 | 業費の |
| |) | 動物の | 龙间 77 | あると考え | aj, | | |
| 1-241 | 4.5 | 目的別心 | 総合評 | (d) | •. | | |
| 245 249 | 1 | 三目的为110 | | • | その詳値 | 内容から | |
| **/ | 1 | E44 省本 | 当な許り | 面飞滤 | と考ります | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | ~ C |
| | | | ٠, , | | -SLO 4 | đ | |
| | | | | | | | |
| | | ··· | | | | | |

| 7* E &.J. | 14 4 | |
|-----------|-----------------|--|
| 意見該主 | 当箇所 ——— 行 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 (ご紊見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| 4-250 | | 水る機能対象を3人へ総合評価。 |
| 7 230 | | 目的別の総合評価ですべて最も有利な家として規訂面、許価してあり、総合的な評価も「規訂画案」とするのは |
| | , | 当然であり、納得ときる結論です。 |
| | | 沙流川流成は、近年ではカノちとHノ8に大きな洪川を被害を |
| | | 受けるより、今後も温陽化の影響が懸念エルるとともに、 道内合知でも頻発する異常気象・洪水への対策は緊急。a |
| | | 課題と思ったます、 流成住民にある、生命、外席を守る 治水気 |
| | | 着は何人も享受することかできる必要最小限の権利でするとで、 コストと機能に優れた平取が公建設を発に実施すべきと考えます。 |
| | | 一个一个一个人的人,这个一个人的人的正式是一个人的一个人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| ŀ | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | ` | |
| | | |
| | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| 'フリガ・ | }-) | | | | | | - |
|---------------|--------------|---------------------------|------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|--|
| ②住所 | | , | | | : | | | |
| ③電話者 | 番号又は レアドレ | | | | | | | |
| ④職業 | | | 会社員 | | ⑤年齢 | 5 2 歳 | ⑥性別 | 男性 |
| 意見該論 | 当箇所 | ⑦ご : | 意見は項目ごとに | こ 200 文字 | 以内で記 | 載してください | ()° | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 賃見が 200 字を超え | る場合は、何 | 并せてその | 内容の要旨 (200 4 | 字以内) も記載し | てください。) |
| 4−237 ~249 | 全般 | ・63 ど | |]の総合評価 | 価を7つの | | | *ても、そのほとん 採用が合理的であ |
| 4-237 | 29 ~30 | ・近 ⁴ 当 要 | 持の計画規模を赶 | る北海道の 超える大き 「能な限り) | の降雨現績 な洪水が 速やかに 努 | 象の変化、さら 現実に発生して き現させること | に沙流川流域 ていることなど が最も優先さ | では平成15年に ごを考慮すると、必 :れるべき事項であ |
| 4-238 ~239 | 27 ~4 | ・報告 が、 時 発 | , ダムによる洪オ 々の事象 (下流均 | 計画変更(く調節は容 成の降雨~) が考えられ | 量配分の3 内水氾濫4 ますので | 変更以外にも、 犬況など)見合 、「現計画」は | 洪水初期や後 さいの弾力的な | が論じられています を期の放流を、その な放流操作で効用を を柔軟性も備えてい |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | (フリガ | ナ) | | | | |
|------------|--------------|---|--|--|--|--|
| ②住所 | | | | | | |
| | 番号又に ルアドレ | | | | | |
| ④職業 | | 会社員 | ⑤年齢 | 50 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとは | こ 200 文字以内で記 | 載してください。 | | |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超え | る場合は、併せてその | 内容の要旨 (200 字) | 以内) も記載し | てください。) |
| 4-250 | 8 | しなかったが、堤防高 道大学の黒木准教授 道はされなかったが、 太平洋に流下せず、流 | おいて、二風谷ダム 高ぎりぎりの河道水((当時)のお話を聞い 洪水により大量に 魚具等の被害を防い 考えれば、平成15年 | なの洪水調節によ 立でいつ破堤していたことがある。 発生した流木が二 だ効果もあったと 8月洪水以上の規 | り、かしくまた、 がいで また ない は また ない は また ない は 考え ない は 考え ない また ない また ない また ない は 考え ない かい きんしょう いんしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう いんしょう いんしょう しょうしょう しょう | 流での破堤は発生 なかったと、北海、コミにはあまり報 で止められたため、 る。 いつ発生してもお |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | (フリガ: |)) | | | | | | |
|------------------|--------------|--|--|--|--|--|---|--|
| ②住所 | | | | | | | | |
| | 番号又は ルアドレ | 2 | | | | | | |
| ④職業 | | コンサルク | タント | ⑤年齢 | 38 | ⑥性別 | 男 | |
| 意見該 | 当箇所 | | ごとに 200 文字 | 以内で記 | 載してくだ | さい。 | | |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字 | を超える場合は、 | 併せてその | 内容の要旨(2 | 00 字以内) も記載し | ンてください。) | |
| 1-1 | 図1. 1-1 | ○アイヌ文化 検討フロー 響評価をどの | | 価 行われて のような | | | 伝承環境への影 されていない。 | |
| 3-10 | 3. 2. 9 | ○得られる和 権) (ダム (ダム (ダム (ダム (ダム (ダム (ダム (ダム (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 | ム裁判判決(が、要とわれ が必要と となる となる が必 が必 が必 が必 が必 が が必 が が が が が が が が が | 平成 9 ^を る利益 れた。 価は未た の取り | F) の中で (アイヌ目 ご継続中で ぶ多く残る 且みと、得 | で、事業によ 民族の文化享 であり、信仰 が状況である。 身失利益の評価 | 民族の文化享有 り得られる利益 有権)を上回る に関わるヒグマ に関わるヒグマ 価、本素案の主 くのか、明示す | |
| 4-4 ~ 4-10 | 4. 1. 2 | 川の特性上、 績からも、二 短命を予測し を示している | k資源問題に 一般のダム 二風谷・平取「 している。「10 る。 | に比べて 両ダムの 0 年後」 | て堆砂が早 寿命は概 のみの評価 | 早く、上流の 算で 42 年〜2 価が、いかに | 年)では、沙流 岩知志ダムの実 28 年と、極めて 不十分であるか 明記する必要が | |

| 4-4 ~ 4-10 | 4. 1. 2 | 「堆砂計画」 ○ダムの寿命(2) 素案には、ダムの寿命について書かれていない。二風谷ダムは堆砂が進み、浚渫も難しいと聞いている。両ダムともに、何年間の運用が 可能と見込んでいるのか。明示してほしい。 |
|---------------------|---------|--|
| 4-237 ~ 4-241 | 4. 5 | 「目的別の総合評価(治水(洪水調節))」 ○平取ダムサイトの断層 7つの評価軸を用いて方法論の異なる6案の優劣を論じているが、 ダム案(現計画案)の潜在危険性についての分析が不十分である。 『沙流川水資源問題に関する調査報告書』(昭和51年)には、特に、 平取ダムサイトの河床には巾1~2mの断層があり、地震時、堤体の 不等沈下の恐れも指摘されている。設計上、致命的な問題である。各 案「最悪」を想定し、比較し直す必要がある。 |
| 4-1~ 4-250 | 4 | 「平取ダム検証に係る検討の内容」 ○あいまいなデータ記載の修正と再検証の必要性 平成 15 年の「出水前に求めた計算値」と実績値の比較なのか、「出水後に求めた計算値」との比較なのか、どちらにも取れる(P. 4-8 など)。計算の基準となるデータの日時を明示してほしい。 データの読み取りにあいまいさが残る記載は点検し、修正した上で、分析自体にも誤りが無いか、再検証が必要である。 |
| 4-250 | 4. 6 | 「検証対象ダムの総合的な評価」 ○30 年後、50 年後も安心して暮らせる沙流川の治水を ダム建設の影響測定に「10 年後」という時間軸は短すぎる。国の「実施要領」も、段階的な安全度を測る上で「5,10 年後」を例示しているが、より長い視点での検証も否定していない。 30 年後、50 年後も安心して暮らせる沙流川流域の治水とは何かを検討し直し、住民が心から安心できる選択肢の再提示を求める。それまで、流域に暮らす身内、友人たちのためにも、絶対に平取ダムを着工しないでほしい。 |
| 5-5 | 5. 3 | 「平取ダムの費用対効果分析」 〇費用対効果の検討には、施設や残存土砂の撤去費用も見込むべき施設には減価償却の考え方を用いて便益の計算がされているが、役割を終えたダム施設の残存価値は、大きなマイナスのはずである。また、『沙流川水資源問題に関する調査報告書』(昭和51年)によると、50年間もの間、便益を提供できないと見込まれている。施設や残存土砂の撤去費用等を含め、再計算した数値を掲載してほしい。 |

「対応方針(案)」
〇再度のパブリックコメントの実施と素案への反映を
本素案の段階では、肝心の対応方針について輪郭すら示されていない。国の「検証要領」にも、「主要な段階ごとに実施」とあるので、対応方針原案が出された段階で再度パブリックコメントを実施すべき。また、寄せられた多くの意見が、どのような形で素案に反映されたのか、されなかったのかがごく一部しかわからない。素案への反映状況と、反映されなかったものは、理由を教えてほしい。今回実施分も同様。

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ① 名(| フリガラ | ナ) | | | | | | | | |
|------|--------------|----------|--|----------|-------|-------|-------------|------|---------------------|-----|
| ② 所 | | | | | | | | | | |
| = | 番号又に レアドレ | _ | | | | | | | | |
| ③ 職業 | ŧ | = | 会社員 | 4 | ④ 年齢 | 56 | (5 | 性別 | 男 | |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意 | 意見は項目ごと | に 200 文字 | 以内で記 | 載してくた | ごさい。 | | | |
| 頁 | 行 |] (ご意 | 見が 200 字を超え | える場合は、 | 併せてその | 内容の要旨 | (200 字以内) | も記載し | てください。) | |
| | | 雨が陰響等へ | ※流川では平成 経るなど大洪水 の配慮は不可 と考えます。 | が何時発生 | してもおれ | かしくない | 状況を大 | 変憂慮し | 、ています。 ³ | 環境是 |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| (フリガ: | ታ) | | | | | | | |
|------------|--------------|---|---------------------------------------|-----------------------|------------------------|---|------------------------------|--|--|
| ②住所 | | | | | | | | | |
| ③電話 メーノ | 番号又は レアドレ | | | | | | | | |
| ④職業 | | | 会社員 | | ⑤年齢 | 39歳 | ⑥性別 | 男 | |
| 意見該論 | 当箇所 | ⑦ご | | 200 文字 | 以内で記 | 載してくださ | V). | | |
| 頁 | 行 | (ご) | 意見が 200 字を超える | る場合は、何 | 併せてその | 内容の要旨 (200 | 字以内) も記載し | ンてください。) | |
| | | させ | ていただきます。 | 平取ダム | の検証に | 係る検討報告 | 書(素案)にて | ついて、意見を述べ | |
| P2-12 | 1行目 | 要旨1 基幹産業である農漁業を守るため、平取ダム案を進めて欲しい。 意見1 沙流川流域ではトマト栽培やシシャモ、肉牛生産が有名ですが、洪水が発生すると、 これらの基幹産業への影響は甚大と思われます。 日本の食糧基地である北海道の農漁業をしっかりと守るため、確実で早急に実施できる平取ダム案の実施を望みます。 | | | | | | | |
| P4-12 | 1行目 | 河 意見河 増 | 道の大幅な掘削を 2 道の大幅な掘削は | 、低水路 じる大量 | が堤防にi の土砂のタ | 近接する箇所だ 処分、魚類や泡 | が増加すること 可道付近に生息 | とに伴う破堤リスク 息する小動物などさ | |
| P5-1 | 1行目~ | 費見費ルい | 用対効果に考慮さ 3 用対効果は「治水 を拝見したところ | 経済調査 、人命損 この費用対 | マニュア 傷やライ 効果1.3k | ル」に基づい ^っ フライン切断に よ過小評価と思 | ているという? による波及被 思われます。4 | ことですが、マニュ 書等、考慮されてい 也球よりも重い人の がでしょうか。 | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(フリガ | ナ) | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|-------|-----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|----------|----------|-------------|----------------------|------------------------------|------------------------------|------------|-------------------|----|
| ②住所 | | | - | | | | | | 4 | | | | |
| ③電話番号又は メールアド1 | 7 | | | | } | | | | | | | | |
| ④職業 | | 会社員 | | | ⑤年齢 | 4 | 5 | | ⑥性別 |]] | 男 | | |
| 意見該当箇所 | ⑦ご | 意見は項 | | 00 文字 | 以内で | 記載し | ノてく | ださい。 | | | | | |
| 頁 行 | (ご煮 | 意見が 200 |) 字を超える場 | 場合は、信 | 并せてそ | の内容 | の要旨 | (200 字以 | (内) も記 | 載して | こくださ | (?) | |
| | 環近のます | に十分な は、地球 雨にも対 。 なのは、 | 道の負担、沿 は配慮が成態 は温暖化のには が減住民の | されれば と響があい は、ダムル か生命と | 問題なりたった。 | いので想像以外が | ではない人上の針他の事 | ハでしょ 集中豪雨 事業より | うか。 iが多く; も最も? iことで | なっ [™] 効果が はな | ていま がある | す。想 ように ょうな | 思い |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ナ) | | | | | | | , | ······································ | |
|-------------|--------------|-----|--------------|-------|---------|------------|------|---------------|---------------------------------------|--|--------|
| ②住所 | | · | | | | | | | , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | | ****** |
| ③電話を メー/ | を号又に レアドレ | 1 | | | | | - | | | | |
| ④職業 | | | 会市 | 工员 | ٠, | ⑤年齢 | 4 | 1 | ⑥性別 | 罗力 | |
| 意見該当 | 当箇所 | ⑦ご類 | 景見は項 | 目ごとに2 | 200 文学 | 以内で記 | 載して | ください | , | | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 見が 200 | 字を超える | 場合は、 | 併せてその | 内容の要 | 旨 (200 字 | -以内) も記載し | てください。) | |
| | | | | | | | | | 「模の放 | | |
| | |) | | • | | | | | と言う | • | |
| | , | | 主民の こじま | • | · 封 | をあま | りに | も軽 | 視してい | るように | Ţ. |
| | | | • | , , | · 系象 | 北 波 | なな | 短班 | 間での | 集中豪田 | 等 |
| | | v | 1) \(\) | 害心适 | らきら | もおか | `L | ガー : | 杜汉か | 続いる | ` |
| | | | <i>t</i> . | | · | | | | | | |
| | · | 早 | 期后 | 对文建 | 段の | 着エを | 行。、 | 15 | 早人住 | 水安心 | 11 |
| | | l | く <u>生</u> じ | 石出状 | 3事 | も中に | 人閥、 | √ 3 ₹, | · · | | |
| | | | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| | | 30日開発等案平取ダムの検証に係る検討報告書(聚案)に対する意見募集について |
|------|------|--|
| ①氏名 | (フリオ | ガナ) |
| ②住所 | | |
| ③電話 | 番号又 | it in the second |
| メー | ルアド | レス |
| ④職業 | | 会社員 ⑤年齢 39 ⑥性別 男 |
| 意見該 | 当箇所 | のご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| | , | |
| | | 台風時の洪水対策等のため又 |
| | | とないのの大水川水手のため又 |
| į. | | 大从一车事举 华 七 一 五 平 一 |
| | , | 本体工事事業等地域《產業振興》 |
| | • | |
| | • | ためにも平取り山の建設を強く |
| | | |
| | . , | 希望します。 |
| | | |
| | . | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | (フリガ | ナ) | |
|-----------------------|----------|-----|---|
| ②住所 | | | |
| = | 番号又に | | |
| ④職業 | - | | 会社員 ⑤年龄 63才 ⑥性别 男 |
| 意見該 | 当箇所 | のご; | 意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 |
| 頁 | 行 | (ご港 | 意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要冒(200 字以内)も配破してください。) |
| | | X | 平成15年、平成18年の集中豪雨(より) |
| | | | 高川北町、南町に住むる、柿達が西町の私の自宅に避難して来ます、 |
| | | | 又不成22年にも大用で遊覧が事態と |
| | | | たっていきす。住民が安心にをはる |
| | | ŀ | 洪水対策が少要です。 |
| | | | 二月后午人、平取午人的完成力本流域的 |
| | | | 洪水対策を磐石をものにすると考えます。 |
| | | | ですので不取な人の早期本体工学を |
| | | | 着工してほしいです。 |
| | | - | |
| | <u> </u> | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(フリガナ | ·ナ) | | スパ(条米) | 7 6 16 70 35 | Seic JVIC |
|--------------------|---|--|------------------------|---------------------------|---|
| ②住所 | | | | | <u> </u> |
| ③電話番号又は メールアドレジ | | | | | |
| ④職業 | 爱社员 | ⑤年齢 | 47 | ⑥性別 | <u>Q</u> |
| 意見該当箇所 (| ⑦ご意見は項目ごとに 200 | | | | |
| | (ご意見が 200 字を超える場合 | | | (内)も記載し | てください。) |
| | 1 近外然為建立がかれたことり、河外然為建立の川かれた山谷、東京川が開文を 多知でれる 好命 流動響 東川大学と望 明監流の多 降光 である。 | 也以の以外的 自然大性が程がれるというない。日本流光世が程がられて成から、日本流がから、日本流がから、日本流光をはいる。日本で、日本の、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本 | 以流的比 的是民族的的 好人或好的 脑外外的 | す住洪江 振忘避みな心なる家民がか 與決難かとむ人 | 災沙牧門的大性的体官流化が大生物では多次代表が大きないないがある。本地の大きながいかられても、別がないないないないないないないからないないないないないないないないないないないない |



「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ナ) | | • | | | - | | | • | |
|------------------------------------|--------------|------|----------------------------------|--------|---------|-------|---------------|---------|---------|-------|-------------|
| ②住所 | | | | | | | | | | | |
| ③電話者メーノ | 序号又に レアドレ | | | | | | | | | | |
| ④職業 | | | 無職 | | | ⑤年胎 | 7.7 | | ⑥性別 | 男 | , |
| 意見該当 | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項目 | ごとに 20 | 10 文字 | 以内で記 | 成してく | ださい。 | ` | | · |
| 页 | 行 | (ご) | 筆見が 200 字 | を超える場 | 合は、 | 炸せてその | 内容の変旨 | (200 字以 | 内) も記載し | てください | (,,) |
| | | 確保 咋 | 流川流域、 されたもの 今の気候変 あります。 | と思いま | <u></u> | | | | | 早期の対 | · |
| | | | , | | | | | | | | |
| | , | | · . | | • | | | | | | |
| | | | | • | | | | | | | |
| , . | | | | | | · . | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | : | · | | | | | | | · |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガラ | ナ) | | | | | | |
|------------------------------------|--------------|----------------|--------------------|----------------------------|--------|----------------------|-----------------|---|
| ②住所 | | | | | | | | |
| ③電話都メール | §号又は レアドレ | | | | | | | |
| ④職業 | | | 主婦 | | ⑤年齢 | 4 0 | ⑥性別 | 女 |
| 意見該当 | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項目ごと | とに 200 文字 | 以内で記 | 載してください。 | | |
| 頁 | 行 | (ごえ | 意見が 200 字を超 | 望える場合は、 | 併せてその「 | 内容の要旨 (200 字) | 以内) も記載し | てください。) |
| 4-241 | 1~9 | 私た 経済 の高 | ちが安心して暮 的で、早期にタ | 導らせるよう 効果を発揮す す。災害は待 | 、確実な | 方災対策を期待し うことですので、 | ノています。 納税者の複 | を再認識しました。 現計画案は、最も 見点としても納得度 こ、効率的に事業を |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | フリカ | `ナ) | | | | | |
|------|------|------|-------------------------|-----------------|---------------|-----------------|--------------|
| ②住所 | | ļ | | | |) | |
| ③電話? | 番号又) | i į | | | | | |
| メー | レアド | レス | | | | | |
| ④職業 | | | 自治体職員 | ⑤年齢 | 5 4 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ごī | 意見は項目ごとに 20 | 00 文字以内で記載 | 見してくだ | さい。 | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 見が 200 字を越える場 | 合は、併せてその内 | 容の要旨(20 |)0字以内)も記載して | てください。) |
| | | 検討幸 | 報告書(素案)につ | いて、次の2点を | 意見提起 | させていただきる | ます。 |
| | | _ | | | | | |
| 全体. | _ | 1. 溢 | 津波(=河口側から | の大規模な洪水) | に対する | 対策を考慮すべき | きです。 |
| | | | 21回「治水対策の | | | | |
| | | _ | チームが提出した資 | | | | |
| | | | 見・情報の整理」に | - | | | |
| | | | こも関わらず、対応だ | | | | |
| | | | 害については、これ) クの対応策をあらか | | | | |
| | | | アの対応束をめらか こおける検証素案を | | | | |
| | | | についての検討が | | | | |
| | | | の見通しを示すべき | | <i>y</i> | | (1 /E/(-)-1 |
| | | 2 | | - / 0 | | | |
| 全体 | · — | 2.ア | イヌ民族の文化お。 | よびその伝統を基準 | 迷にした 地 | 也域文化・社会・ | 環境への影 |
| , | | 響の根 | 倹討と対策を総合的 | に、長期的視野で | 行うべき | です。 | |
| | | 二原 | 虱谷ダム建設時にお | ける経緯などをふ | 、まえ、沙汾 | 売川流域ではアイ | ヌ文化に対 |
| | | する層 | 影響に一定の配慮が | なされてきている | ところで | す。今次の検証で | も可能な限 |
| | | り、そ | して今後の河川整 | 備計画更新時など | ではもちる | ろん、アイヌ民族 | の文化およ |
| | | びその | の伝統(アイヌ文化) | 振興法に示されて | いるようだ | な歴史性を含意) | を基礎にし |
| | | た今日 | 日的な地域文化並び | に社会、環境への | 影響(否定 | E的・肯定的の両 | 面があり得 |
| | | | つ検討と、調査・保治 | | さらに総合 | 合的に、長期的視 | 野でしっか |
| | | り行 | うべきだと考えます | | | | |
| | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ታ) | | | · | | |
|-------|------|----------|--|-------------------------|------------------|---|------------------------|
| ②住所 | | | | | | | |
| ③電話 | 番号又は | ; | | | | | |
| メー) | レアドレ | ⁄ス | | | 1 | | |
| ④職業 | | | 主婦 | ⑤年齢 | 41 | ⑥性別 | 女 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項目ごとに 200 文字 | 字以内で記 | 載してくださ | ₹ \$7° | |
| 頁 | 行 | (ご) | 意見が 200 字を超える場合は、 | 併せてその | 内容の要旨 (20 | 0 字以内) も記載し | てください。) |
| 4-250 | 全般 | てい 災害 | 、地球温暖化に伴う気候変 る状況にありますが、安心 への対応は急務と考えます 的な観点やコスト面で優れ | いして暮ら す。いつ発 1た平取ダ | せる社会を構 生してもおか | りない洪水のではます。 いしくない洪水のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | って、こうした自然 D発生に対しては、 |
| | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | }) | | | | | | |
|------------------------------------|--------------|----------------|-------------|-----------|-------|----------------|-----------|-------------------|
| ②住所 | | | | | | | | |
| ③電話者メーノ | 番号又は レアドレ | | | | | | | ; |
| ④職業 | | | 会社員 | | ⑤年齢 | 46 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項目ご | とに 200 文学 | 字以内で記 | 載 してくださ | 1,7° | |
| 頁 | 行 | (ごま | 意見が 200 字を起 | 超える場合は、 | 併せてその | 内容の要旨(200 | 字以内) も記載し | してください。) |
| | | | | | | | | |
| 4-107 ~ -116 | | | | | | | | 全て網羅されておりキリと分かった。 |
| 4-174 ~ -178 | | 新規 | 利水に関して | も、上記と「 | 司様、現行 | のダム案が一 | 番優れている | 事が分かった。 |
| 4-233 ~ -236 | | 流水 | の正常な機能 | の維持に関 | しても、現 | 行ダム案が一 | 番優れている | 事が分かった。 |
| | | | · | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | (フリガ | ナ) | | | | | | - | | |
|-----------|--------------|---|--|---|------------------------------------|---|---|---|--|--|
| ②住所 | | | | | | B | | | | |
| ③電話 メー | 番号又に ルアドレ | · · | | | | | | | | |
| ④職業 | | 派遣社 | 員 | (5)4 | 丰齢 | 32 | | ⑥性別 | 女 | |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は | 項目ごとに 200 | 文字以内 | すで記 | 載してくだ | さい。 | | | |
| 頁 | 行 | (ご意見が 20 | 00 字を超える場合 | さは、併せ [、] | てその | 内容の要旨(| 200 字以 | 内) も記載 | してくださ | γ ₇ °) |
| | | ム。『構にパと逆会う※、で ○。コるを 関成なブ思に議。私結… 資 ス際設 地でてッ。対は よ的 を やは よんに を かは よりに がった かんしょうに がった かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ | 合用・はたいは、なっなコー見いにどのます的然皆ないは、ないは、のというないがい。では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、<l< td=""><td>局、各ないでは、私、くきと、対なだら、めば、状む 現 現 視んのちん まんい にに</td><td>ム 場しと対 い議 いて 画 か考を プー思系 又内 つじ 薬 ら慮</td><th>を きがです。 がでする。 では、かができる。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で</th><th>しのコ 経 意の 握展 る いれい 構メ 験 見公 し開 こ るて自 成ン 者 問る てに</th><th>らい いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱ</th><td>かないのだのだめ、 のだも、 含 なで 人だけ いっぱい がっこう ない かい かい がい かい がい がい</td><th>が が が が が で が で が で が で が で が で が で が の み が の た は の た を は の し の と し し を は し し し を し し し し し し し し し し し し し</th></l<> | 局、各ないでは、私、くきと、対なだら、めば、状む 現 現 視んのちん まんい にに | ム 場しと対 い議 いて 画 か考を プー思系 又内 つじ 薬 ら慮 | を きがです。 がでする。 では、かができる。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で | しのコ 経 意の 握展 る いれい 構メ 験 見公 し開 こ るて自 成ン 者 問る てに | らい いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱ | かないのだのだめ、 のだも、 含 なで 人だけ いっぱい がっこう ない かい かい がい かい がい | が が が が が で が で が で が で が で が で が で が の み が の た は の た を は の し の と し し を は し し し を し し し し し し し し し し し し し |

国土交通省北海道開発局室關開発建設部治水碟內

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宏

| | 074 P 777 | 1 | | | | | | | |
|-------------|-----------|------|----------|----------|----------|---------|---------|----------|--------|
| | 番号又 | | | | | | | | |
| | ルアド | レス | | | | | | | |
| ①職業 | | | 会社員 | | ⑤年齢 | 60 | ' | ⑥性別 | 男 |
| S 見該 | 当箇所 | ⑦ご; | 意見は項目 | 1ごとに 200 | 文字以内で記 | 載してく | ださい。 | | |
| 頁 | 行 | (ご泊 | 見が 200 字 | を越える場合 | は、併せてその内 | 容の要旨 | (200字以内 |)も記載して | てください。 |
| -121 | | 図4.3 | 3-1 日高町 | 給水区域內。 | 人口の推移(実 | 衝及び計 | 画)と図 | 4.3·4 平取 | 町給水区 |
| l-126 | | 域内. | 人口の推移 | 3(実績及び計 | 十画)で目標年 | 火に差異: | がある。 | | • |
| ÷ | | 麦か | ら推察する | と目標年次 | 以降も給水区 | 域内人口: | が減少する | ると思われ | しる。 |
| | | 以上 | のことから | 目標年次は | どの様な根拠 | で設定す | るのか。 | | |
| ÷ | | | , | | | | | v. | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | , | | | | |
| | | | - | | | | | | |
| | | | - | | | | | | i |
| | | | | | | • | | | |
| - | | | | | | | | | |
| | | | | | | | • | | |
| | | | | | | | • | | |
| | | | | | | | | | |
| | - | | | | | | | | |
| - | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | , | | | | | | | | * |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | • |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| ーーー | +\ | \ | | | | | |
|------------------------------------|------------|--------------|---|---|-----------------------------------|---|--|---|
| | (29A | | | | | | | |
| ②住所 | n. □ ¬γ) | | | | | | | |
| ③電話者メーノ | を ラストレンアドレ | come. | | | | | , | |
| ④職業 | | 会社員 | | ⑤年齢 | 62 | ⑥性別 | 男 | |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ご | とに 200 文字 | 以内で記 | 載してくた | ごさい。 | | |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を | 超える場合は、 | 併せてその | 内容の要旨(| 200 字以内) も記 | 載してくだる | ₹ <i>\</i> 7.°) |
| 6-1 | | 第1回検討の場ででは、 | が洪にとのがいてり、かがえ者のの精怖11と、洪合い、まのの鬼を1し、水的、上現す意見をして、まのがれりで、まのがないのが、計でをして、いいのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 頻繁に発生である。 はいかい かい ではいっこう かい | 生おなでたイ 対て 地なちを イ 対現 か方 早の 水画 げあ エ | 中で、待ったが 平成 15 年台 を 15 年台 を 15 年台 を 15 年台 を 25 年 を 25 年 の 正 25 年 の 正 37 年 の 正 37 年 の 正 37 年 の 正 37 年 の と 37 年 の 27 年 の 27 年 の 28 年 の 37 年 の 37 年 の 37 年 の 37 年 の 4 年 の 5 年 の 6 年 の 5 年 の 6 年 の 7 年 の 5 年 の 6 年 の 7 年 の 6 年 の 7 年 の 7 年 の 7 年 の 7 年 の 8 年 の 7 | は 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 | が求いされ、このでは、かないでは、かないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 |
| | *. | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ナ) | | | | | | | | |
|---------------------|--------------|--------------|----------------------------|-------------------|----------------------|----------------------|---------------------|----------------|--------------|-----------------|
| ②住所 | | | | | | | | | | |
| ③電話者 メー <i>)</i> | 番号又に レアドレ | | | | | - | | | | |
| ④職業 | | 無職 | | | ⑤年齢 | 43 | | ⑥性別 | 女 | |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は刃 | 質目ごとに 20 | 00 文字 | 以内で記 | 載して | ください。 | | | |
| 頁 | 行 | (ご意見が 20 | 0 字を超える場 | 骨合は、 | 併せてその | 内容の要 | 旨 (200 字以 | 内) も記載 | してくだ | さい。) |
| 4·237 ~ 4·249 | | ト、時間的なでそれを覆す | 「ほどの要素 図しましたが 设を熱望して | た実現 は無い 、特に | 性で「現 と評価し 問題が無 | 計画案」 ていまで いように | が優れて す。 こ思われま | いると評(す。各自? | 価し、そ 台体の首 | この他の項目 背長さんも |
| | | | | | | | | | | ÷ |
| | | - | | ī. | | | | | | |
| , | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | <i>(</i> | · | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| 沙州 | 総合 | 相発爭 | 業半取ダムの | の検証に係る物 | 討報告菩 | (素集) に対する | 意見募集 | こついて |
|------|------------|----------|-----------|---------------|--------|-----------------|-----------------------|------------|
| ①氏名(| フリガ | 'ナ) | | | | | | |
| ②住所 | | | | | | | | |
| ③電話 | 野号又 | が、 | | | | | | |
| メーバ | レアド | レス | . [| | | | | |
| ④職業 | | | 会社 | _ 휯 | ⑤年齢 | 63 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該? | 当箇所 | のこ | 意見は項目ご | とに 200 文字 | 以内で記載 | なしてください。 | | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 見が 200 字を | 越える場合は、伊 | せてその内 | 容の要旨(200字以内 | 1)も記載して | ください。) |
| 4-12 | | 4. | 2 洪水訓 | 司許の観 | 点から | の検討 | | |
| , | | ~.\. 1 | · ÷ | æz. | sia b | | - D et r*: | |
| | ` . | <u> </u> | 流門では/ | 发更在る沙 | と水によ | 1)多くの被集 | が発生 | してます。 |
| | | 和 | 近では平月 | <u> 15年8月</u> | 1848 | 月には北海 | 道では | 砂UN |
| | | 30 | Omm以上 | この目が"門 | 針洪2 | KとなってU | ます。 | |
| | | | | • | | =(ま二)風谷 | | フ"(ゴ |
| | | _ | | | | | , | |
| | | 76 | <u> </u> | の生水で | サムの気 | か果を最大下 | 以於揮 | LZE |
| | | []立 | 止出来石 | かったと言 | 己臉し | ています。 | two liveweens | |
| | • | 龙 | 22947 | 洪水对策 | 仁役立: | 計画ですの | 了"地域 | 住民の |
| | - | 命 | と財産を | 呼なために | ≥ 平取92 | の着工と実際 | 。镇陆 | しています。 |
| | | | | : | | 等で事業が | | |
| | | | | | | 食し数年後 | ţ | |
| | | | | | | ことを小供な | | |
| | | , | | | , | • | <i>,</i> , , , | , - |
| : | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | | | 発平収タム | 少快亚(二条/ | O使的報告書 | (条茶)に | 対する意見募集 | 15-211.6 |
|------|------|-----|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| ②住所 | | - | | | <u> </u> | | | |
| ③電話: | 番号又(| は | | | | | | |
| メー | レアド | レス | | | | | | |
| ④職業 | | | 会社 | 員 | ⑤年齡 | 61 | ⑥性別 | 男力 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご: | 意見は項目に | ごとに 200 文 | 字以内で記載 | 戈してくださ | z / / " | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 見が 200 字を | 越える場合は | 、併せてその内 | 容の要旨 (200 | 字以内)も記載して | てください。) |
| 4-12 | 4, 2 | 汐 | 快水調節 | うの観点 | 、からのオ | | | |
| | | * | 台水対策 | (魔) is it | 25% 14 | : 岩か君 | 4.27.43.平 | To 57 |
| | | | | | | | 提附an | |
| | | 1 | | | | | | 工工工 |
| | | 1 | | | 対策が | • | | |
| | | | しかし、完 | 成事2.12 | 要有多 | 了用岭、 | 沒水調節 | 効果 |
| | | | が発現 | される期 | 向もた方 | ますると、 | 平取がる整 | 偌*" |
| | | | | | • | | 、事業が | |
| | | | | | | | ともあり、一 | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | 安全、化 | 心体地域 | (TO PX |
| | | : | かずずま | 小出七形 | , 声音, | | | - |
| | | | | , | | | | |
| | | - | | • | | | | |
| | | | | | | 1 | | |
| · | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | ., | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ |)) | | | | | |
|-------------|--------------|----------------|---|--|----------------------------------|----------------------------------|--|
| ②住所 | | 1 | | | | | |
| ③電話者 メーノ | 番号又は レアドレ | 1 | | | | | |
| ④職業 | | | 会社役員 | ⑤年齢 | 63 | ⑥性別 | 男 |
| 意見該旨 | 当箇所 | ⑦ご : | 意見は項目ごとに 200 文字 | 字以内で記 | 載してください。 | | |
| 頁 | 行 | . (ご酒 | 意見が 200 字を超える場合は、 | 併せてその | 内容の要旨 (200 字以 | 内) も記載し | てください。) |
| 4-250 | | 4.6 | 検証ダムの総合的な評価 合評価結果に賛成です。 の案より高くなります。 ては、1日も早い治水効果 の安全度の確保も合わせ、 | コスト面で しかし近 ^年 その発現が で求められ | で今後の事業費は F、異常気象の発 必要な上、目標を | 安価ですが 生が頻発し 上回る洪水 早いダム質 | 、維持管理費は他 ている状況にあっ 、等が発生した場合 建設を希望します。 |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | | | | 11111111111111111111111111111111111111 | (系来) [二次] 9 6 | - 10.202710 | | | | | |
|-------------|-------------|--------------------------------------|---|---|---|---|--|---|--|--|--|--|
| ②住所 | _ | | | | | | | | | | | |
| ③電話 | 番号又(ルアド | | | | | | : | | | | | |
| ④ 職業 | | | 会社役員 | | ⑤年齢 | 7 2 歳 | ⑥性別 | 男 | | | | |
| 意見該 | 当箇所 | ر*; | | | | | | | | | | |
| 頁 | 行 | (ご意 | (見が 200 字を越える) | 場合は、併 | せてその内 | 容の要旨(200字以序 | h)も記載して | こください。) | | | | |
| 4-12~ | | しょる 討め 検来う も てダ て依述、各独さて新討のな継長まれム以おっ | 紀、 2 種水れダ娘さ苫最片小た毎の下りてあいな洪の湖でム利れ東小流限、へ効、、、的では湖策にり画にい工のに図往流と的計方すで、がつる業技つら洪出し別画公のの共ます。3、は、一番で、水がでる実技のは、といいのの共出し別画公のの共出しは、第は、がなることに、は、のはないのでは、は、ののののののののののののののののののののののののののののののののの | おて流時で2計要感種から漁価価を規り内的るの画とも方ら判案さ、高利高のなこ 水よな必策申るへれをく | はく治実と道緒たと充分う影べ的研究、評水現避用小場思分がに響き評する。 教会学 でとれるわな無二 気と何る | 維持する を が はます。 を はま 利線 で の を はま 利線 で の を が り が の を が の を が の を が の の の が の が の の が の が の の が の の が の の が の の が の の が の が の の が の の の の の の の の の の の の の | 目に各様・ をとまし、の大 での から いっぱい ない かん | 、をのいて能対しにおき、一をのいて能対したした。 で親 適りなる きこ 討らに等 切、る 影 止と され 検含 に将よ 響 めもれ | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ታ) | | | | | | | |
|--------------------------|--------------|--------------------|-------------------------------|--|------------------------------------|---------|--------------------------------------|-----------|----------------|
| ②住所 | | | | | | | | | |
| ③電話者 メー <i>)</i> | 番号又に レアドレ | | | | | | | | |
| ④職業 | | | 会社員 | • . | ⑤年齢 | 65歳 | ⑥性; | 削 | 男 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項目ごと | に 200 文字 | ド以内で記 | 載してくだ | さい。 | | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 意見が 200 字を超え | える場合は、 | 併せてその | 内容の要旨(2 | 00 字以内) も訂 | 己載し | てください。) |
| $4 - 23$ $7 \sim 24$ 0 | | 近てなあげく 目 ダニ ラドラ 単野 | います。今年は 洪水被害が発生 り洪水被害を受 | 雨九しけ減を (早斉有責案~少れれててし望 治い的者がが調流かれこでのあ一査動からまま地ま)とあ説る番がにゆやすす域す に る明こ柔実対 | る京。が。 つ こがと軟施し妥が都流風害 て 来 がれもでもでいるに | で過去に経り | 験のないよう 成15年8月 が検証されま ・安心なまち | かな雨と平月した。 | を書はどこでも発生 対 |

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部治水課内 「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ታ) | | | | | | | | | |
|------------------------------------|--------------|----------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------------|------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|-------------------|----------------------|------------------------------|
| ②住所 | | = | | | | | | | | | |
| ③電話者メーノ | &号又は レアドレ | | | | | | | | | | |
| ④職業 | | | 会社員 | | | ⑤年齢 | 59 | ⑥性. | 別 | 男 | |
| 意見該当 | 当箇所 | ⑦ご | 意見は項目 | ごとに 200 | 0 文字 | 以内で記 | 載してくだ | さい。 | | | |
| 頁 | 行 | (ご) | 意見が 200 字 | どを超える場合 | 合は、イ | 并せてその | 内容の要旨(2 | 00 字以内) も詞 | 記載し | てください | .) |
| | | 関係のより、は短 | 者意見より 地域の高齢 り充実した | 地元は平成 化を考慮し ハード対第 | 戈15 年 ン、沙 ほは是 | の洪水災 流川流域の 非必要。! | 害を経験、『 D洪水対策 & 早急な災害対 | 取ダムの優々 早急な洪水メ としてソフト 対応 早急に平 | 対策を ·対策 。れる | 求めてい の充実は 中、平取 | る。 今後 当然だが ダム事業 |
| | - | | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名 | (フリガ | <i>ナ</i>) | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|--------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ②住所 | | | | | | | | | | | | |
| ③電話メーク | 番号又は レアドレ | | | | | | | | | | | |
| ①職業 | | 会社員(か七次年) ⑤年齢 52才 ⑥性別 男 | | | | | | | | | | |
| 意見談? | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 | | | | | | | | | | |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) | | | | | | | | | | |
| | | 沙流川の川のすぐ近くに住んで川る住民として、尼去の大雨・集中家雨による町民避難する事と行た事例もあり、また、西年の降那里も増加傾向にみると統計があると開土、地元町民は不安を祀之と生活して川る。 | | | | | | | | | | |
| | | 今回の平取ダベル連段に伴う検証結果等でも年まれている過り、正統の計画過りかでしいとの結果が必まれてより、早期に東观まれることを望れたのです。 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | , | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

| ①氏名(| フリガ | ナ) | | | | | | |
|------|--------------|-------|--------------------|----------|------------|-------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| ②住所 | | | | | | | | |
| ③電話を | ¥号又に レアドレ | · | | | | | | |
| ①職業 | | | 左ネI | 炎 | ⑤年齢 | 63 | ⑥性別 | Z |
| 意見該 | 当箇所 | のご: | で 見は項目ご | とに 200 文 | 字以内で記載 | してください。 | | |
| 頁 | 行 | (ごま | 景見が 200 字を起 | 置える場合は、 | 、併せてその内容 | 字の要旨(200字) | 以内)も記載し | てください。) |
| | | の行きお何 | 安全あれるり、大成の | 対しましますが | とになった。これでき | るらはこれるのでとうというのでは、 | 、 人祭た 3年もの との 終 下取っ | ではようないいかられてなったことによっなないいとうないというないいけん |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局御中

| ①氏名 | (フリガ | ナ) | | | |) _. | | | | |
|------|------|--------|---------------------------|--------|------|---|----------|--|--|--|
| ②住所 | | | | | | | | | | |
| ③電話、 | メール | アドレス | | | | | | | | |
| ④職業 | | | 会社役員 | ⑤年齢 | 65 | ⑥性別 | 男 | | | |
| 意見該当 | 6箇所 | 報告書の | 総論的な意見として「ダム建設に伴う環境変化」と「ダ | | | | | | | |
| 頁 | 行 | ムの持つ防 | 災機能」について述べます。 | | | | | | | |
| | | 1. 環境影 | 響に関して影響削減 | 載と創出 | | | | | | |
| | | ダムを造 | ることによって、基 | 見在の河川 | やダム池 | 胡周辺の環 | 境を現 | | | |
| | | 在のまま保 | つのは、ほぼ不可能 | 能となりこ。 | とは理角 | 解できます | 0 | | | |
| | | このため | 種々の対策を行って | て、少しで | も環境の | ママス マスティス マイス マイス マイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス ア | を大型 | | | |
| | | 事業では継続 | 続する必要が有ると | ヒ思います。 | 。但し、 | 金山ダム | か朱鞠 | | | |
| | | 内湖、札幌 | の西岡水源地などを見ると新たな環境創出も有り得る | | | | | | | |
| | | のでは?と. | 思われます。 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | , | 2. 代替方 | 策の無い防災機能と | としてのダ、 | ム | | | | | |
| | | これまで | 北海道では無関心であった気象変動による局地的なゲ | | | | | | | |
| | | リラ豪雨が | 、近年は道内の各地で多発しています。 | | | | | | | |
| - | | 前回、沙 | >流川で発生した大洪水で、二風谷ダムに沢山の流木が | | | | | | | |
| | | 貯まった状 | 況を見て、もしダム | ムが無くて | 下流の独 | 夹い河道や | ・ 橋桁に | | | |
| | | 滞留したら | 、相当な被害が発生 | 生した可能 | 性を思い | 4浮かべ、 | 私は防 | | | |
| | | 災機能とし | てダムは最大の施設 | 没ではない | かと考え | えています | ۲. | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | • | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部治水課内 「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

| ①氏名(フリガ | (+) |
|---------------------|--|
| ②住所 | |
| ②電話番号又に _ メールアドロ | · · |
| ④職業 | 会社員 ⑤年齢 49 ⑥性別 男 |
| 意見該当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに200文字以内で記載してください。 |
| 頁 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| | 最近は、局地的豪雨や集中豪雨が起き大きな被害が多く発生していて、沙流川流域も 過去には同様の豪雨によって、甚大な被害が発生している。これらから、平取ダムの建 設が望ましいということが明らかになったので、早期に着工して流域の安心安全を確保 して欲しい。 |
| | |
| | |

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部治水課內

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書 (素案) に対する意見募集について

| ①氏名 | (フリガ | ナ) | | | | | | | | | | |
|-----|------|-----------|---------|------|--------|-------|-----------------|--------|---------|---------------------------------------|---------|---------------|
| ②住所 | | 1 | | | | | | | | | <u></u> | |
| | 番号又に | | | | | | | | | | | - |
| ④職業 | | | 会社員 | - | | ⑤年齢 | 52 | | ⑥性別 | 男 | | |
| 意見該 | 当箇所 | のご | 意見は項 | 目ごとに | 200 文字 | 以内で記 | 載してくだ | さい。 | | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | |
| 頁 | 行 | (ご酒 | ま見が 200 | 字を超え | る場合は、 | 併せてその | 内容の要旨(2 | :00 字以 | 内) も記載) | してくださ | ۲۴،) | |
| | | 1 | | | | | 車やかにダ。 して暮らせ | | | て欲しい | 。その、 | <u></u> こと |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | • | | | |
| | | · | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | · | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

围上交通省北海道開発局室蘭開発建設部治水課内

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局。宛

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書(零案)に対する意見募集について

| ①氏名(フリガ) | |
|-------------------|---|
| ②住所 | |
| ③電話番号又は メールアドレ | |
| ④職業 | ⑤年齢 88 ⑤性別 女 |
| 意見該当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 |
| 五 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) |
| | 不要不急のムグなダムの建設計遇は即時廃止すべきです。 一些財使いの最たるダム建設より優生すべきことが数えまれな程ある筈です。 北海利服に欠かすことのないアイス民族の聖地と文化を守り地域便民の意見を尊重することをいり望みます 自然破壊は自からも確破壊すること(=)ながります |

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部治水課内 「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書(素素)に対する意見募集について

| 沙流川総合開発 | 音事業平取ダムの検証に係る検討報告寄(素素)に対する点が非常に |
|--------------------|---------------------------------|
| ①氏名(フリガナ) | |
| ②住所 | |
| の電話番号又は メールアドレス | 自多年 圆作船 627 圆性别 七 |
| D職業 | 国のできばかでき続してください。 |
| 夏 行 (二 | 文及族の聖は、併せてその内容の変形はある。中から |
| 2 | 利登は一かからまなか。 |
| 3 | 動植物公星维电电力上的之间的 |
| | |
| | |
| | |

0143-22-9190

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部治水課內

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書 (素案) に対する意見募集について

| | | | | | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | | | |
|-----------------------|--------------|---------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------------------|--------------------------|--|--------|-----|
| ①氏名 | (フリガ | ナ) | | | | | | | |
| ②住所 | | • | | | | | | | |
| ③電話で メール | 番号又に レアドレ | | | | | | | | |
| ④職業 | | | 会社員 | | ⑤年齢 | 60 | ⑥性別 | 男 | -4. |
| 意見該 | 当箇所、 | ⑦ご | 意見は項目ご | とに 200 文字 | 以内で記 | · 載してくだ | さい。 | | |
| 頁 | 行 |)) , | 意見が 200 宇を: | 超える場合は、 | 俳せてその | 内容の要旨(2 | 00 字以内) も記載し | てください。 | ,) |
| | | 害の そ 、何 | 不安を取り除 の点から、一 通りかの方法 | いて欲しいと 番の方法は平 の内、ダム建 | いうのが、 取ダムの 設が一番2 | 一番の願V 建設だと思V 安価である | 泉に住む住民にと いだと思います。 います。また、前 とされています。 | | |
| | | 任氏 | の安全のため | 、早期の完成 | をお願い | ,ます。 | | | |

084

送信者:

受信者: biratoridam-goiken@hkd.mlit.go.jp

日付: Wed, 10 Oct 2012 16:20:12

件名: 平取ダムの検証に係る検討に関する意見

1

2

3

- ④ 団体職員
- (5) 64才
- ⑥ 男

意見

近年は、局地的な集中豪雨が起き、大きな被害が発生しています。 沙流川も過去に大きな被害が発生しています。 検討の場において、ダムが優位なのが明らかとなっています。 地域の町長が、治水や利水でダムが有利と言っています。 報告書で裏付けされたので、早くダムの着工に向けた作業をしてほしい。

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部治水課内

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

| ①氏名 (フリガ | ナ) | | | | | | | | |
|------------|---------------|--|----------------|--------------------------------|---------|----------|---------|--------------------|------|
| 2)住所 | | | | | | | | - | |
| ③電話番号又は | 1 | | | | | | | | - |
| ④職業 | 会社 | 上役員 | | 5年齢 | 6 1歳 | | ⑥性別 | 男 | |
| 意見該当箇所 | ⑦ご意見は | は項目ごとに | 200 文字以 | 人内で記載 | 載してくだ | さい。 | | | |
| 頁 行 | (ご意見が | 200 字を超える | 5場合は、併 | せてその内 | P容の要旨(2 | 00 字以[| 内) も記載し | ノてくださ [*] | (1°) |
| | ると1回目 報告書で | 民の生命財産目の会議から言い会議を持たった。これが裏付いている。これが裏付いている。これが、ままでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | 述べている けられたカ | 。 、検討に ² 取ダムの | 工要した約 | 3年間にけた作う | は不安でる | あったとり | 思う。 |

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部治水課内

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

| ①氏名 | フリガ | ታ) | | | | | . , | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------------------------------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------|------------------|
| ②住所 | | | | - | | | | |
| ③電話者 メー <i>)</i> | 番号又に レアドレ | - 1 | | | | | | · |
| ④職業 | | | 主婦 | | ⑤年齢 | 35 | ⑥性別 | 女性 |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご. | 意見は項目ごと | に 200 文字 | と以内で記 | 載してくだ。 | え か。 | |
| 頁 | 行 | (ご意 | 賃見が 200 字を超 | える場合は、 | 併せてその | 内容の要旨(20 | 00 字以内) も記載し | てください。) |
| | | トマ こ 流域 今 | トハウスは壊滅 こ数年の異常気 もまたいつ同規 | 、堤防も決 象、各地で 模の災害が | ・壊寸前だ、 集中豪雨に ・発生する | った。 こよる災害か かわかりませ | きん | かで、この沙流川で、平取ダムの早 |
| | | | | | | | | |
| | - | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| 「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書(素案)」 |
|---|
| に対する意見募集 意見書 |
| |
| ① 氏名 |
| ② 住所 |
| ③ 連絡先 |
| ④ 職業 農業従事者・ライター |
| ⑤ 年齢 44 |
| ⑥ 性別 男 |
| ② 意見 以下に記載 |
| |
| |
| 意見の要旨 |
| ※検討報告書(素案)4.6 検証対象ダムの総合的評価 (こ対応 |
| |
| 検討報告書(素案)では「ダム案が有利」と結論されている。しかし災害の実態把握 も議論もないままダム建設を進めては、莫大な税金を投入しながらも災害の危険を増大 |
| |
| し、かつ地域特性を大きく損なうことになる。 |
| 当面は、平取ダムの建設を凍結し十分な調査検討を行うこと。危険箇所を優先した堤 |
| 防強化や内水氾濫対策を早急に進めること。長期的には、従来の河川整備を見直し、よ |
| り安全で豊かな流域社会の実現に寄与するべきである。 |
| |
| 「続きに意見書本文〕 |

| 意見書(本文) 平取ダム計画とダム検証に関する問題 下記の順にしたがい、詳細に記述する。 ●はじめに…「想定外」というキーワード 1.沙流川の治水計画の検討と課題 2.平取ダム計画の検証 3.沙流川ダムの堆砂問題 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
|--|
| 下記の順にしたがい、詳細に記述する。 ●はじめに…「想定外」というキーワード 1.沙流川の治水計画の検討と課題 2.平取ダム計画の検証 3.沙流川ダムの堆砂問題 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 下記の順にしたがい、詳細に記述する。 ●はじめに…「想定外」というキーワード 1.沙流川の治水計画の検討と課題 2.平取ダム計画の検証 3.沙流川ダムの堆砂問題 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 下記の順にしたがい、詳細に記述する。 ●はじめに…「想定外」というキーワード 1.沙流川の治水計画の検討と課題 2.平取ダム計画の検証 3.沙流川ダムの堆砂問題 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 下記の順にしたがい、詳細に記述する。 ●はじめに…「想定外」というキーワード 1.沙流川の治水計画の検討と課題 2.平取ダム計画の検証 3.沙流川ダムの堆砂問題 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| ●はじめに…「想定外」というキーワード 1.沙流川の治水計画の検討と課題 2.平取ダム計画の検証 3.沙流川ダムの堆砂問題 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| ●はじめに…「想定外」というキーワード 1.沙流川の治水計画の検討と課題 2.平取ダム計画の検証 3.沙流川ダムの堆砂問題 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 1.沙流川の治水計画の検討と課題 2.平取ダム計画の検証 3.沙流川ダムの堆砂問題 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 1.沙流川の治水計画の検討と課題 2.平取ダム計画の検証 3.沙流川ダムの堆砂問題 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 2.平取ダム計画の検証 3.沙流川ダムの堆砂問題 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 2.平取ダム計画の検証 3.沙流川ダムの堆砂問題 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 3.沙流川ダムの堆砂問題4.膨大な流木がもたらすダムの危険5.アイヌ民族対応の問題6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 3.沙流川ダムの堆砂問題4.膨大な流木がもたらすダムの危険5.アイヌ民族対応の問題6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 4.膨大な流木がもたらすダムの危険 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 5.アイヌ民族対応の問題 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| 6.自然環境、生物への影響と対策が不明 |
| |
| |
| |
| |
| 7.住民不在のダム検討 |
| |
| 8.まとめ |
| |
| |
| |
| |
| |
| · |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

●はじめに…「想定外」というキーワード

2003年の沙流川洪水は、私たちに多くの教訓を与えた。この洪水のキーワードは、「想定外」という一言に尽きる。

まず、24時間で300ミリ以上という豪雨により、二風谷ダムが洪水調節の限界(洪水時満水位:標高48m)を超えて満水となった。「ダムが危険な状態になる」ため、「但し書き操作」を行って放流ゲートを大きく開き、ダム放流量を治水計画上の上限値(3850m3/s)よりも大幅に増加させた(最大5500m3/s)。その結果、沙流川下流の水位が急激に上昇し、堤防が危険な状態になった。このとき、たまたま上流の雨が止んだため、ダムが溢れることはなく、堤防もぎりぎりで越流・決壊せず、流域の大規模浸水という、最悪の事態は免れた。

一方、二風谷ダムでは、膨大な量の土砂と流木が貯水池に堆積した。ダム管理所では、 洪水中に停電が発生し、自力復旧に手間取ったことから、ダム諸量データが30分間に わたって把握できなくなった。但し書き操作に際して、住民より先に、危険が切迫する よりも早く、樋門操作員を退避させたことから、樋門操作ができなくなり、無人となっ た樋門から沙流川の水が宅地・農地に逆流し、浸水被害を拡大させた(富川水害訴訟。 札幌高裁判決による、国側の過失・責任が確定)。これら数多くの想定外の事態が発生 している。

河川を巨大構造物で堰き止めるダムは、条件が揃えばある程度の治水効果を得られる 反面、膨大な土砂や流木を含む大洪水時の現象、管理施設の維持等については、まだま だ未知の問題も多い。

最善の治水は、基本的には、実際に生じた洪水被害への現実的最善の対応である。さ

| らには、治水施調 | 设(ハード面の対策 | i) の限界を上[| 回る大雨洪水 | が起きたときの対 | 寸処を、 |
|---------------------------------------|-----------|-----------|--------|--|------|
| よく検討しておく | くこと(ソフト面の | 対策)が必要で | である。 | | |
| | | | • | | |
| | | 2 | | | |
| | | | | | : |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | ÷ | | . |
| | | | | | |
| <u> </u> | | | | | |
| | | | | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| , | | | | 4 | |
| : | | | | | |
| ! | | | | | |
| | | ~ | | | |
| | | | | | |

1.沙流川の治水計画の検討と課題

(1) 近年の治水計画の変遷と 2003 年洪水

① 2002 年河川整備計画

2002年に策定された沙流川の治水計画(河川整備計画)は、洪水時の平取地点の流量として4300m3/sを想定し、これを二風谷ダムと平取ダムの洪水調節によって、平取地点の流下能力である3200m3/sとするというもの。なお平取観測所の計画高水位は27.55m(旧表記)である。

苫東工業基地への送水を主眼とした沙流川総合開発事業で記された平取ダムの建設が、 河川計画の中で、改めて位置づけられた。

② 2003 年洪水の実績値(流量はいずれも推算値)

2003年の洪水では、二風谷ダム最大流入量 6400m3/s(速報値。後の修正値では 6100m3/s)、最大放流量 5500m3/s。平取観測所の最大流量は約 5200m3/s(ダム 放流量からの計算値)、最高水位は 28.3m(旧表記)とされた。

③ 2005 年河川整備計画変更以後

2005年の河川整備計画変更では、平取地点に6100m3/sの流量を設定し、これを二風谷ダムと平取ダムの洪水調節によって4500m3/sとするよう変更した。これに伴い特定多目的ダム法による二風谷ダム、平取ダムの容量配分が変更され、2007年より執行された。平取観測所の計画高水位は27.42m(新表記)であり変更がない。

(2) 計画流量の曖昧さ

洪水前の2002年と洪水後の2004年では、平取観測所地点の水位と流量の関係式 (H-Q式)が、大きく変更された。2002年H-Q式では、計画高水位における流量は約3200m3/sであり、これが2002年河川整備計画の根拠とされた。同式を用いた、 2003洪水の実績最高水位(標高28.3m)による流量は3700m3/sであり、二風谷ダム最大放流量(5500m3/s)から推算される水位(標高約30m)より、大幅に低い。 2004年H-Q式を用いた場合、平取地点の流下能力は約4300m3/s、2003洪水の実績最高水位による流量は、約5200m3/sとなる。

同じ川の同じ地点の流下能力・洪水流量が、計算式によって1500m3/s程度も差異が出るのは、計画高水位とともに治水計画の根拠とされてきた、計算流量・流下能力の不正確さ・曖昧さを示すものである。

平取地点の水位と流量の関係において、2002年河川整備計画の時点で(より正確な可能性がある)2004年 H-Q 式を把握していたならば、当時の整備目標流量 4100m3/s における平取地点の水位は 27.2m となり、計画高水位未満となる。この時点で、平取ダム計画は消滅した可能性がある。

(3) 計画高水位の問題

①単純化された安全概念

現在の治水計画は、堤防の基準として計画高水位を縦断的に設定し、それに対して計

画流量を与えて水位を推算し、計画高水位よりも計画流量における水位が高ければ危険、 低ければ安全とするものである。

なお、堤防には、計画高水位の洪水を安全に流下できる規模、構造とすることが義務付けられている。

②合理的根拠がない計画高水位

計画高水位は、河川整備の重要な基準の一つであるが、自然科学的根拠も、防災上の合理的な根拠もない。過去に堤防整備を計画したある時点で、河川縦断図に定規で線を引いただけのものである。

実績資料が何もない状態ならば、単純な推定と判断に頼るこのような方法でもやむを 得ないが、実際に災害が発生している状態で、なおもこのような計画・評価の手法を続 けるならば、災害の実態を正しく捉え、効果的な対策をとることができなくなる。

一度決めた計画高水位を絶対の根拠として固定化することで、「水が上がりそうだった所は堤防を高くする」等の現実的・常識的な対応ができなくなり、実際の防災とはうまく連動していない。一方で計画高水位を根拠として、大規模な河川改修工事や、ダム建設が進められている。

③きめ細かな検討が必要

堤防整備の基準としての計画高水位は、「昔に誰かが図面に引いた直線」ではなく、河道の実際の状況、周囲の地形や土地利用の状態、求める安全性により、細かく検討されていくべき数値である。しかし、沙流川の河川計画では、「天塩川流域委員会」で「天塩川資料集」として示されたような、河川各地点の横断面図さえ公表されず、この

ような検討を行う材料がきわめて少ない。

(4) 実際の洪水への対応が重要

2003年8月の洪水では、二風谷ダム下流では、ほぼ全域にわたって計画高水位を超え、堤防が危険な状態となった。幸いに破堤や越流による外水氾濫は生じず、実際の被害は、一部の無堤区間の外水氾濫、内水および外水の浸入による、堤内低地の浸水のみであった。

洪水後には、痕跡調査、浸水調査等が行われ、計画高水位や現在の堤防に対して河川水位が大きく上回った地点、逆に水位が低かった地点、顕著な内水氾濫が生じた地点等が明らかになっている。また、堤防の一部では、浸透による崩壊が発生し始めていたという報告もある。

当面は、現実の洪水によって生じた実際の状況を踏まえ、実際の被害河床と危険の大きな箇所を優先して、堤防の強化、かさ上げ、内水氾濫対策を早急に行うべきである。

(5) 想定外を想定すること

さらには、ダムや堤防等の治水施設(ハード)の限界を上回る大雨洪水が起きたとき の対処(ソフト)を、よく検討しておくことが必要である。

2003 洪水では、日高町富川北地区において、河川事業所による樋門操作員に対する指示のミス(早すぎる退避指示)が、樋門からの逆流を生じさせ、浸水被害を拡大した(富川水害訴訟・2012 年 10 月に国の責任が確定)。これはダム、堤防というハード

| 面に限界が迫ったことが、判断ミスというソフト面の限界を誘発したものである。 |
|---|
| ダムの但し書き操作放流に伴う危険性について、樋門操作員の退避に関する規定はな |
| く、今まで検討もされてこなかった。事業所長の個人的判断の是非ではなく、巨大八一 |
| ド整備に頼りきった現在の治水システムの問題が明らかになった事例である。防災にお |
| いては、ハードの限界がそのまま治水安全の限界とならないよう、ハードの想定外を想 |
| 定したソフト的な対策が重要である。 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| the manner of the second of |
| |
| |
| |
| |
| |

2.平取ダム計画の検証

※報告書 (素案) 4.平取ダム検証に係る検討の内容 に対応

(1) ダムの実際の効果は不定

①ダムは集水域の降雨にのみ有効

ダムの効果は、ダム上流の集水域の降雨に対してのみ発生する。沙流川の流域面積 1350km2 に対し、平取ダム上流の集水域は 234km2 であり、流域全体の 17%にすぎない。2003 年洪水では、平取ダム集水域の額平川、宿主別川上流で強い降雨が生じたが、その他の地域で大雨となる場合には、平取ダムは治水施設としての効果を発揮しない。

近年に各地で発生し問題視されている局所的豪雨(いわゆるゲリラ豪雨)対策として、 集水域が比較的小さい平取ダムが寄与する可能性は小さい。

②洪水により異なるダム効果

平取ダムの効果は、現在の計画では、最大流入量 2050m3/s に対する最大放流量 360m3/s とされている。しかし、実際の洪水に対するダムの効果は不定である。大きな洪水でも継続時間が大きければ、計画より大きな効果が出ることがある。また継続時間が想定より大きければ、貯水位の上昇によって放流量が増え、効果が小さくなる場合がある。

(2) 満水時の放流量変化が急激な平取ダム

想定を超える大雨により、平取ダムが満水となった場合、ダム上部のクレスト洪水吐

から越流し、入ってきた洪水をそのまま流すだけになる(いわゆる「但し書き操作」)。 このときダム下流では、安全な水位を超え、かつ急激に水位が上がる。平取ダムは二風 谷ダムよりも洪水調節量が大きいため、但し書き操作に入った場合、ダム下流では、 2003年洪水よりも、更に急激な変化が起きる可能性がある。

平取ダムは自然調節式ダムであり、洪水調節時にゲート操作による調整ができないことにも、注意が必要である。

(3) 客観的な検証にたえる資料がない

平取ダム計画では、必要な基本的な資料や、その根拠の多くが、示されないままに なっている。客観的な検証が難しい状況が続いている。

①ダム地点のハイドログラフ(時系列変化)が示されていない。

平取ダムについて検証する今回の検討で示されているのは、二風谷ダムのハイドログラフのみである。ダムは貯水によって洪水調節を行うため、その計画と効果を客観的に検討するには、時系列に流入量、放流量、貯水位等を記したハイドログラフ(洪水調節図)が必要である。しかし平取ダム計画では、本検討報告書(素案)を含め、平取ダムのハイドログラフ(洪水調節図)が示されていないため、この時間の概念を、どのようにとっているのかがわからない。

平取ダムの洪水調節については、2003年の洪水前より問い合わせを行なっているが、 常に「検討中」であり、資料が得られないのである。

②小さくなった想定流量

現計画における平取ダムの計画最大流入量は2050m3/sとされている。2005年の計画変更以前は2350m3/sとされていたものであり、より大きな洪水に備えるはずの計画変更で、想定されるピーク流量が、以前より13%も小さくなっているのは異常である。

ダムが耐えうる最大の洪水である設計洪水流量も、旧計画の 2650m3/s から 2550m3/s へと減少しており、想定を超えた洪水に対する、ダムの安全性も、計画変更後に低下している。

平取ダムに想定される流量の根拠を、詳細に検証する必要がある。

③実態が不明なダム規模

平取ダムの堤体長は、本検討資料では、ダムの長さ(堤体長)が300メートルと記されているものと、600メートルと記されているものがあり、混乱を生じている(検討報告書[素案]3.1.2ほか)。ダムの計画上、もっとも基本的な数字が、よくわからな

3.1.3 規模及び型式

検討報告書 (素薬) 3. 検証対象ダムの概要 より

 $3.1 \,\mathrm{km^2}$

(1)規模

湛水面積:

(サーチャージ水位※1における貯水池の水面の面積)

集水面積:

堤高(基礎地盤から堤頂までの高さ):

堤頂長:

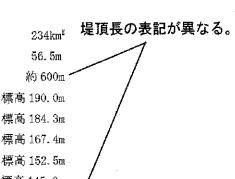
天端高:

サーチャージ水位:

常時満水位:

洪水期制限水位:

最低水位※2:



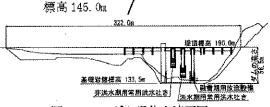
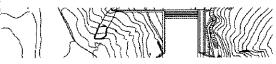


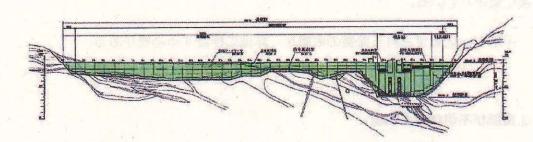
図 3.1-3 ダム場体上流面図



い状態になっている。この件について、本検討の説明会会場で質問を行ったが、担当官からは回答がなかった。

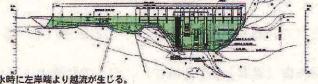
④コストダウンで低下した安全性

2007年11月の住民説明会(付替道路説明会・平取)では、コストダウンのために、 堤体のコンクリート部分を半分カットしたという説明があった。そのままでは想定を超 えた洪水の時に、ダムが溢れるため、対策を検討しているということである。



■ 平取ダム堤体の短縮(上流面図)

- 上: H15.4 第1回平取ダム環境調査検討委員会 堤頂長600mとされる図(下流面図を反転) 下: H19.2 第8回平取ダム環境調査検討委員会
- 下: H19.2 第8回平取ダム環境調査検討委員会 堤頂長312mとされる図(表中では600mと記載)



※サーチャージ水位は同一であり、変更後は大規模洪水時に左岸端より越流が生じる。 H19.11の道路説明会では「左岸の構造は検討中」と説明。

想定を超えた洪水のときに、ダムが溢れるのを防ぐ重要な部分がカットされたまま、 対策が未だ示されていない。これでは、とても安全が確認されたとはいえない。

なお、本検討における説明会と公聴会の配布資料(Web 掲載なし)では、堤体が カットされ300 mとなったイラストに「600 m」と文字が入れられており、ダムの大 きさと構造の説明は、混迷を極めている。

| コストダウンのためにカットされたダムの構造、つまり安全性が、確認も認識もされ |
|--|
| ないまま、今回の「検討にかかる再検証」が終わったのであり、重大な問題である。 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

3.沙流川ダムの堆砂問題

※別冊資料2 「堆砂計画について」に対応

2-1.二風谷ダムの現状

(1) 二風谷ダムの堆砂実績

二風谷ダムは、当初 100 年分とされていた堆砂容量 550 万 m3 (標高 41.0 m以下)が、わずか 6 年で満砂となった。その後、堆砂計画を 1430 万 m3 に変更しているが、2011 年までに、1630 万 m3 の土砂がすでに溜まっている。ダムの総貯水量は 3150 万 m3 であるから、その半分以上が土砂に埋まった計算である。このため、貯水位が低い夏期間(洪水時制限水位期)には、貯水池の大部分(ダム管理所前から上流)では、堆砂の進んだ河床が露出し、干潟のようになってしまっている。

額平川合流点付近の貯砂ダム上流にも、膨大な土砂堆積が進み、河床が数メートル上 昇している。二風谷ダムが存在することで、上流の河床が大きく上昇し、付近の宅地や 農地の危険性が増大していることは問題である。



(2) 説明根拠の変化

本検討では、二風谷ダムの貯水池の河床に、当初の計算外だった480万m3の窪地があったという説明がされている。このため更に堆砂が進んでも無問題であるという。しかし、480万m3というのは、初期堆砂容量の550万m3に近い規模であり、これほどの容積を得るには、貯水池全体を3メートル程度掘り下げる必要がある(貯水池を幅300m、長さ6000mの直方体とする場合、2.7mの深さが必要となる)。これを掘った、あるいは今まで計算に入っていなかったということは、常識的にはあり得ない。しかも、報告書素案の段になって、今後は貯砂ダム上流をも堆砂容量に含めるという、従来とは異なる説明がされている。これは従来の「検討の場」にもなかった内容である。これらの根拠の変更によって、現在の二風谷ダムの堆砂容量は1910万m3/sであるとされている(計画堆砂容量は1430万m3/s)、

特定多目的ダム法では、ダムの容量配分の記載が定められている。堆砂根拠の変更を述べるのであれば、まず法に従い基本計画を変更することが必要である。このように、根拠を変えながら説明を次々と変化させるのでは、何に対して検討と評価を行えばよいのか、誰にもわからなくなる。

(3) 二風谷ダムの排砂放流

近年、二風谷ダムは、春の融雪時と夏の降雨時に、貯水位を最低水位の40m近くまで下げ、事実上の排砂放流を行なっている。しかしこのようなダム操作はダムの運用計画にはなく、ダムの堆砂予測計算の前提にも含まれていない。なにより、排砂の影響を

| 受ける下流住民にも説明がないまま、排砂放流が行われているのは大きな問題である。 |
|---|
| |
| (4) 二風谷ダム堆砂の総括 |
| 二風谷ダムの堆砂状況は、現実として 1630万 m3/s に達し、2005 年の計画変更に |
| よる 1430m3/s をすでに突破している。 ダムの堆砂管理は、ほとんど効果のない排砂 |
| 放流を下流に説明せずに繰り返し、ただ埋まるに任せながら、埋まった都度、堆砂計画 |
| の数値を変更し、問題がないように見せかけているだけである。 |
| 現在は、出水による土砂堆積が多い夏期の水位を標高 41.3m 程度に下げているため、 |
| 水面を上回る新たな堆砂は生じにくくなっている。しかし、ダムが今後の大雨で洪水調 |
| 節の貯水を行えば、堆砂計画を上回る多量の土砂が、一気に堆積することは明らかであ |
| る。 |
| 二風谷ダムの洪水調節は、流量 1900m3/s 以上で実施される。これは「100 年に 1 |
| 度の洪水」に限ったものではない。2010年8月の出水時には、流量1700m3/sにまで |
| 達している。 |
| |
| 2-2.平取ダムの堆砂問題 |
| |
| (1) 排砂放流による影響 |
| |
| 平取ダムでは、融雪期に最下部のゲートを開けることで、ダム貯水池内の体積土砂を |

下流に排出する計画が示されている。1年分の土砂を短期間に放流するものであり、特に放流初期において、下流環境への影響が危惧される。

近年、沙流川上流の濁りは改善が見られるが、融雪期は現在でも濁りが大きい。これに平取ダムからの排砂が加われば、シシャモ、サクラマス稚魚等の生存と生育に、大きな影響を与える可能性がある。過去の住民説明会(2007年付替道路説明会・富川)では「排砂による生物環境への影響は小さいと考えている」と説明されたが、その根拠は、何も示されていない。

(2) 平取ダムの堆砂予測計算

平取ダムでは予測計算を行い、土砂堆積はほとんど生じないとしている。しかし、計 算の前提条件には大きな問題がある。

国は、二風谷ダムが短期間で埋まったのは、最近になって大雨が続いたためだと説明している。ところが堆砂予測計算では、1971年から32年間のデータを3回+4年分を繰り返し与え、「100年に1度の洪水」が100年後に起きるとしている。これでは2003年以後に大きな洪水が増えて土砂堆積が進んだという、国自身が述べる堆砂進行条件が入らない。このような計算前提では、実際の堆砂よりも、小さな予測値が出る可能性がある。しかも、多量の土砂が入る100年に1度の洪水は、100年おき(100年後)に発生するわけでもない。

これら不適切な計算前提から、平取ダムでは、本検討に示された計算値を超える堆砂 が生じる可能性が大きい。

(3) 平取ダム予定地の近年の変化

平取ダム予定地付近の宿主別川では、この2年ほどは、泥濁りが沈静化し、河道に堆積する流木も、洪水直後からはかなり減少したように思われる。一方で、かつてないほどの膨大な砂礫が河道に堆積し、流路が頻繁に変化するようになっている。

2003年洪水後に我々が見てきた、シルトによる泥濁りや膨大な流木は、実は流砂の「上澄み」に過ぎず、流砂の本体である膨大な砂礫群が今後到達し、沙流川ダムの堆砂問題は、むしろ「これからが本番」となる可能性を指摘しておく。二風谷ダムに堆積する土砂の粒径が大径化していることも、この予想と適合するものである。

宿主別川と額平川について、源流部にいたるまでの河道の土砂堆積状況、土砂の移動 状況の把握が必要である。



3.膨大な流木がもたらすダムの危険

(1) アイヌ民族の地名伝承

沙流川のアイヌ民族による伝承では、沙流川の古名は「シシリムカ」であり、これは「本当に砂が多く川が詰まる」等の意味であるという。また二風谷ダム貯水池の地名は、荷負(二オイ)という。これはアイヌ語で「流木がたくさんあるところ」を意味する。流砂と流木が膨大であるという沙流川の特性は、流域のアイヌ民族によって伝承されてきたものである。

(2) 二風谷ダムの流木対策は効果なし

2003 洪水では、二風谷ダムに多量の流木が入った。ダムに滞留した流木は5万m3とされ、「ダムが流木被害を防止した」とPRされている。しかし洪水当時の映像記録を見ると、ダムに入った流木の大部分は、貯水池に張られた流木止めネット(網場)を通過し、クレストゲートから下流に放流されたことが確認できる。やがてネットそのものが流木によって切断され、ネットは膨大な流木と絡んだまま、ゲートを通過し下流に放流された。また当時の写真から、流木は、ダム底部のオリフィスゲートをも通過したことが確認される。

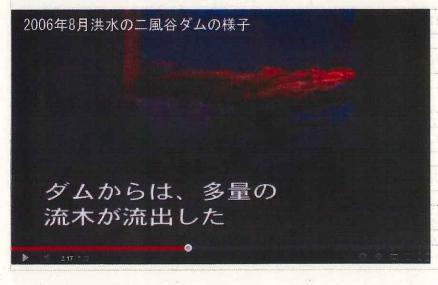
ダムにとって流木は、ゲートなどのダム施設を壊すおそれがあるため、危険な存在である。その流木を止めるしくみが、2003年の洪水では、ほとんど働かなかった。
翌年にネットは強化されたが、今度は流木が当たると、その場でクルクル回って絡

まってしまい、流木がそのままくぐり抜けるようになった。2006年の洪水(洪水調節

あり)でも、2010年8月の出水(洪水調節なし)でも同様である。2010年8月の出水時には、ネットが水面に追従せず空中に張った状態となり、その下を流木は何の障害もなくくぐり抜けた。堆積土砂の影響や、アンカーロープの設置方法に問題があると思われる。

現在、二風谷ダムの流木止めネットは、洪水時に流木を止める働きをもっていないと考えるべきである。





(3) 平取ダムではより深刻な影響

平取ダムでは、より密度の高い流木が、二風谷ダムよりはるかに小さな放流ゲートに押し寄せることになる。流木対策がうまくいかないと、放流ゲートが流木で詰まってしまい、ダムを越えて洪水が溢れ出す恐れが出てくる。ダムを越えて洪水が溢れた場合、最悪でダムが決壊する恐れがある。確実な流木対策が何も示されない平取ダムの計画は、安全性が確認できないのである。

(4) 現実化したダム越流事故

2006年8月の洪水では、二風谷ダム上流の岩知志ダム(発電専用)で、貯水池に係留されていたクレーン船が漂流してダム堤体に衝突し、その残骸が放流ゲートを塞いだ。 ダム堤体には多量の流木が上がっており、堤頂越流を生じたことは明らかである。コンクリート堤体の一部には、亀裂の発生も確認された。

幸いにダムの決壊には至らなかったが、このような事態はダムの設計・安全管理上 まったく想定されておらず、ダムの安全確保の根幹に関わる問題である。

なお、2003年の洪水では、二風谷ダムにおいて、作業艇が浮き桟橋とともに漂流し、 クレストゲートに引っかかり、やがて流木に押されて下流に流失する事態が生じていた。 この問題が、管理主体が異なる岩知志ダムと共有されていれば、岩知志ダムの事故は防 止できたはずである。

| (5)治水計画を狂わせる流木 |
|--|
| |
| 2003年洪水では、膨大な流木が二風谷ダムの放流ゲートに干渉し、ダム放流に影響 |
| を与えた可能性がある。この場合、理想的な放流条件を前提としたダム流量の計算値が、 |
| 洪水時の実際の流量とはかなりの違いを生じる。 |
| 現在の沙流川の治水計画は、2003 洪水時の二風谷ダムの放流量、流入量が基準と |
| なっているが、この数値に、流木に起因する相当の誤差が含まれている可能性を考慮す |
| べきである。 |
| |
| |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

5.アイヌ民族対応の問題

※検討報告書 (素案) 3.2.9 地域文化保全への取り組み に対応



(1) 二風谷ダム裁判と先住民族アイヌ・先住民族の権利

二風谷ダム裁判の判決(1997 札幌地裁)では、アイヌ民族は先住民族であり、そのアイヌ民族の文化享有権等を不当に無視軽視したとして、二風谷ダムの土地収容は違法であるとされた。2007年には、国連で先住民族の権利に関する宣言が採択され、先住民族の権利が国際的に認められた。さらに2008年6月には、日本の国会において、アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議が、全会一致で採択された。これにより、日本という国家は、アイヌ民族に対して、先住民族の権利を実現していく、国際的な義務が生じたと考えられる。

しかし、先住民族の権利を、どこまで認め、どうやって実現していくのか、日本の国としては、まだ何も決まっていない。この状態で、「地域社会への影響はダム案有利を覆すものではない」として、事業者の都合により、アイヌ民族の先住権よりもダム建設の方を優先するということを、今回の報告書素案では結論づけていることが、重大な問

題である。

(2)繰り返される違法ダムの過ち

二風谷ダム裁判の国側違法判決では、「ダムによって得られる利益と、ダムによって 失われるアイヌ文化を、比較するための調査さえも怠った」と指摘された。平取ダムで は、調査は継続しているけれども、客観的な比較をしていない。それどころか、現時点 では比較判断の手法は確立されず、判断基準さえもない。この状態で「影響は小さい」 「現計画ダム案が有利」と、ダム建設を進めれば、二風谷ダムの違法判決と同じ過ちを、 再び繰り返すことになる。

(3) 求められるのは「先住民族の権利」の実現

アイヌ文化資源や環境に対して調査を行い記録を残したとしても、その土地や環境、 資源を、アイヌ民族にとって先住権の行使による利用ができないならば、それは文化資 産や資源の収奪と変わらない。現在求められていることは、先住民族を資料館の記録に 残すことではなく、現在生きている民族、価値観として復興継承し、発展に務めること である。

例えば、先住民族の土地の権利を回復するには、一体として国有地であり、アイヌ文 化調査が行われている平取ダム予定地は、もっとも適地である。ここに、先住民族への 対応がわからないまま、目先の都合、形式的な検討で「ダムが有利」としてダムを建設 し水没させ、後から、「やっぱりダムは間違いでした」ということになっても、もう取 り返しはつかない。

先住民族の権利には、自然資源の利用の権利もある。例えば川のサキペ(サクラマス)などの魚類資源を、ダム建設の中でどのように保全していくのか、今回の検討で、 具体的な手法には何も触れられておらず、費用の検討もされていない。またキムンカムイ(任グマ)やシチカップカムイ(猛禽類)の扱いも不明なままである。

二風谷ダム裁判の判決から15年が経過し、先住民族とその権利についての認識と、必要とされる政策が、国際的・国内的に変化している。平取ダム予定地のアイヌ文化調査は、ダム建設を前提とするのではなく、国の先住民族政策の中に位置づけられ、ダムと切り離して実施されるべきものである。

(4) 現在までのアイヌ文化調査と「代替策」

平取ダム計画では、2003年よりアイヌ文化環境調査が行われている。2011年、この成果の一つとして、平取ダム予定地の傍らに、フクロウを模ったオブジェと、解説板が設置された。しかし、ダム水没地の記念碑等は、他のダムでも一般的に行われているものであり、このような対策では、先住民族に対する特別な配慮とはいえない。さらに言えば、このような方策が、アイヌ民族の精神文化の理解や継承のために、むしろ弊害となる可能性がある。

なお、「第1回 沙流川総合開発事業平取ダムの関係地方公共団体からなる検討の 場」等で配布された年表資料、「沙流川総合開発事業の経緯」には、二風谷ダム裁判に 関する記述が一切ないことを指摘しておく。

6.自然環境、生物への影響と対策が不明

※検討報告書(素案) 3.2.7 環境に関する手続き、4.5 目的別の総合評価 に対応

検討報告書(素案)では、平取ダム建設に伴う環境影響として、水の濁り、ダム下流の河床低下、野生生物への影響が指摘されている。しかしこれらの問題について、「保全措置を講ずる」とするだけであり、具体的な対策は何も示されてない。魚類への影響については、下流で産卵するシシャモについて「影響なし」とされただけで、平取ダム予定地付近を産卵に利用するサクラマスについては記述がない。泥濁りについては、

「融雪期用放流設備を用い下流へ土砂を流す等の環境保全措置を講ずる必要がある」とされているが、排砂ゲート放流による下流への泥の排出は、下流の泥濁りを悪化させるだけであり、何の対策にもならない。

2003年度から開催されていた平取ダム環境調査委員会も2007年度以後は開かれず、報告書さえ提出されていない。環境調査・対策と、アイヌ民族の先住民族の権利との関連も不明なままである。

なお、検討報告書には、1978年より実施された環境アセスメントのみが記載されていおり(3.2.7 環境に関する手続き)、アセスメント不備の指摘を受けて実施されている環境調査、環境調査委員会に関する記述がない。

7.住民軽視のダム検討

※検討報告書 (素案) 4.6 関係者の意見等 に対応

(1) 軽視し歪められた住民参加

2012年9月に開催された説明会では、富川会場、平取会場ともに参加者は数名であった。洪水後の住民説明会、従来の付替道路説明会等は、常に30~40人程度の参加者があり、これらと比較しても著しく少ない。本検討に関する説明会の周知は、室蘭開発建設部ホームページの掲載と、報道機関への告知のみであり、自治体からは何のアナウンスもなかった。国と自治体は、「住民の意見を聴く」としながらも、多くの住民の意見を得るための、周知努力を怠っていることは明らかである。

今回の意見募集期間も、「関係自治体による検討の場」翌日から1か月しかない。関係資料は、(実質的な内容は薄いものの)膨大な分量である。一般住民がこれらに目を通し、理解し、考えを整理し、文章にまとめて提出することを、1か月の間に行うことは、きわめて困難である。「関係住民の意見を聴く場」では、募集期間は更に短く、意見発表者も7名しかいなかった。

また、説明会では、「住民は質問は良いが意見を述べてはならない」、「意見を聴く場では、意見を述べるだけで質問は認めず返答もしない」といった規定では、単に「言いっぱなし、聴きっぱなし」であり、住民と行政が、事実関係を共有し、議論を深め、問題意識を共有することはできない。このような姿勢自体が、改正河川法に定められた「住民参加」を軽視し、歪めていることは明らかである。できるだけダム建設を変えたくない河川行政の都合の押し付けであり、多くの住民が望む河川整備のあり方を、国が

くみ取り、理解していくことは不可能であろう。

住民が主体的に河川計画づくりに参加した例としては、「淀川流域委員会」、北海道による松倉ダム計画中止後の「松倉川治水対策検討会」がある。住民参加と意見反映の 仕組みを、先行事例を参考としながらつくっていかねばならない。

(2) 放置された議会意見書

2004年12月に、門別町議会が「沙流川の安全を求める意見書」を全会一致で採択し、国土交通省に提出した。この意見書は、住民の署名活動によって請願されたもので流域住民の安全のため、堤防の強化嵩上げと内水氾濫対策を求め、かつ平取ダムに内包する危険性を指摘した上で、その安全を確認でき住民の合意ができるまでの建設凍結を求めたものである。意見書を提出して8年になるが、この間、国土交通省から住民には何の説明もなく、ただ放置されているままである。国はこの意見書に対する返答を行うべきである。

「沙流川の安全を求める意見書」が、流域住民すべての意見を代表しているわけではないが、多くの住民の声を受けて採択・提出された経緯を鑑みても、単に放置されてよいものではないことは、明らかである。

これら現在の諸問題を解決しながら、流域社会として沙流川の現状と課題を共有し、 さまざまな議論を重ねつつ、今後の地域づくりの中で合意形成を行なっていく必要があ る。

| 【参考資料】 | |
|--|---------------------|
| | |
| 「沙流川の安全を求める意見書」 | |
| 「沙川川の女主で水のる思兄音」 | |
| | : |
| 沙流川流域の環境に大きな影響を与え、かつ、洪水時の操作に | 不安がある平取ダムの建設計画を抜本的に |
| | |
| 見直すことを含め、下記の通り要望します。 | |
| 元ピッとこで自め、「配り廻り安主しよう。 | |
| | |
| 記 | |
| | |
| 1,2003年8月の台風10号による洪水時の水位をふまえ、沙汾 | 知場時のかさ上げと |
| 1,2003 中 6 月 0 月 日 月 日 6 8 月 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 | |
| | |
| 堤防決壊が生じないように構造の強化をすること。 | |
| | |
| 2.二風谷ダムの水力発電所を撤廃し、ダム容量の大半を治水目 | 的とすること |
| 2.一風台ダムの水力光电別を取洗し、ダム台里の八十を石水白 | الممارح كالمرحود |
| NO. 00. 00. 00. 00. 00. 00. 00. 00. 00. 0 | |
| 3.平取ダムの建設計画は、沙流川下流住民の安全対策について | [合意できるまで凍結すること。 |
| | |
| 4.沙流川の栄町樋門はD樋門に統合すること。 | |
| 4.沙川の木町徳川はり徳川に利はすること。 | |
| | |
| 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。 | |
| | |
| 平成 16: | 年 12 月 門別町議会 |
| T DA 10 | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| : | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

8.まとめ

以上に見てきたように、平取ダムの計画には、今回の検討で検討されていない重大な課題が、数多く残されていることが明らかである。それはまた、今回の検討の重大な問題である。これらを積み残したまま、形式的・おざなりな検討でダム建設を行うべきではない。これら課題の対応には、詳細な実態調査と手法の検討・確立が必要であり、まだまだ時間がかかる。特にアイヌ民族対応は、国の先住民族政策と密接に関連する重要なものである。流域住民の合意形成も、一朝一夕にできるものではない。

2003年、2006年の洪水で、沙流川の治水の現実の問題が明らかになった。堤防がとくに低く決壊しやすい箇所、堤防に余裕があり問題が小さい箇所、内水氾濫が起きやすい箇所等が、実際の現象として、明らかになった。そしてダムが想定がの放流を行う際も、下流の対応によって、浸水被害が変わることが明確になった(富川水害訴訟)。 沙流川の治水は、大きな損害を受けた経験さえも財産とし、単純化された机上の計画に頼った治水から、率先して脱却をするべきである。

平取ダムは当面は凍結し、2003 洪水などから明らかになった、現実的な水害への対応、例えば、問題箇所の河道や堤防の強化改修、避難計画や、施設の想定を超えたときのマニュアル策定等による、現実的な被害低減を、早急に行うべきである。

以上、沙流川の災害や地域の現状を鑑みて、「ダムによらない治水」を早急に進めて いくよう、沙流川流域に暮らす住民の一人として、意見を述べさせていただく.

国土交通省北海道開発周室關開発建設部治水課內

「沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討に関する意見募集」事務局 宛

沙流川総合開発事業平取ダムの検証に係る検討報告書(素案)に対する意見募集について

| ①氏名(フリガナ) | | | | | | | | | | |
|-----------|-----|--|-----------------|--------|--------|------------|------------|----|--|--|
| ②住所 | | | | | | | | | | |
| ③電話番号又は | | | | | | | | | | |
| メールアドレス | | | | | | | | | | |
| ④職業 | | | 会社員 | | ⑤年齢 | 6 2 | ⑥性別 | 男. | | |
| 意見該 | 当箇所 | ⑦ご意見は項目ごとに 200 文字以内で記載してください。 | | | | | | | | |
| 頁 | 行 | (ご意見が 200 字を超える場合は、併せてその内容の要旨(200 字以内)も記載してください。) | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | ' | | | | | • | | • | | |
| | | | | | • | | | | | |
| | | राह सक | 好)海 科自由生 | 手)たへいて | ்க் டு | ⊹ → | | | | |
| | | 平取ダム建設早期着手について申し上げます。 沙流川流域では、平成15年に大洪水に遭い、すでに9年が経過しています。近年、 | | | | | | | | |
| | | 道内各地では、局所的な集中豪雨などで冠水被害が発生している報道がされており | | | | | | | | |
| | | ます。沙流川下流域に居住している住民に早期に安心して暮らせる環境を提供する | | | | | | | | |
| | | 義務が国にはあります。平取ダム建設に関する検証では、26項目にもわたる代替 案が検討されて、現行のダム案がベストの結論も出ており、これからは時間との勝 負ではないかと考えます。早期に平取ダム建設に着手し、二風谷ダムと合わせ沙流 川下流域の洪水被害を早期に軽減できるよう期待しております。 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | , <u>-</u> | - | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| - | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | • | | | |